

山陽小野田市
総合計画策定に係るアンケート調査
結果報告書

平成 28 年 9 月

山陽小野田市

目次

調査結果から見える現状.....	1
山陽小野田市の好きなおところ、きれいなおところ.....	3
山陽小野田市の住みやすさ、定住希望の評価.....	3
施策の評価、重要性.....	3
一般市民調査.....	4
基本属性.....	6
1 あなた（回答者）自身について.....	7
2 山陽小野田市について.....	9
3 市政に対する評価と課題.....	17
4 市政への市民参加について.....	30
5 定住促進について.....	35
中学生調査結果.....	41
基本属性.....	43
1 あなた（回答者）自身について.....	44
2 山陽小野田市について.....	45
3 山陽小野田市での住み心地.....	50
4 あなたの将来について.....	52
5 今後のまちづくりについて.....	57
職員アンケート調査.....	59
基本属性.....	61
1 あなた（回答者）自身について.....	62
2 総合計画に対する考え方について.....	63
3 市政に対する今後の方向について.....	65
4 財政等について.....	77

■調査の概要

一般市民調査	対象	平成 28 年 1 月 1 日現在、本市に住民票のある 18 歳以上の市民
	調査数	3,500 人 (無作為抽出)
	調査方法	郵送による配付・回収
	回収数	1,151 件 (回収率 33.1%)
	調査期間	平成 28 年 2 月 1 日～3 月 31 日
中学生調査	対象	平成 27 年 5 月 1 日現在、公立中学校に通う中学 2 年生の市民
	調査数	564 人
	調査方法	学校による配布・回収
	回収数	539 件 (回収率 95.6%)
	調査期間	平成 28 年 2 月 1 日～3 月 31 日
職員調査	対象	平成 28 年 1 月 1 日現在、本市市役所に勤務する職員
	調査数	751 人
	調査方法	担当課からの直接配付・回収
	回収数	622 件 (回収率 82.8%)
	調査期間	平成 28 年 2 月 1 日～3 月 31 日

■注意事項

- 回答結果は、有効サンプル数に対して、それぞれの割合を示しています。少数点第 2 位を四捨五入しているため、単数回答（複数の選択肢から 1 つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が 100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から 2 つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が 100.0%を超える場合があります。
- 図表中において、「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものです。
- グラフ及び表の N 数は有効サンプル数（集計対象者総数）、(SA) は単数回答の設問、(MA) は複数回答の設問を表しています。
- 本文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。

調査結果から見える現状

山陽小野田市の好きなおところ、きれいなおところ

- 遠距離交通は便利だが、市内交通は不便を感じている
- ゴルフ場のような観光的な施設への評価は低い、都市公園は気に入っている
- 日常の買い物の利便性については、地域や立場によって評価が分かれている
- 防災上の安心・安全については、評価が完全に分かれている
- 中心市街地ににぎわいが感じられない人が多い

山陽小野田市の住みやすさ、定住希望の評価

- 都市型生活にあこがれを持つ人は転出希望者が多く、住みにくさを感じている
- 親密な近所づきあいを好まない人は住みにくさを感じやすい傾向がある

施策の評価、重要性

「市民が主役のまちづくり」

- 行財政運営について最重要と考える市民が多い一方、行政職員の評価とはギャップが見られる
- 協働のまちづくりについては比較的若い人、居住年数の浅い人に強い傾向があり、住み慣れた人ほど意識が薄い

「暮らしの安心・安全を守るまちづくり」

- 高齢者福祉、子育て支援、ワーク・ライフ・バランスなどで重要性が高くなっている
- 消防、防災、治安などは満足度が比較的高い

「人が輝く心豊かなまちづくり」

- 教育や青少年育成については子育て世代のニーズが高く、定住のキーになり得る
- 職員の間でも教育関連の比率は高いものの、市民意識と比較して優先度は低い
また、50歳代において教育関連の優先度の比率が低くなっている
- 教育については満足度も比較的高いものの、さらに先を見据えて充実を図る必要がある

「にぎわいと活力にみちたまちづくり」

- 広域交通を除き、満足度は低い項目が並んでいる
- 定住促進、仕事の創出、街のにぎわいがキーとなっている

「うるおいのある快適なまちづくり」

- 上下水道や都市公園などの環境面での満足度は高い
- 下水道については地域によって整備の促進が求められている
- 市内近隣の生活交通に不便を感じている人は多い

一般市民調查

基本属性

(1) 性別

カテゴリ	件数
1. 男性	446
2. 女性	701
無回答	4
全体	1,151

(2) 年齢区分

カテゴリ	件数
1. 10代	13
2. 20代	51
3. 30代	120
4. 40代	139
5. 50代	173
6. 60代	317
7. 70代以上	334
無回答※	4
全体	1,151

(3) 小学校区

カテゴリ	件数
1. 本山	46
2. 赤崎	81
3. 須恵	117
4. 小野田	145
5. 高泊	81
6. 高千帆	181
7. 有帆	85
8. 厚狭	231
9. 厚陽	37
10. 出合	47
11. 埴生	71
12. 津布田	26
無回答※	3
全体	1,151

(4) 市内居住年数

カテゴリ	件数
1. 5年未満	58
2. 5～9年	48
3. 10～19年	131
4. 20年以上	912
無回答	2
全体	1,151

(5) 住み良さ評価

カテゴリ	件数	集計項目
1. 住み良い	340	住み良い
2. だいたい住み良い	571	
3. どちらともいえない	128	対象外※ ²
4. あまり住み良いとはいえない	79	住みにくい
5. 住みにくい	15	
無回答※	18	
全体	1,151	

(6) 定住希望

カテゴリ	件数	集計項目
1. このまま、ずっと山陽小野田市で暮らす	900	定住・Uターン希望
2. 一度は市外で住むと思うが、いずれは山陽小野田市で暮らす	23	
3. 多分、市外へ移り住み、山陽小野田市では暮らさないと考える	58	転出希望
4. わからない	147	対象外※ ²
無回答※	23	
全体	1,151	

※ 各対象項目の「無回答」は集計対象外とします。

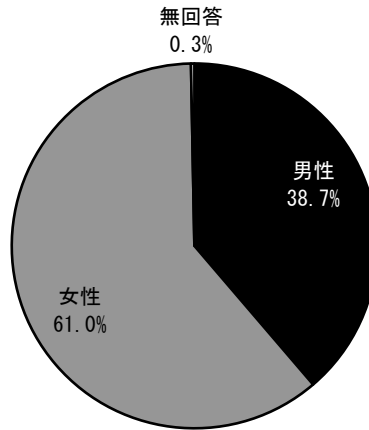
※² 意思表示が曖昧な項目は集計対象外とします。

1 あなた（回答者）自身について

問1 あなたの性別は？ (SA)

「女性」が61.0%を占めています。

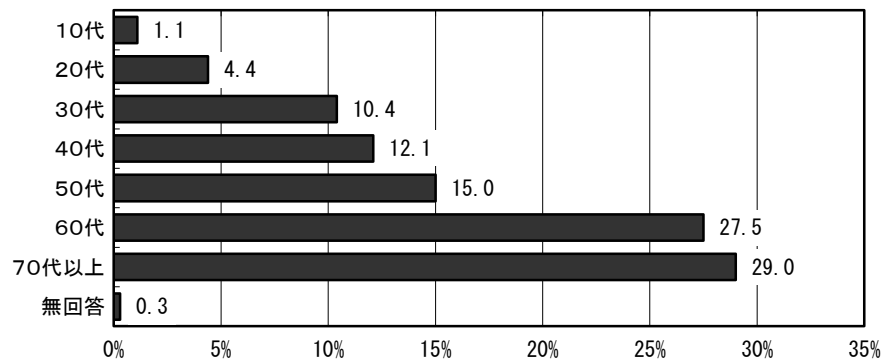
一般(SA) N=1,151



問2 あなたの年齢は？ (SA)

「70代以上」が29.0%、「60代」が27.5%で群を抜いて高くなっています。「50代」が15.0%で続いています。

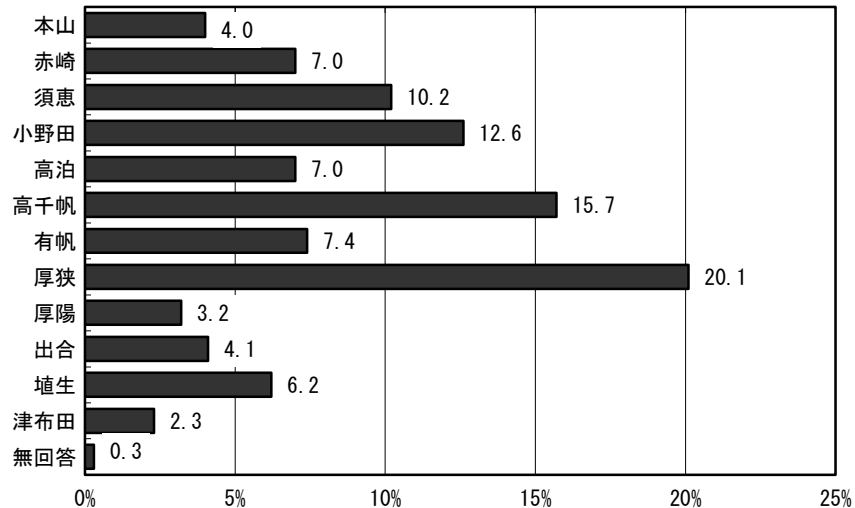
一般(SA) N=1,151



問3 あなたのお住まいの校区は？ (SA)

「厚狭」が20.1%で最も高くなっています。次いで「高千帆」が15.7%、「小野田」が12.6%が続いています。

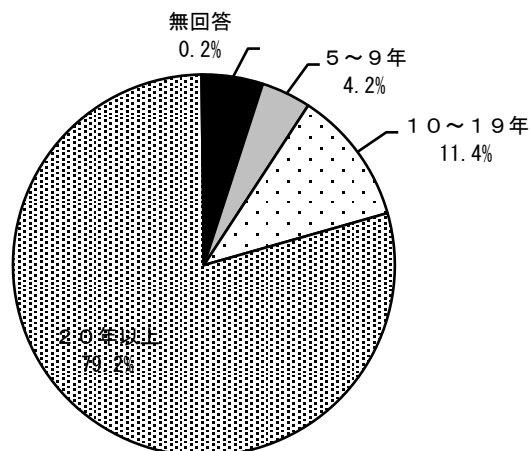
一般(SA) N=1,151



問4 あなたは山陽小野田市に住んで何年になりますか？ (SA)

「20年以上」が79.2%を占めています。

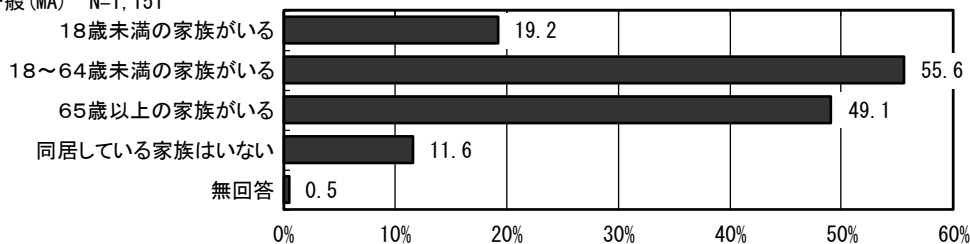
一般(SA) N=1,151



問5 あなたと同居している家族についてお答えください (MA)

「18～64歳未満の家族がいる」が55.6%で最も高くなっています。次いで「65歳以上の家族がいる」が49.1%となっています。

一般(MA) N=1,151

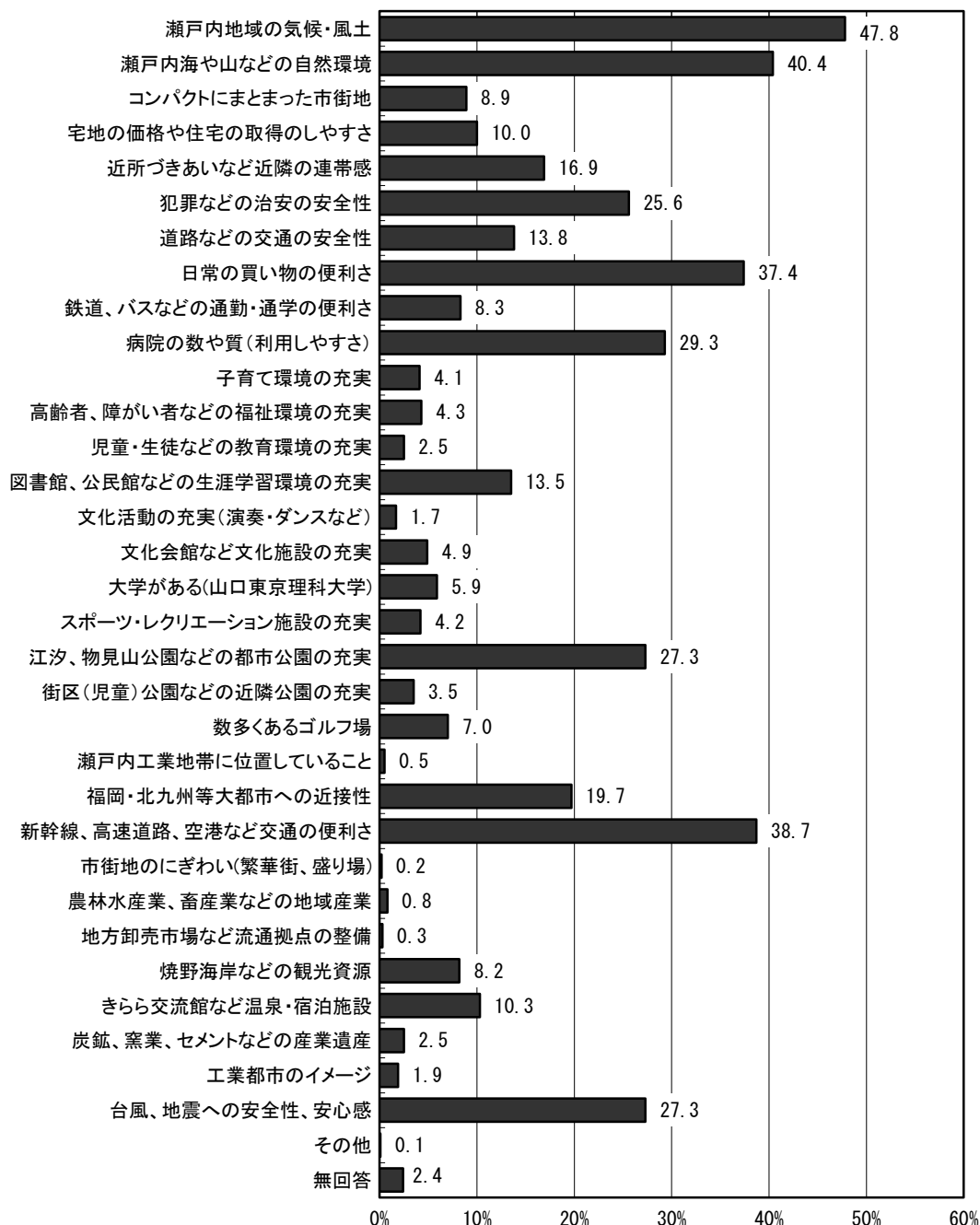


2 山陽小野田市について

問6 山陽小野田市の好きなところは何ですか？ (MA)

「瀬戸内地域の気候・風土」が47.8%で最も高くなっています。次いで「瀬戸内海や山などの自然環境」が40.4%、「新幹線、高速道路、空港など交通の便利さ」が38.7%で続いています。

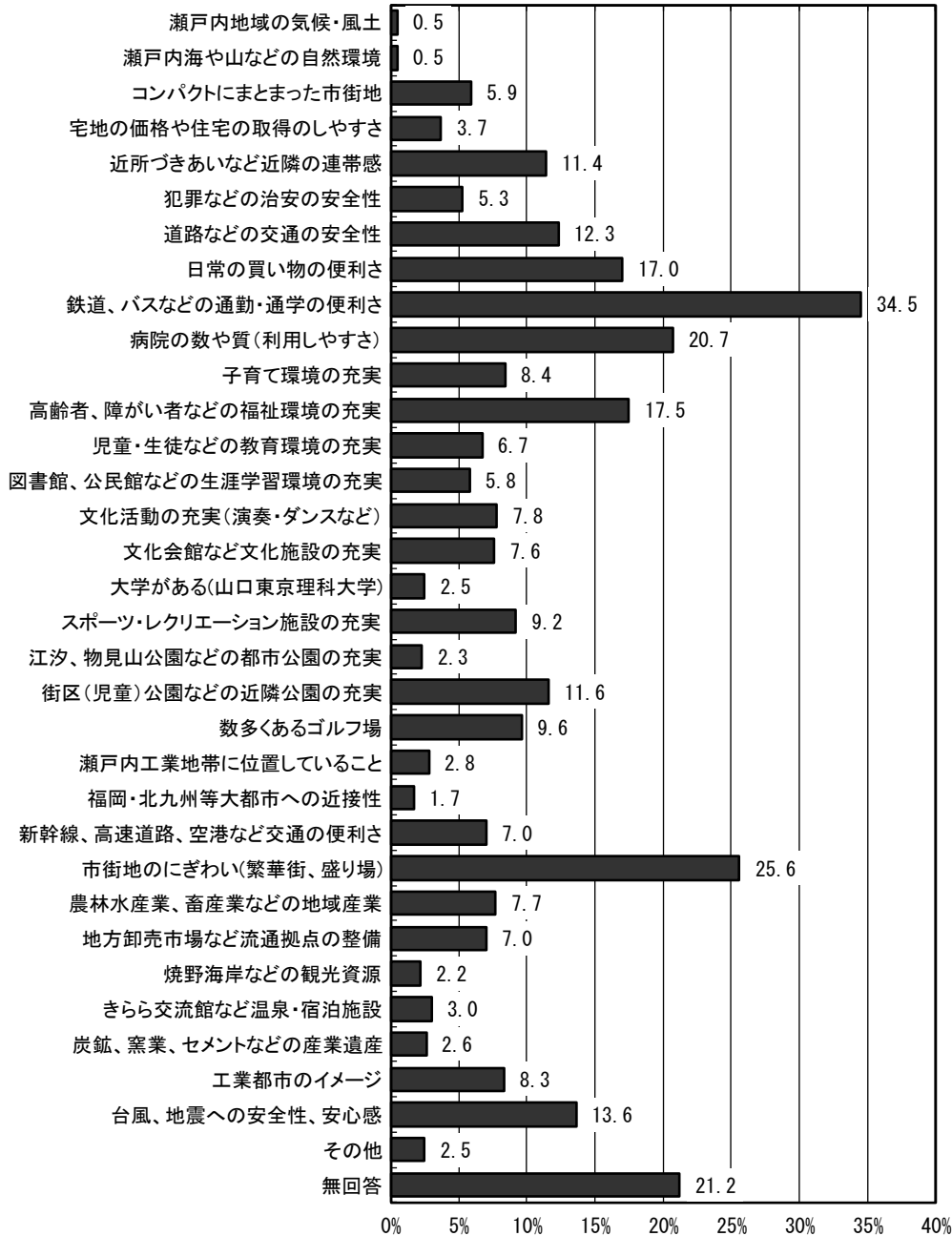
一般(MA) N=1,151



問6 山陽小野田市のきれいなところは何ですか？ (MA)

「鉄道、バスなどの通勤・通学の便利さ」が34.5%で最も高くなっています。次いで「市街地のにぎわい(繁華街、盛り場)」が25.6%、「病院の数や質(利用しやすさ)」が20.7%が続いています。

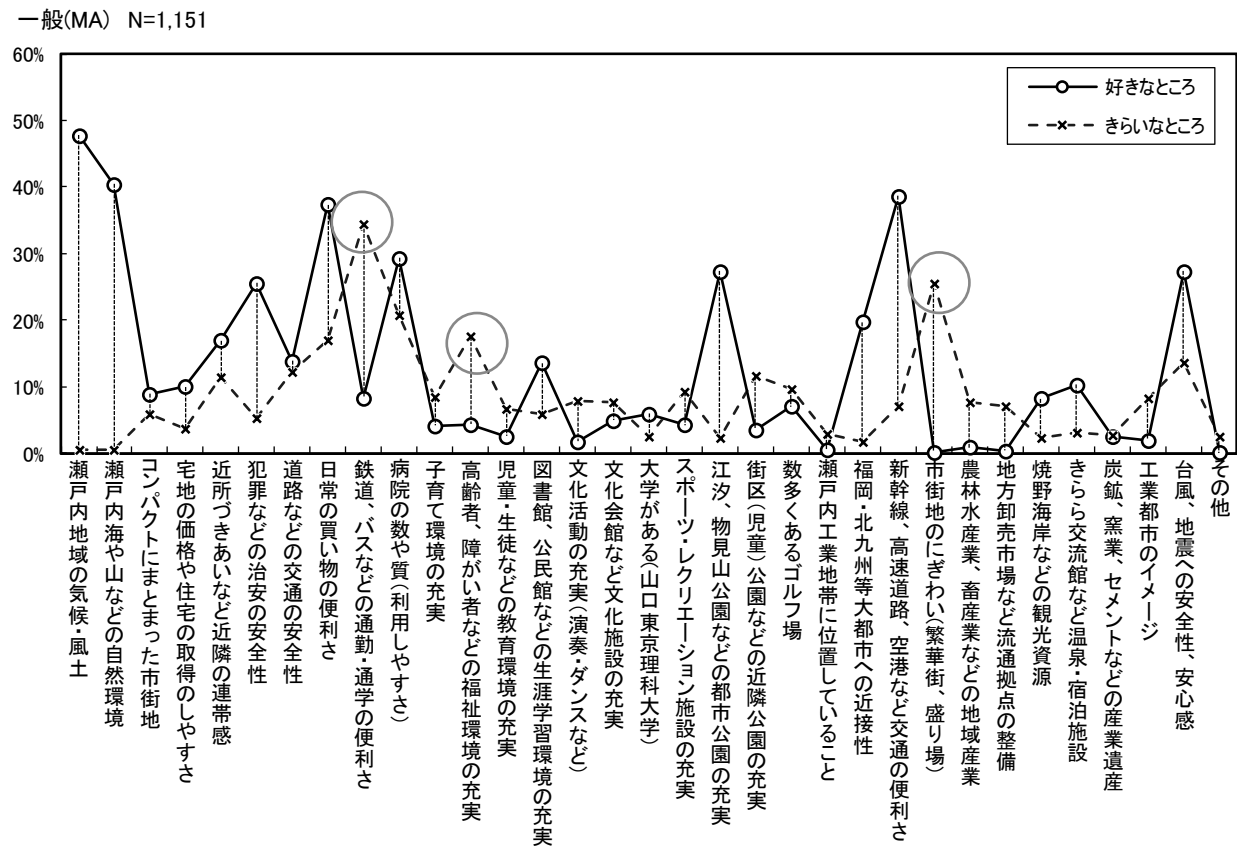
一般(MA) N=1,151



問6 山陽小野田市の好きなところきらいなところの比較

「鉄道、バスなどの通勤・通学の便利さ」「高齢者、障がい者などの福祉環境の充実」「市街地のにぎわい(繁華街、盛り場)」で、「きれい」が「好き」を大きく上回っています。

また、福祉面、教育・文化面、街区公園、産業面などで「きれい」が「好き」を上回っているものがあります。



(1) 性別集計

全体的な傾向としては、男女差は見られません。

「新幹線、高速道路、空港など交通の便利さ」においては男性の評価が高くなっています。

好きなところ（上位10項目）	全体 N=1,151	1. 男性 N=446	2. 女性 N=701
1. 瀬戸内地域の気候・風土	47.8	46.6	48.6
2. 瀬戸内海や山などの自然環境	40.4	40.6	40.5
24. 新幹線、高速道路、空港など交通の便利さ	38.7	43.9	35.5
8. 日常の買い物の便利さ	37.4	34.3	39.7
10. 病院の数や質（利用しやすさ）	29.3	28.3	30.1
19. 江汐、物見山公園などの都市公園の充実	27.3	26.9	27.5
32. 台風、地震への安全性、安心感	27.3	30.3	25.4
6. 犯罪などの治安の安全性	25.6	24.2	26.5
23. 福岡・北九州等大都市への近接性	19.7	17.7	21.1
5. 近所づきあいなど近隣の連帯感	16.9	15.2	18.0

きれいなところ（上位10項目）	全体 N=1,151	1. 男性 N=446	2. 女性 N=701
9. 鉄道、バスなどの通勤・通学の便利さ	34.5	31.2	36.7
25. 市街地のにぎわい(繁華街、盛り場)	25.6	27.8	24.4
10. 病院の数や質（利用しやすさ）	20.7	22.2	19.8
12. 高齢者、障がい者などの福祉環境の充実	17.5	20.6	15.5
8. 日常の買い物の便利さ	17.0	17.0	17.1
32. 台風、地震への安全性、安心感	13.6	14.3	13.3
7. 道路などの交通の安全性	12.3	12.8	12.1
20. 街区（児童）公園などの近隣公園の充実	11.6	12.1	11.4
5. 近所づきあいなど近隣の連帯感	11.4	12.8	10.6
21. 数多くあるゴルフ場	9.6	10.1	9.3

(2) 年齢別集計

好きなどころでは、40代以下と50代以上で異なる傾向を示しています。

50代以上では「気候・風土」「自然環境」などが高くなっていますが、40代以下では「買い物の便利さ」や「大都市への近接性」など、暮らしの中のことが上位に上がっています。

きらいなところでは、各年代に共通して「鉄道、バスなどの通勤・通学の便利さ」が最も高くなっています。

好きなどころ (上位10項目)	全体 N=1,151	1. 10代 N=13	2. 20代 N=51	3. 30代 N=120	4. 40代 N=139	5. 50代 N=173	6. 60代 N=317	7. 70代 以上 N=334
1. 瀬戸内地域の気候・風土	47.8	53.8	27.5	24.2	35.3	44.5	54.3	59.9
2. 瀬戸内海や山などの自然環境	40.4	23.1	45.1	29.2	40.3	40.5	42.3	42.8
24. 新幹線、高速道路、空港など交通の便利さ	38.7	38.5	29.4	35.0	30.9	43.9	42.9	38.3
8. 日常の買い物の便利さ	37.4	23.1	37.3	50.8	41.0	34.7	37.9	32.6
10. 病院の数や質 (利用しやすさ)	29.3	7.7	2.0	16.7	23.7	26.6	30.3	41.6
19. 江汐、物見山公園などの都市公園の充実	27.3	23.1	25.5	17.5	15.1	27.7	34.7	29.3
32. 台風、地震への安全性、安心感	27.3	30.8	29.4	20.0	18.0	34.1	32.5	25.1
6. 犯罪などの治安の安全性	25.6	23.1	33.3	31.7	25.2	22.5	23.7	26.3
23. 福岡・北九州等大都市への近接性	19.7	23.1	31.4	35.8	23.0	20.8	20.8	9.3
5. 近所づきあいなど近隣の連帯感	16.9	7.7	9.8	10.0	11.5	13.9	15.8	26.0

きらいなところ (上位10項目)	全体 N=1,151	1. 10代 N=13	2. 20代 N=51	3. 30代 N=120	4. 40代 N=139	5. 50代 N=173	6. 60代 N=317	7. 70代 以上 N=334
9. 鉄道、バスなどの通勤・通学の便利さ	34.5	61.5	45.1	35.0	45.3	41.0	34.7	23.4
25. 市街地のにぎわい(繁華街、盛り場)	25.6	23.1	21.6	29.2	25.9	20.2	30.6	23.4
10. 病院の数や質 (利用しやすさ)	20.7	23.1	17.6	17.5	20.9	24.9	19.6	21.3
12. 高齢者、障がい者などの福祉環境の充実	17.5	7.7	13.7	10.8	13.7	16.2	18.9	21.6
8. 日常の買い物の便利さ	17.0	23.1	21.6	10.8	18.0	14.5	16.7	19.8
32. 台風、地震への安全性、安心感	13.6	7.7	9.8	8.3	14.4	11.6	12.6	18.0
7. 道路などの交通の安全性	12.3	-	13.7	9.2	15.1	15.0	12.3	11.4
20. 街区(児童)公園などの近隣公園の充実	11.6	15.4	11.8	12.5	10.1	8.7	11.7	13.2
5. 近所づきあいなど近隣の連帯感	11.4	-	9.8	6.7	10.8	10.4	9.1	16.8
21. 数多くあるゴルフ場	9.6	23.1	9.8	11.7	4.3	7.5	9.8	11.4

(2) 小学校区別集計

好きなところでは、市街と郊外とで、暮らしの利便性に明らかな違いが見られます。

きれいなところでは、好きなところと対比できる状況が見られます。

好きなところ（上位10項目）	全体 N=1,151	1. 本山 N=46	2. 赤崎 N=81	3. 須恵 N=117	4. 小野 田 N=145	5. 高泊 N=81	6. 高千 帆 N=181
1. 瀬戸内地域の気候・風土	47.8	63.0	61.7	41.9	49.0	39.5	44.2
2. 瀬戸内海や山などの自然環境	40.4	76.1	44.4	34.2	34.5	33.3	36.5
2 4. 新幹線、高速道路、空港など交通の利便さ	38.7	23.9	19.8	27.4	20.7	29.6	43.6
8. 日常の買い物利便さ	37.4	10.9	37.0	44.4	57.2	42.0	43.6
1 0. 病院の数や質（利用しやすさ）	29.3	21.7	34.6	47.0	37.9	33.3	40.9
1 9. 江汐、物見山公園などの都市公園の充実	27.3	8.7	19.8	27.4	35.2	27.2	40.3
3 2. 台風、地震への安全性、安心感	27.3	37.0	29.6	29.1	27.6	37.0	23.8
6. 犯罪などの治安の安全性	25.6	30.4	25.9	17.9	22.1	32.1	18.8
2 3. 福岡・北九州等大都市への近接性	19.7	13.0	17.3	15.4	15.2	21.0	18.8
5. 近所づきあいなど近隣の連帯感	16.9	2.2	25.9	9.4	13.1	22.2	11.6

好きなところ（上位10項目）	7. 有帆 N=85	8. 厚狭 N=231	9. 厚陽 N=37	1 0. 出 合 N=47	1 1. 埴 生 N=71	1 2. 津 布田 N=26
1. 瀬戸内地域の気候・風土	48.2	44.2	37.8	36.2	66.2	65.4
2. 瀬戸内海や山などの自然環境	45.9	38.1	37.8	42.6	53.5	42.3
2 4. 新幹線、高速道路、空港など交通の利便さ	32.9	56.7	48.6	68.1	45.1	46.2
8. 日常の買い物利便さ	21.2	38.5	32.4	27.7	16.9	11.5
1 0. 病院の数や質（利用しやすさ）	30.6	14.7	35.1	12.8	8.5	11.5
1 9. 江汐、物見山公園などの都市公園の充実	40.0	21.6	29.7	21.3	12.7	7.7
3 2. 台風、地震への安全性、安心感	28.2	24.7	21.6	23.4	28.2	23.1
6. 犯罪などの治安の安全性	29.4	33.3	27.0	14.9	29.6	26.9
2 3. 福岡・北九州等大都市への近接性	21.2	23.4	21.6	29.8	23.9	19.2
5. 近所づきあいなど近隣の連帯感	17.6	18.2	21.6	38.3	25.4	11.5

きれいなところ（上位10項目）	全体 N=1,151	1. 本山 N=46	2. 赤崎 N=81	3. 須恵 N=117	4. 小野 田 N=145	5. 高泊 N=81	6. 高千 帆 N=181
9. 鉄道、バスなどの通勤・通学の利便さ	34.5	60.9	51.9	36.8	35.9	44.4	25.4
2 5. 市街地のにぎわい（繁華街、盛り場）	25.6	23.9	22.2	27.4	24.8	24.7	26.0
1 0. 病院の数や質（利用しやすさ）	20.7	8.7	7.4	7.7	9.7	11.1	7.7
1 2. 高齢者、障がい者などの福祉環境の充実	17.5	17.4	18.5	14.5	13.1	21.0	19.9
8. 日常の買い物利便さ	17.0	30.4	17.3	11.1	9.0	11.1	8.3
3 2. 台風、地震への安全性、安心感	13.6	13.0	13.6	12.8	13.1	11.1	13.3
7. 道路などの交通の安全性	12.3	10.9	8.6	11.1	12.4	8.6	16.6
2 0. 街区（児童）公園などの近隣公園の充実	11.6	4.3	12.3	7.7	8.3	12.3	10.5
5. 近所づきあいなど近隣の連帯感	11.4	10.9	9.9	10.3	12.4	9.9	13.3
2 1. 数多くあるゴルフ場	9.6	6.5	9.9	8.5	11.7	8.6	11.6

きれいなところ（上位10項目）	7. 有帆 N=85	8. 厚狭 N=231	9. 厚陽 N=37	1 0. 出 合 N=47	1 1. 埴 生 N=71	1 2. 津 布田 N=26
9. 鉄道、バスなどの通勤・通学の利便さ	40.0	21.2	29.7	40.4	28.2	61.5
2 5. 市街地のにぎわい（繁華街、盛り場）	27.1	27.3	24.3	40.4	19.7	11.5
1 0. 病院の数や質（利用しやすさ）	18.8	41.6	10.8	44.7	53.5	26.9
1 2. 高齢者、障がい者などの福祉環境の充実	8.2	19.9	10.8	12.8	32.4	7.7
8. 日常の買い物利便さ	31.8	16.5	16.2	21.3	32.4	53.8
3 2. 台風、地震への安全性、安心感	7.1	14.3	18.9	6.4	23.9	23.1
7. 道路などの交通の安全性	17.6	12.1	10.8	14.9	7.0	11.5
2 0. 街区（児童）公園などの近隣公園の充実	5.9	17.3	16.2	19.1	11.3	15.4
5. 近所づきあいなど近隣の連帯感	14.1	13.0	8.1	6.4	9.9	3.8
2 1. 数多くあるゴルフ場	10.6	8.7	5.4	10.6	9.9	3.8

(3) 住み良さ別集計

住みにくいと感じている人では、「近所づきあいなど近隣の連帯感」「日常の買い物の便利さ」「病院の数や質」で、住み良いと感じている人との明らかな差が見られます。

好きなところ（上位10項目）	全体 N=1,151	住み良い N=911	住みにく い N=94
1. 瀬戸内地域の気候・風土	47.8	49.1	41.5
2. 瀬戸内海や山などの自然環境	40.4	40.9	28.7
24. 新幹線、高速道路、空港など交通の便利さ	38.7	39.2	41.5
8. 日常の買い物の便利さ	37.4	40.2	16.0
10. 病院の数や質（利用しやすさ）	29.3	31.6	12.8
19. 江汐、物見山公園などの都市公園の充実	27.3	28.2	24.5
32. 台風、地震への安全性、安心感	27.3	28.2	36.2
6. 犯罪などの治安の安全性	25.6	26.5	27.7
23. 福岡・北九州等大都市への近接性	19.7	20.4	17.0
5. 近所づきあいなど近隣の連帯感	16.9	18.7	6.4

きらいなところ（上位10項目）	全体 N=1,151	住み良い N=911	住みにく い N=94
9. 鉄道、バスなどの通勤・通学の便利さ	34.5	32.8	44.7
25. 市街地のにぎわい(繁華街、盛り場)	25.6	26.2	23.4
10. 病院の数や質（利用しやすさ）	20.7	18.7	28.7
12. 高齢者、障がい者などの福祉環境の充実	17.5	17.5	13.8
8. 日常の買い物の便利さ	17.0	14.5	37.2
32. 台風、地震への安全性、安心感	13.6	13.6	9.6
7. 道路などの交通の安全性	12.3	11.3	18.1
20. 街区（児童）公園などの近隣公園の充実	11.6	11.6	12.8
5. 近所づきあいなど近隣の連帯感	11.4	10.5	17.0
21. 数多くあるゴルフ場	9.6	9.8	5.3

(4) 定住希望別集計

好きなどころでは、転出希望で「福岡・北九州等大都市への近接性」が 31.0%と高くなっており、一方で景観や自然に関することは低くなっています。

また、好ききらいとも、「近所づきあいなど近隣の連帯感」に差が見られます。

好きなどころ（上位10項目）	全体 N=1,151	定住・ Uターン希望 N=923	転出希望 N=58
1. 瀬戸内地域の気候・風土	47.8	50.2	34.5
2. 瀬戸内海や山などの自然環境	40.4	41.1	36.2
2 4. 新幹線、高速道路、空港など交通の便利さ	38.7	41.4	36.2
8. 日常の買い物の便利さ	37.4	38.8	27.6
1 0. 病院の数や質（利用しやすさ）	29.3	31.7	15.5
1 9. 江汐、物見山公園などの都市公園の充実	27.3	28.7	19.0
3 2. 台風、地震への安全性、安心感	27.3	28.3	15.5
6. 犯罪などの治安の安全性	25.6	26.1	27.6
2 3. 福岡・北九州等大都市への近接性	19.7	19.4	31.0
5. 近所づきあいなど近隣の連帯感	16.9	18.5	12.1

きらいなどころ（上位10項目）	全体 N=1,151	定住・ Uターン希望 N=923	転出希望 N=58
9. 鉄道、バスなどの通勤・通学の便利さ	34.5	33.6	39.7
2 5. 市街地のにぎわい(繁華街、盛り場)	25.6	26.2	22.4
1 0. 病院の数や質（利用しやすさ）	20.7	20.4	20.7
1 2. 高齢者、障がい者などの福祉環境の充実	17.5	18.2	20.7
8. 日常の買い物の便利さ	17.0	16.3	19.0
3 2. 台風、地震への安全性、安心感	13.6	14.5	8.6
7. 道路などの交通の安全性	12.3	12.9	6.9
2 0. 街区（児童）公園などの近隣公園の充実	11.6	12.2	15.5
5. 近所づきあいなど近隣の連帯感	11.4	10.8	19.0
2 1. 数多くあるゴルフ場	9.6	9.3	10.3

3 市政に対する評価と課題

問7 「市民が主役のまちづくり」(自治、行財政改革)について、市が実施している施策・状況に満足していますか。
また特に重要と思われる施策を2つ選んでください。

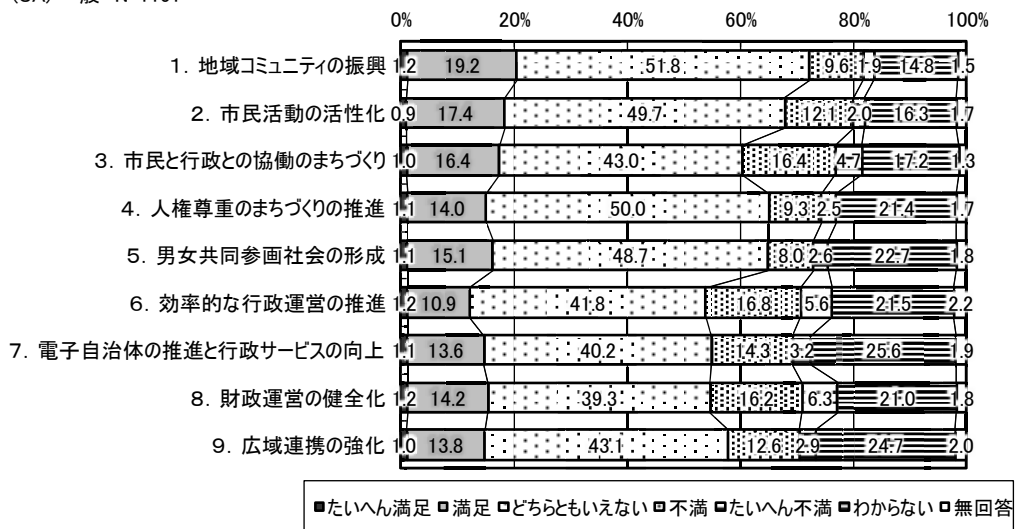
いずれも「どちらともいえない」が最も高くなっています。

「地域コミュニティの振興」のみ「たいへん満足」「満足」の合計が20%を超えています。

また、6～9の行政・財政に関する施策では「たいへん不満」「不満」の合計が「たいへん満足」「満足」を上回っています。

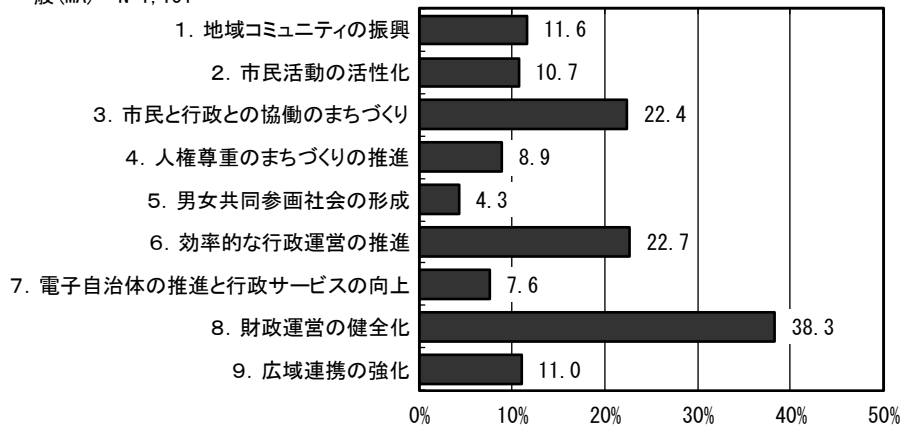
重要な施策では「財政運営の健全化」が群を抜いています。

(SA)一般 N=1151



(重要な施策)

一般(MA) N=1,151



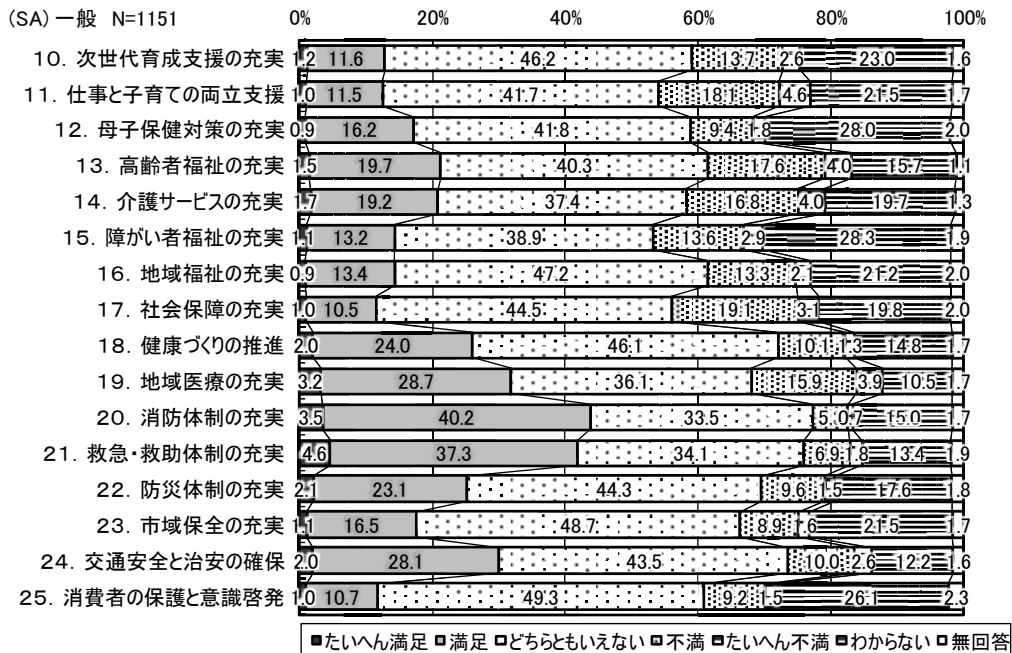
問8 「暮らしの安心・安全を守るまちづくり」(健康・福祉、防災・防犯)について、市が実施している施策・状況に満足していますか。
また特に重要と思われる施策を2つ選んでください。

20、21を除く施策で「どちらともいえない」が最も高くなっています。

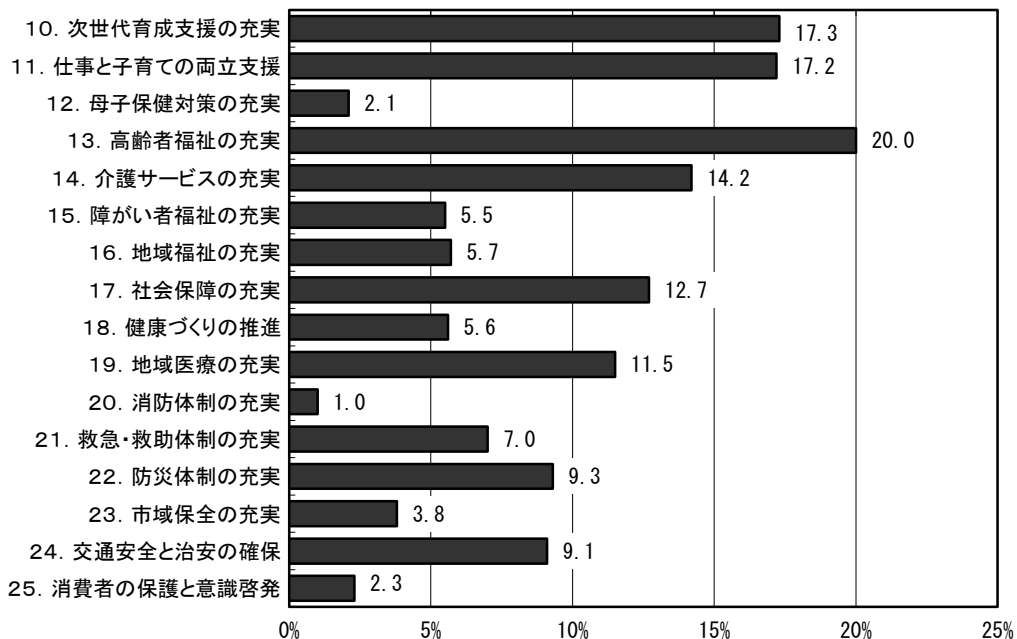
消防・救急にかかる項目で「たいへん満足」「満足」の合計が40%を超えています。

また、10～17の福祉系施策では、12、14を除き、「たいへん不満」「不満」の合計が「たいへん満足」「満足」を上回っています。

重要な施策では、高齢者福祉、子育て支援に係る項目が高くなっています。



一般(MA) N=1,151



問9 「人が輝く心豊かなまちづくり」(教育・文化)について、市が実施している施策・状況に満足していますか。
また特に重要と思われる施策を2つ選んでください。

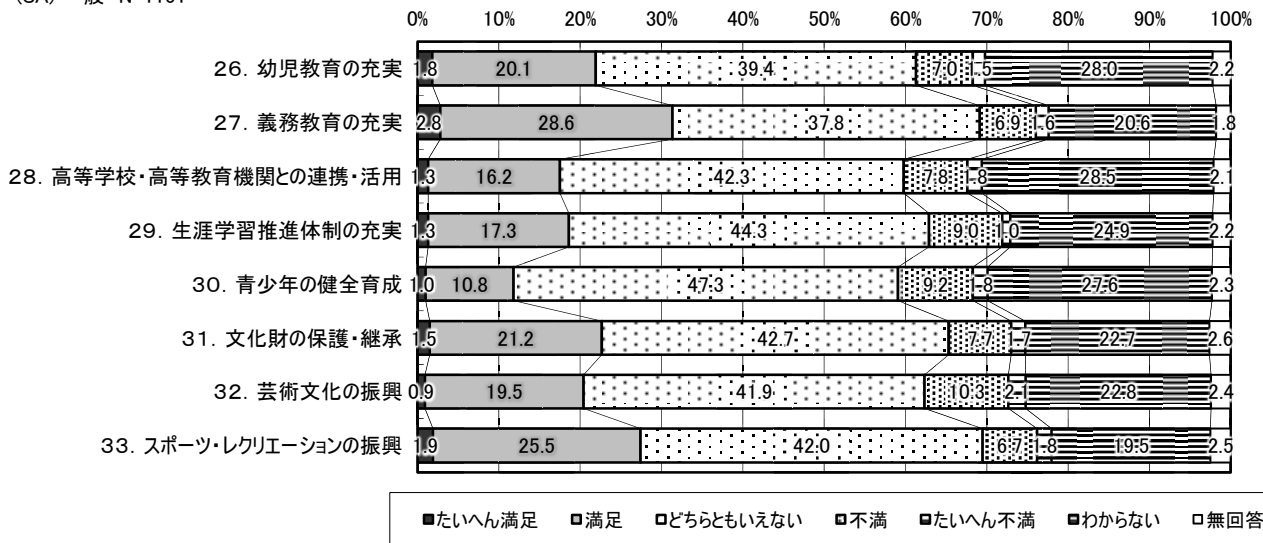
いずれも「どちらともいえない」が最も高くなっています。

「義務教育の充実」「スポーツ・レクリエーションの振興」で「たいへん満足」「満足」の合計が25%を超えています。

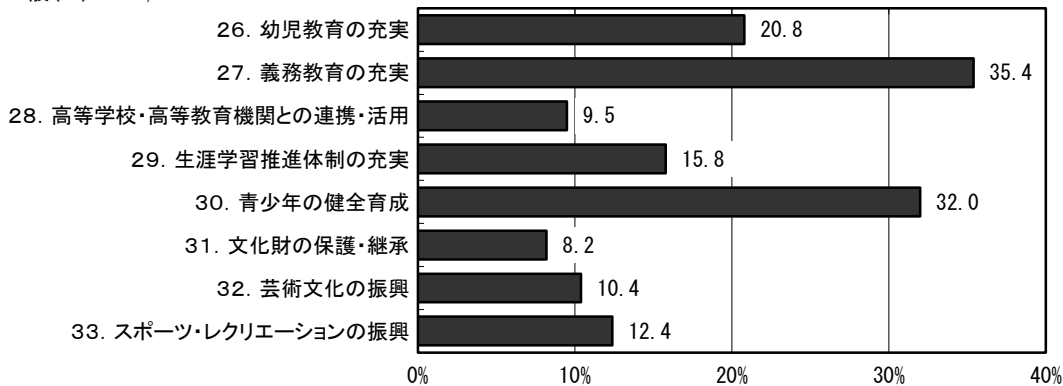
また、「青少年の健全育成」で「たいへん不満」「不満」の合計が「たいへん満足」「満足」と拮抗しています。

重要な施策では「義務教育の充実」、「青少年の健全育成」が群を抜いています。

(SA) 一般 N=1151



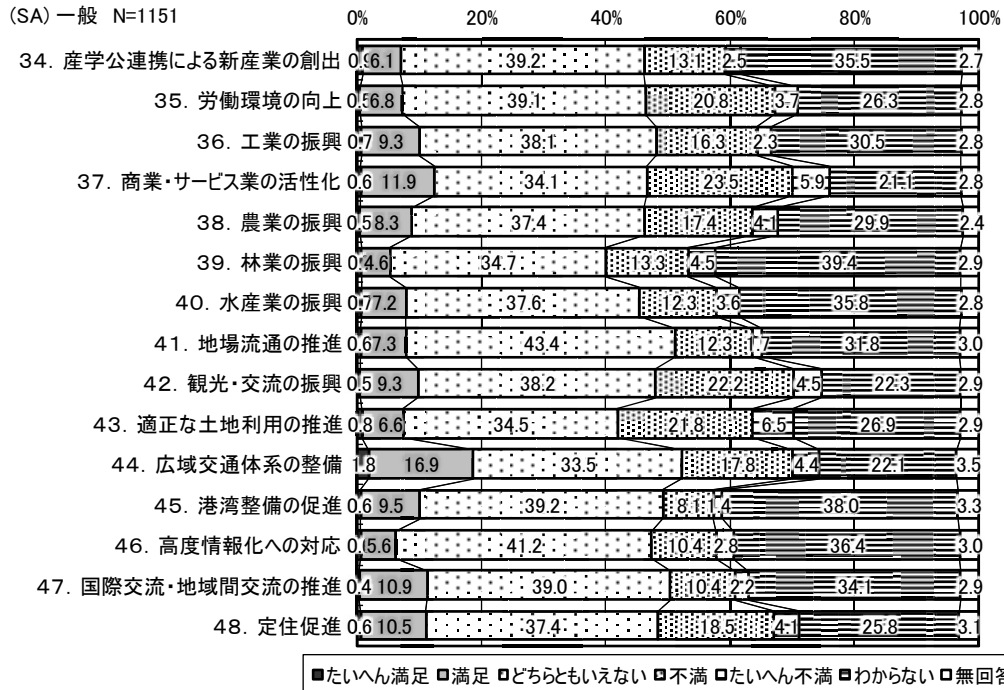
一般(MA) N=1,151



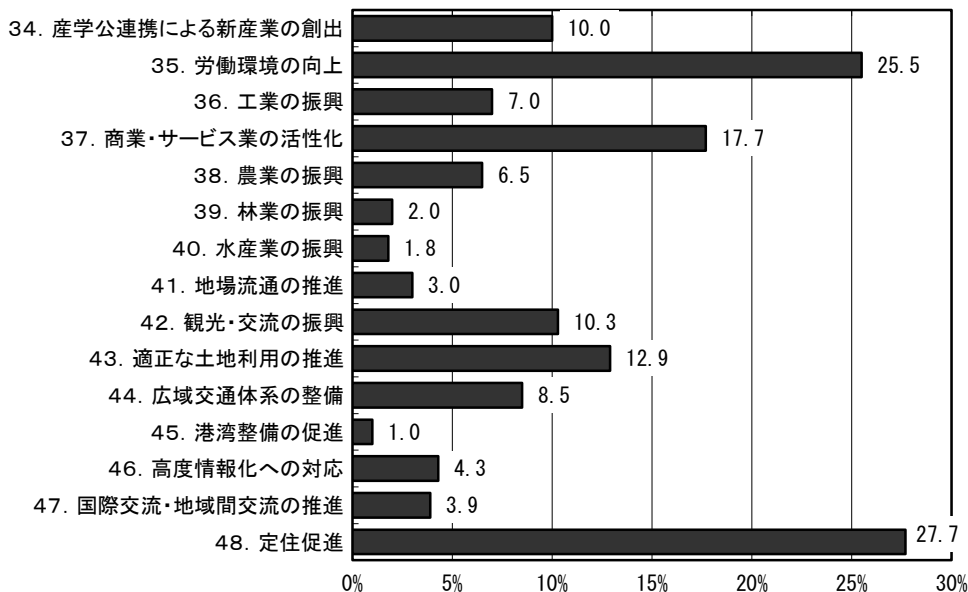
問10 市「にぎわいと活力にみちたまちづくり」（産業振興、都市基盤）について、市が実施している施策・状況に満足していますか。
また特に重要と思われる施策を2つ選んでください。

いずれも「どちらともいえない」が最も高くなっています。また、「港湾施設整備の促進」を除き、「たいへん不満」「不満」の合計が「たいへん満足」「満足」の合計を上回っています。

重要な施策では「定住促進」「労働環境の向上」「商業・サービス業の活性化」が高くなっています。



一般 (MA) N=1,151



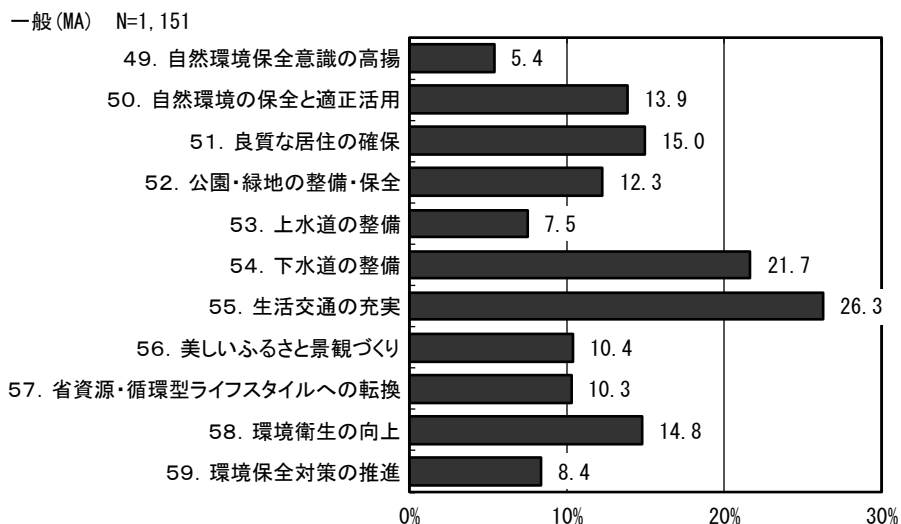
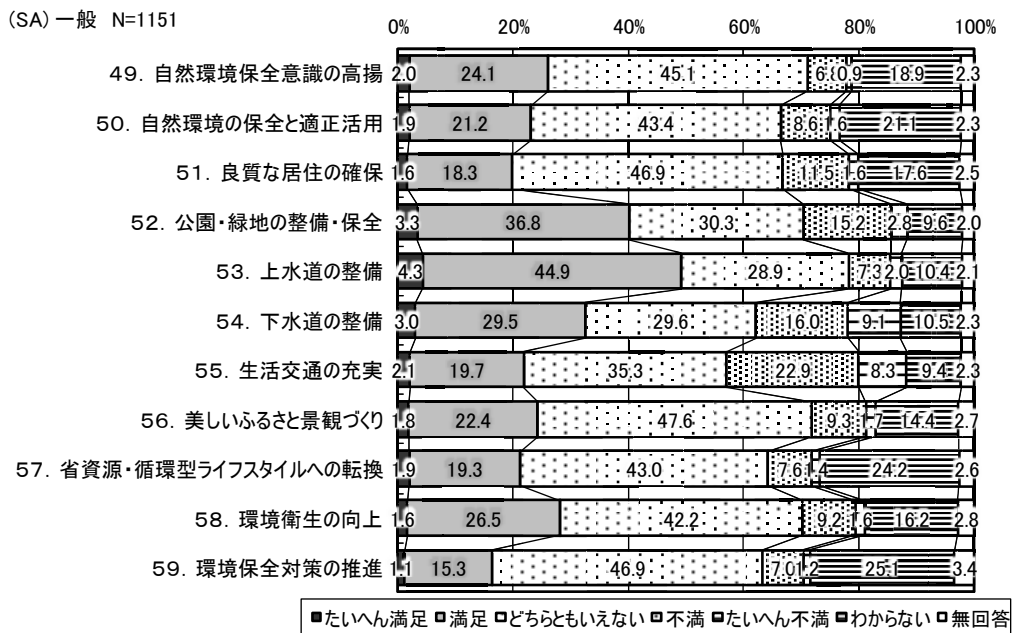
問11 「うるおいのある快適なまちづくり」（生活環境、都市基盤）について、市が実施している施策・状況に満足していますか。
また特に重要と思われる施策を2つ選んでください。

「公園・緑地の整備・保全」「上水道の整備」を除き、「どちらともいえない」が最も高くなっています。

「上水道の整備」では、「たいへん満足」「満足」の合計が50%を超えています。

また、「生活交通の充実」で「たいへん不満」「不満」の合計が「たいへん満足」「満足」を上回っています。

重要な施策では「生活交通の充実」「下水道の整備」が高くなっています。

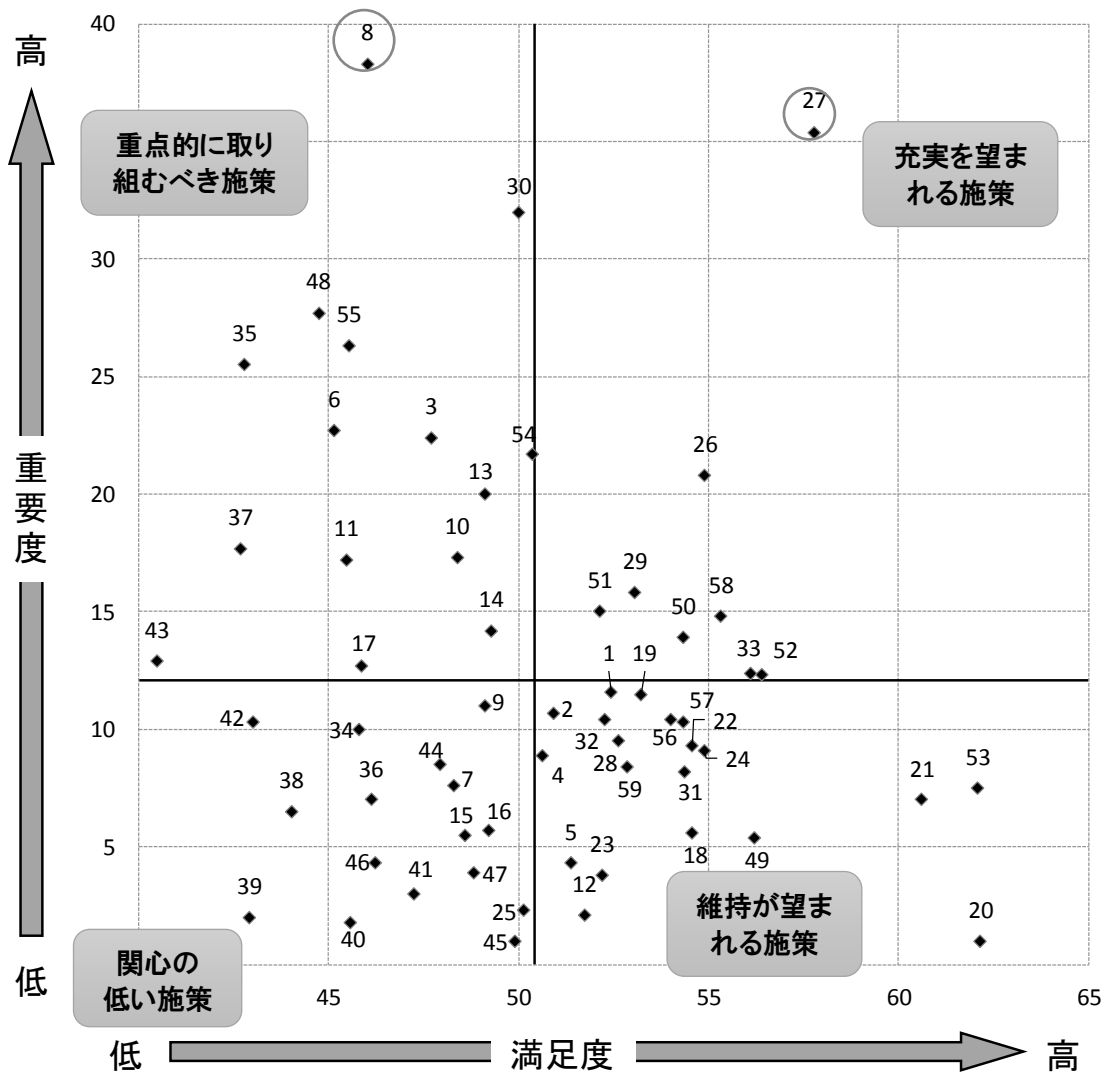


問7～11 満足度と重要度の集計

(1) 満足度・重要度のクロス

「財政運営の健全化」が最も重要性が高く、満足度が比較的低い位置にある施策です。更なる充実を求められるものでは「義務教育の充実」が突出しています。

全体的に、経済・産業関連の施策への関心が低く、福祉、子育て支援などへの取組が望まれる結果となっています。



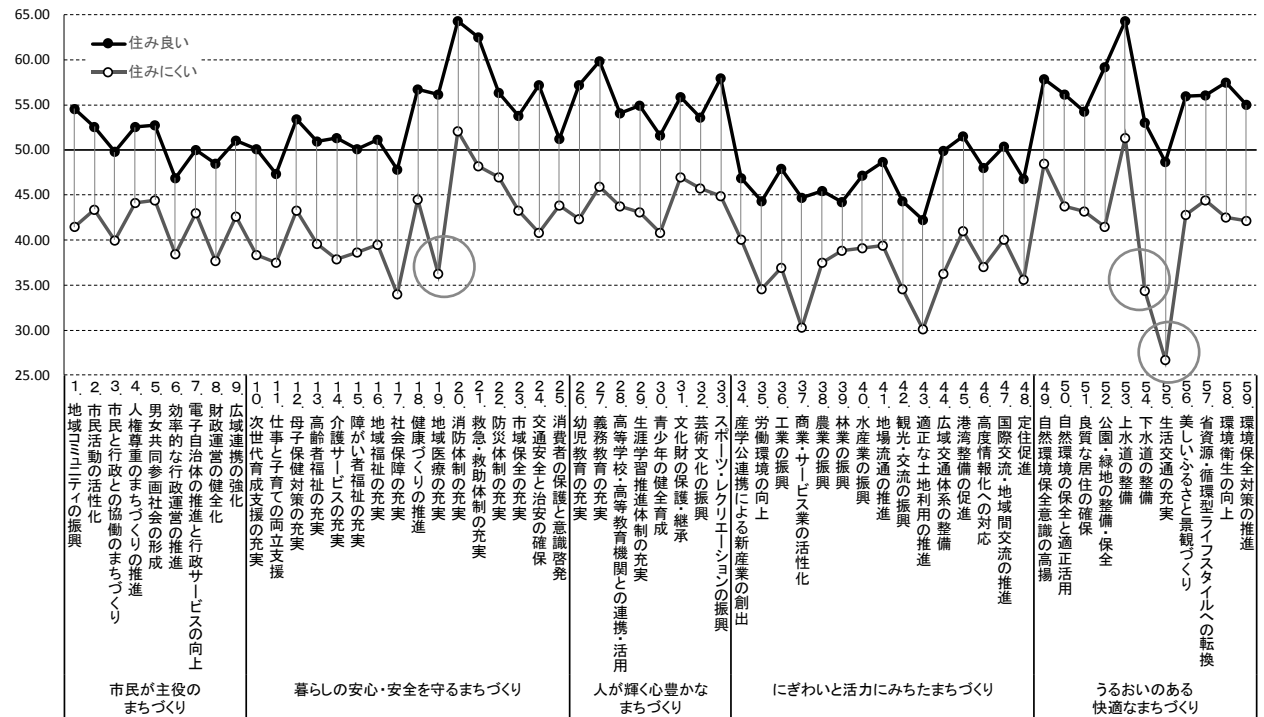
※満足度については、回答を下表の通り点数換算し、対象人数で平均した値です。(以下同様)

たいへん満足	100
満足	75
どちらともいえない	50
不満	25
たいへん不満	0
わからない	対象外

(2) 住み良さ別の満足度

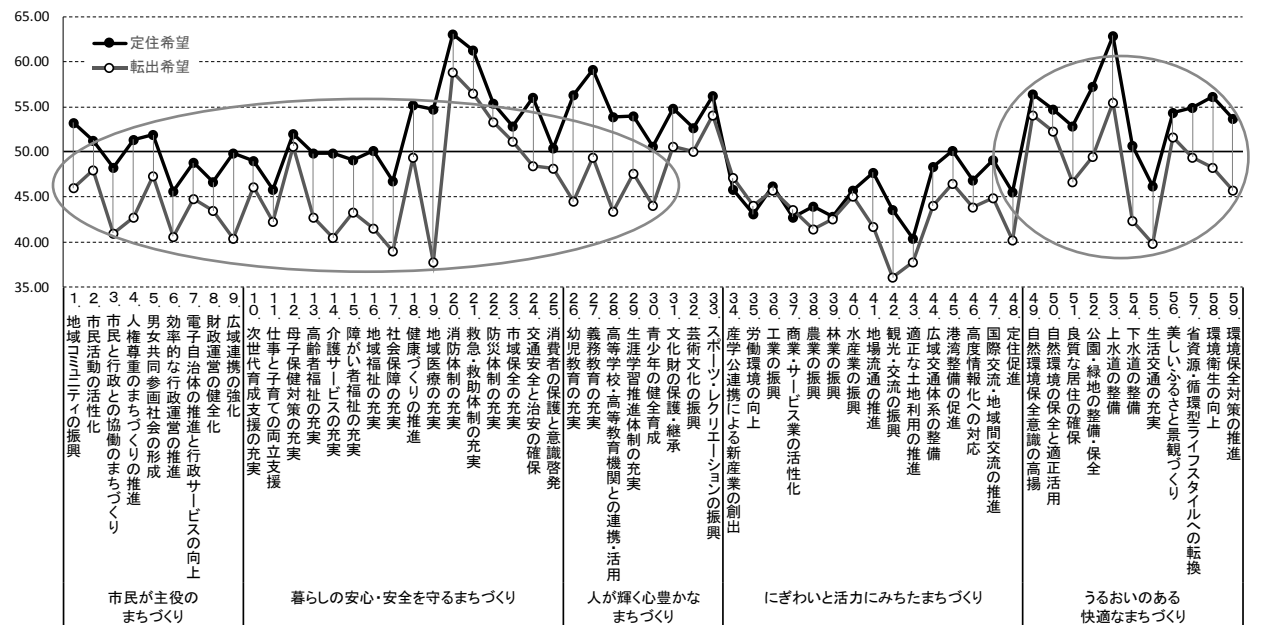
全体的に「住みにくい」と感じている人の満足度は低くなっています。

特に、「生活交通の充実」「下水道の整備」「地域医療の充実」などで、その格差が大きくなっています。



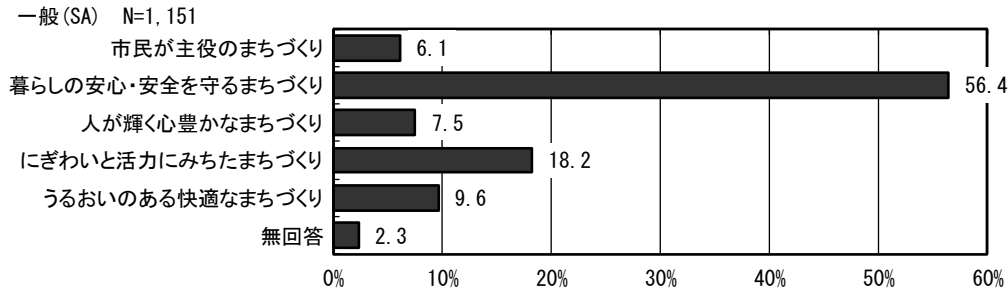
(3) 定住希望別の満足度

下図の左半分、及び「うるおいのある快適なまちづくり」において、転出希望者の満足度が低くなっています。特に「地域医療の充実」で大きな差異が見られます。



問12 あなたが次の5つのテーマの中で最も重視するものは何ですか？ (SA)

「暮らしの安心・安全を守るまちづくり」が56.4%で突出しています。「にぎわいと活力にみちたまちづくり」が18.2%で続いています。



(1) 性別集計

女性では「暮らしの安心・安全を守るまちづくり」が男性より高く、男性では「にぎわいと活力にみちたまちづくり」が女性より高くなっています。

	全体 N=1,151	1. 男性 N=446	2. 女性 N=701
1. 市民が主役のまちづくり	6.1	7.0	5.4
2. 暮らしの安心・安全を守るまちづくり	56.4	53.1	58.6
3. 人が輝く心豊かなまちづくり	7.5	7.2	7.7
4. にぎわいと活力にみちたまちづくり	18.2	21.1	16.5
5. うるおいのある快適なまちづくり	9.6	9.9	9.4
無回答	2.3	1.8	2.3

(2) 小学校区別集計

「にぎわいと活力にみちたまちづくり」が須恵で29.9%、出合で23.4%、小野田で20.0%と20%を超えています。

	全体 N=1,151	1. 本山 N=46	2. 赤崎 N=81	3. 須恵 N=117	4. 小野 田 N=145	5. 高泊 N=81	6. 高千 帆 N=181
1. 市民が主役のまちづくり	6.1	2.2	6.2	2.6	6.2	9.9	8.3
2. 暮らしの安心・安全を守るまちづくり	56.4	69.6	58.0	51.3	51.7	59.3	56.4
3. 人が輝く心豊かなまちづくり	7.5	4.3	9.9	3.4	7.6	7.4	8.8
4. にぎわいと活力にみちたまちづくり	18.2	10.9	17.3	29.9	20.0	12.3	14.9
5. うるおいのある快適なまちづくり	9.6	8.7	8.6	8.5	9.7	9.9	9.9
無回答	2.3	4.3	-	4.3	4.8	1.2	1.7
	7. 有帆 N=85	8. 厚狭 N=231	9. 厚陽 N=37	10. 出 合 N=47	11. 埴 生 N=71	12. 津 布田 N=26	
1. 市民が主役のまちづくり	9.4	3.5	-	8.5	8.5	7.7	
2. 暮らしの安心・安全を守るまちづくり	60.0	56.7	54.1	48.9	59.2	69.2	
3. 人が輝く心豊かなまちづくり	8.2	6.9	10.8	12.8	8.5	-	
4. にぎわいと活力にみちたまちづくり	14.1	19.9	18.9	23.4	15.5	11.5	
5. うるおいのある快適なまちづくり	8.2	11.3	16.2	6.4	7.0	7.7	
無回答	-	1.7	-	-	1.4	3.8	

(3) 住み良さ別集計

住みにくいと感じている人では、「にぎわいと活力にみちたまちづくり」を重視する回答が約4分の1となっています。

	全体 N=1,151	住み良い N=911	住みにくい N=94
1. 市民が主役のまちづくり	6.1	5.7	7.4
2. 暮らしの安心・安全を守るまちづくり	56.4	58.4	48.9
3. 人が輝く心豊かなまちづくり	7.5	7.8	5.3
4. にぎわいと活力にみちたまちづくり	18.2	17.9	25.5
5. うるおいのある快適なまちづくり	9.6	9.4	12.8
無回答	2.3	0.8	-

(4) 定住希望別

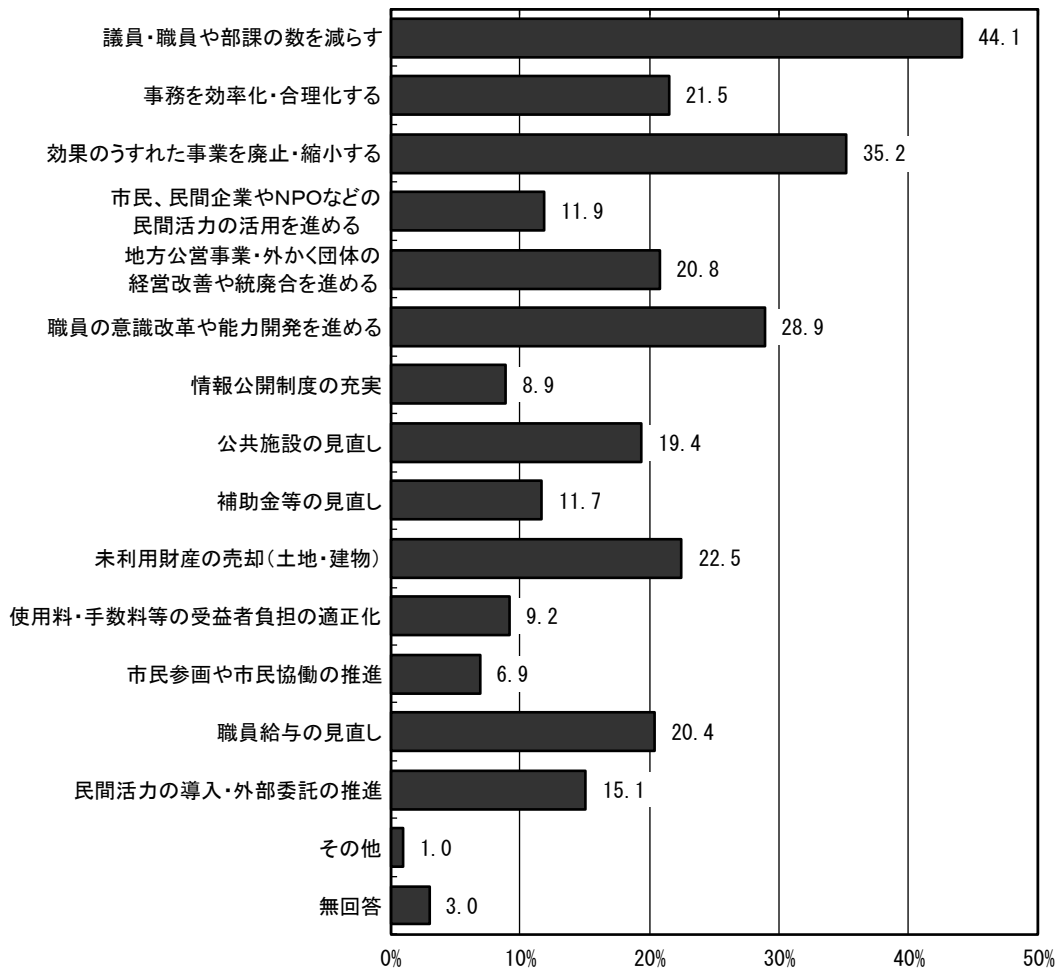
転出希望の人では、「にぎわいと活力にみちたまちづくり」を重視する回答が約3分の1となっています。

	全体 N=1,151	定住・ Uターン希望 N=923	転出希望 N=58
1. 市民が主役のまちづくり	6.1	6.2	5.2
2. 暮らしの安心・安全を守るまちづくり	56.4	57.4	48.3
3. 人が輝く心豊かなまちづくり	7.5	7.4	5.2
4. にぎわいと活力にみちたまちづくり	18.2	18.4	31.0
5. うるおいのある快適なまちづくり	9.6	9.4	10.3
無回答	2.3	1.2	-

問13 現在取り組まれている山陽小野田市の行財政改革では、何に重点的に取り組むべきだと思いますか？ (MA)

「議員・職員や部課の数を減らす」が44.1%で最も高くなっています。次いで「効果のうすれた事業を廃止・縮小する」が35.2%、「職員の意識改革や能力開発を進める」が28.9%が続いています。

一般(MA) N=1,151



(1) 性別集計

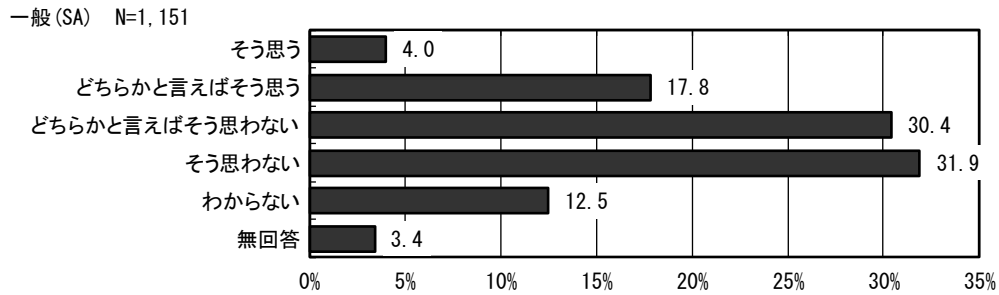
「未利用財産の売却（土地・建物）」の割合で女性が男性を9.4ポイント上回っています。

「市民病院、オートレース事業、土地開発公社など地方公営事業・外かく団体の経営改善や統廃合を進める」で男性が女性を6.3ポイント上回っています。

	全体 N=1,151	1. 男性 N=446	2. 女性 N=701
1. 議員・職員や部課の数を減らす	44.1	44.8	43.9
2. 事務を効率化・合理化する	21.5	24.2	19.8
3. 効果のうすれた事業を廃止・縮小する	35.2	37.0	34.1
4. 市民、民間企業やNPOなどの民間活力の活用を進める	11.9	11.9	12.0
5. 市民病院、オートレース事業、土地開発公社など 地方公営事業・外かく団体の経営改善や統廃合を進める	20.8	24.7	18.4
6. 職員の意識改革や能力開発を進める	28.9	29.6	28.5
7. 情報公開制度の充実	8.9	9.6	8.4
8. 公共施設の見直し	19.4	18.6	20.0
9. 補助金等の見直し	11.7	11.4	12.0
10. 未利用財産の売却（土地・建物）	22.5	16.8	26.2
11. 使用料・手数料等の受益者負担の適正化	9.2	10.5	8.4
12. 市民参画や市民協働の推進	6.9	7.0	6.8
13. 職員給与の見直し	20.4	19.3	21.3
14. 民間活力の導入・外部委託の推進	15.1	17.7	13.4
15. その他	1.0	2.0	0.4
無回答	3.0	1.3	3.9

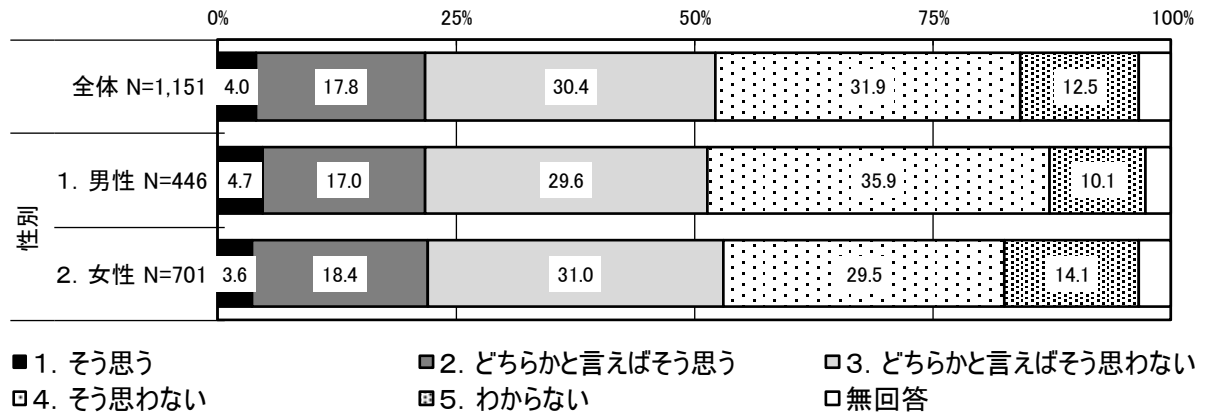
問14 合併後の「山陽小野田市」として一体感が感じられるようになりましたか？ (SA)

「そう思わない」が31.9%、「どちらかと言えばそう思わない」が30.4%で群を抜いて高くなっています。「どちらかと言えばそう思う」が17.8%で続いています。



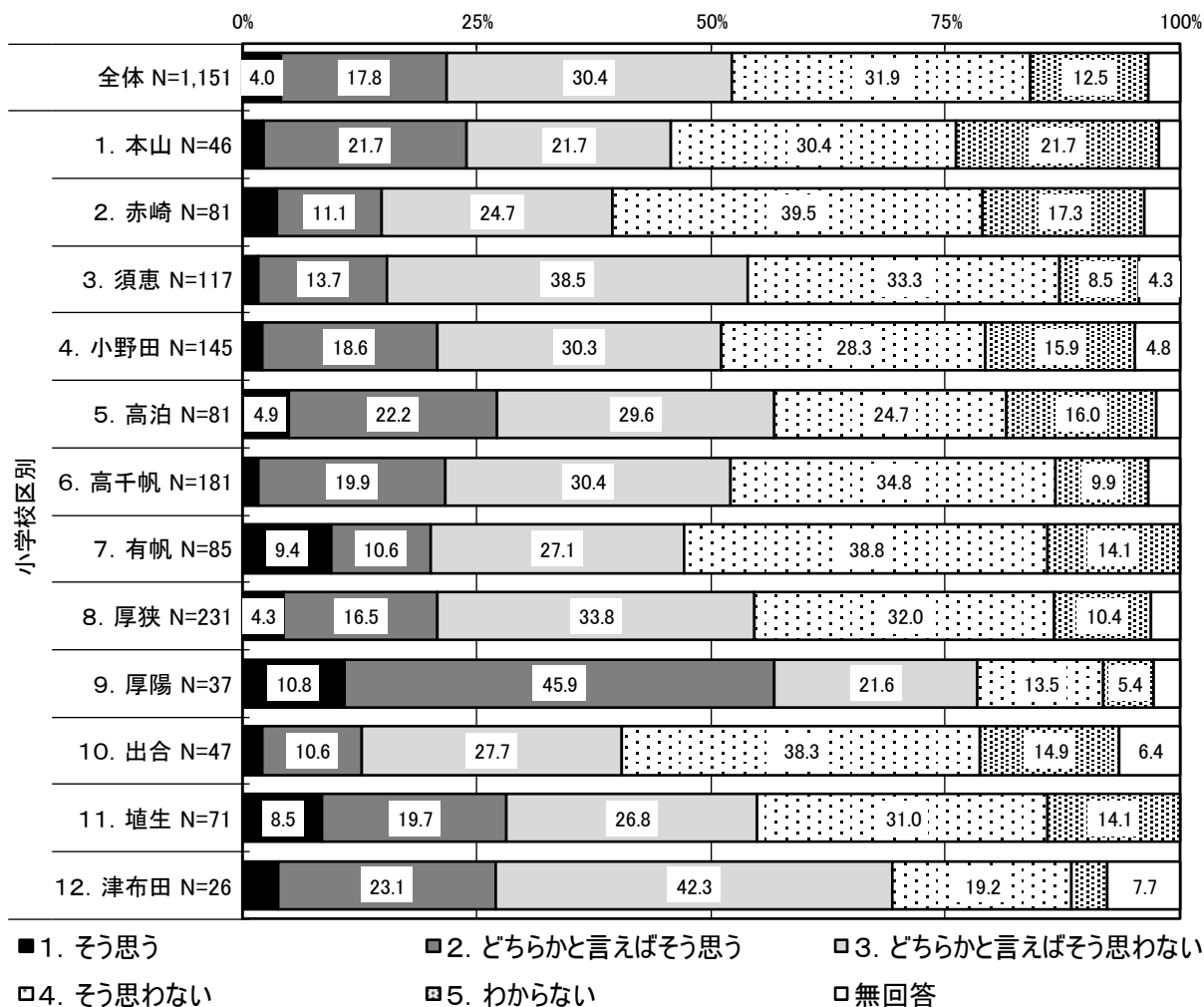
(1) 性別集計

「そう思わない」で、男性が女性を6.4ポイント上回っています。



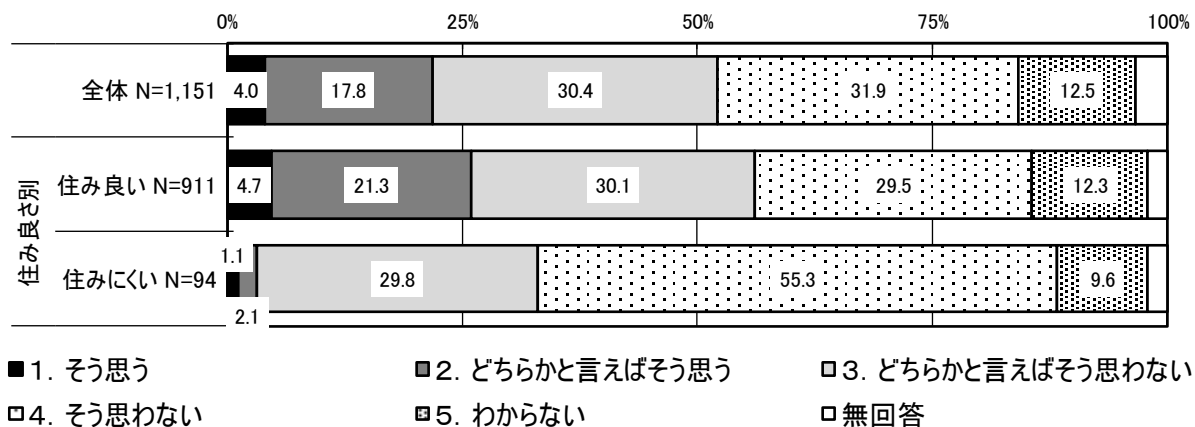
(2) 小学校区別集計

厚陽で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が過半数となっています。



(3) 住み良さ別

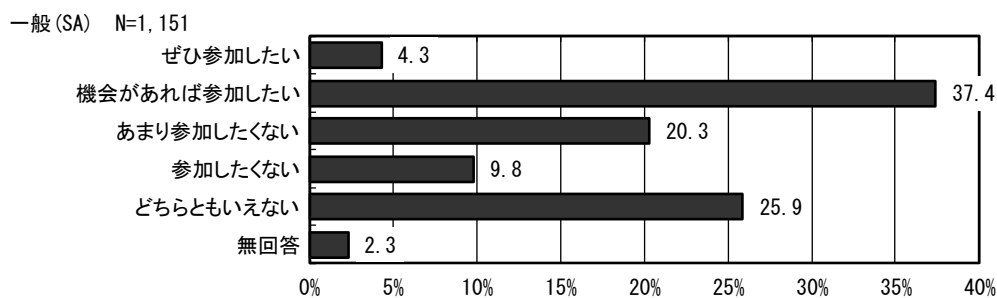
住みにくいと感じている人では、「そう思わない」が過半数となっています。



4 市政への市民参加について

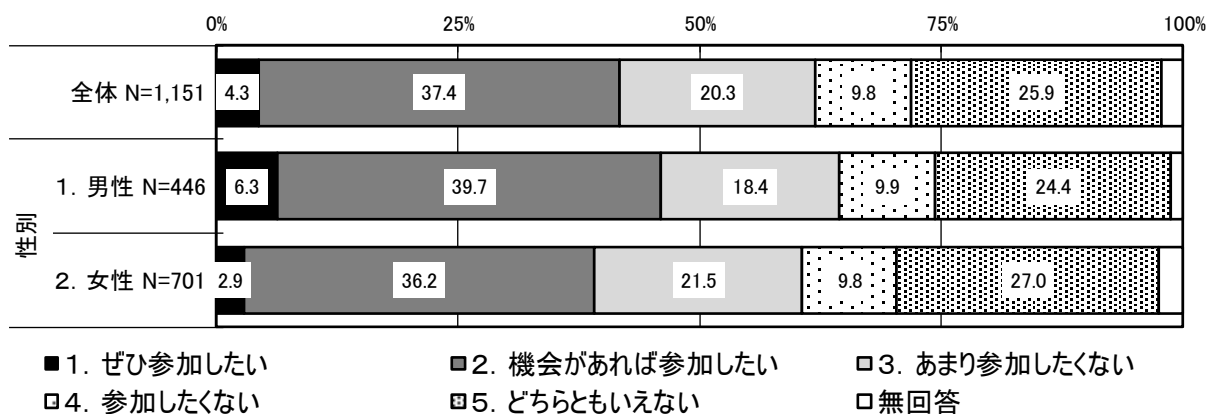
問15 市政への参加についてどう思われますか？ (SA)

「機会があれば参加したい」が37.4%で最も高くなっています。次いで「どちらともいえない」が25.9%、「あまり参加したくない」が20.3%が続いています。



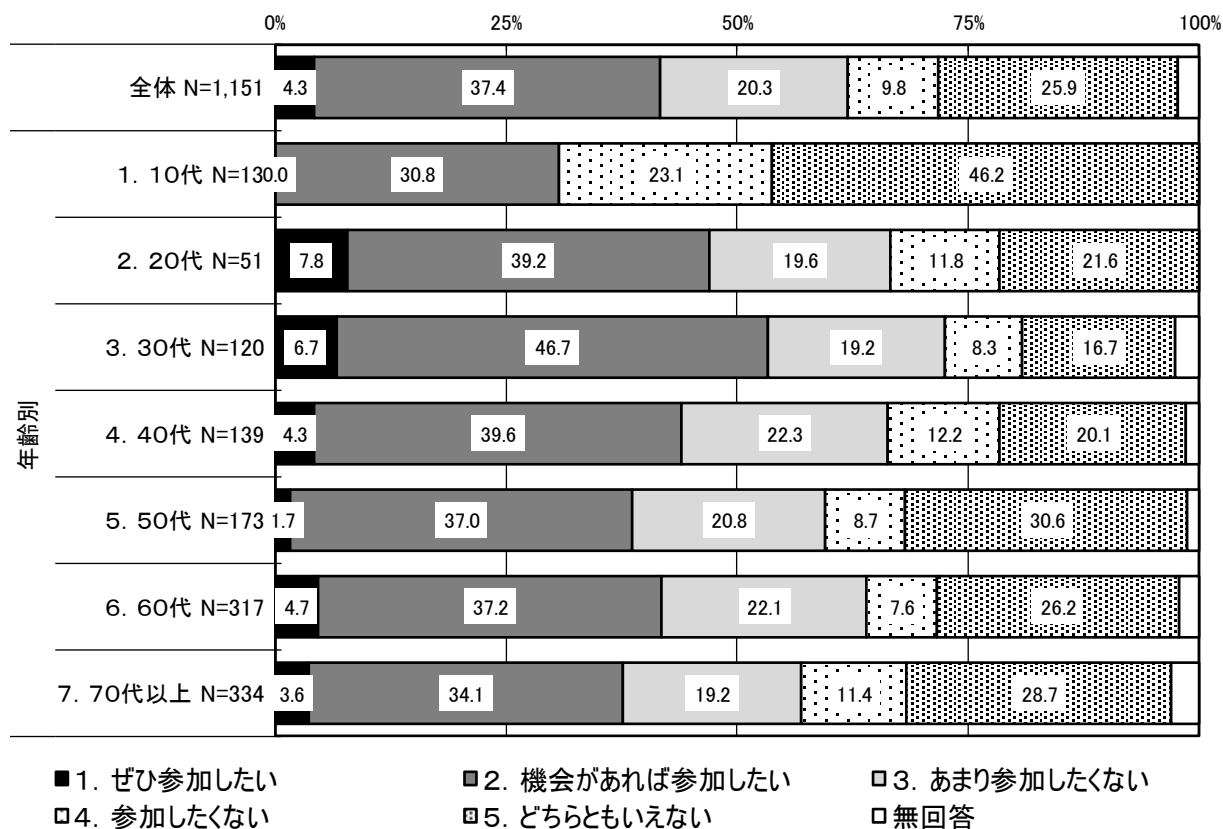
(1) 性別集計

女性の参加意欲が男性より低くなっています。



(2) 年齢別集計

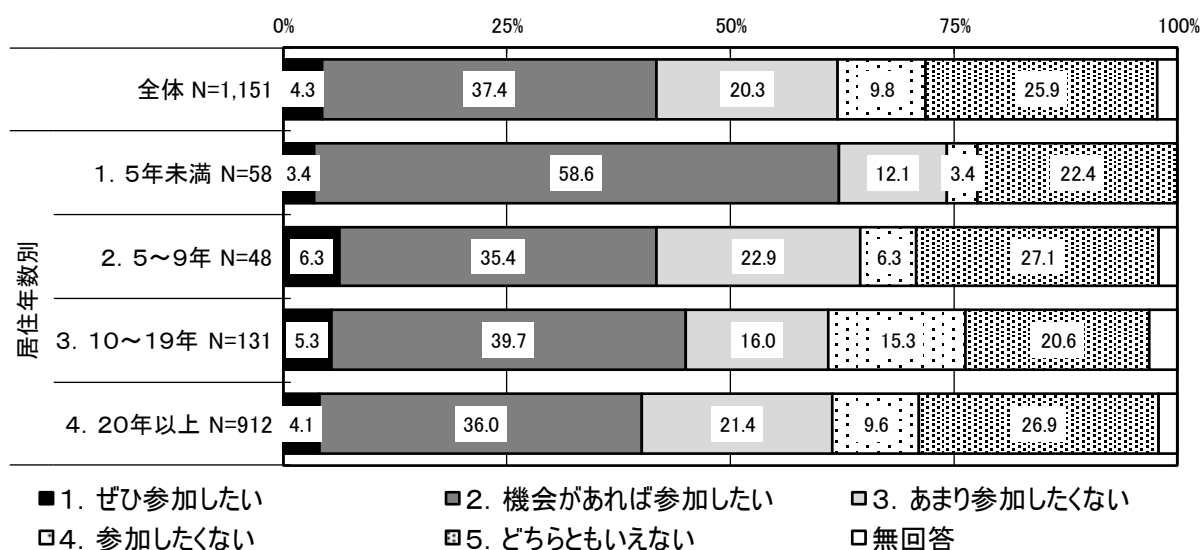
20歳代、30歳代の参加意欲が、他の年代よりも高くなっています。



(3) 居住年数別集計

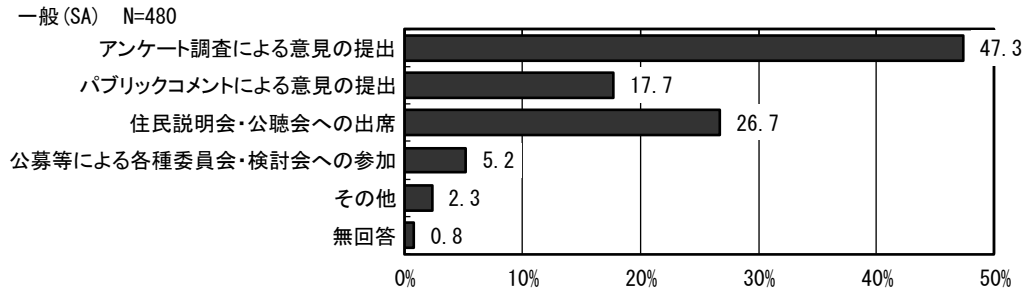
5年未満で「機会があれば参加したい」が過半数となっています。

「ぜひ参加したい」では5～9年が最も高くなっています。



問16 (市政に参加) あなたは、どのような形で参加したいと思われませんか？ (SA)

「アンケート調査による意見の提出」が47.3%で突出しています。「住民説明会・公聴会への出席」が26.7%、「パブリックコメントによる意見の提出」が17.7%で続いています。



(1) 性別集計

女性は「アンケート調査による意見の提出」、男性は「住民説明会・公聴会への出席」などが高くなっています。

	全体 N=480	1. 男性 N=205	2. 女性 N=274
1. アンケート調査による意見の提出	47.3	37.6	54.7
2. パブリックコメントによる意見の提出	17.7	20.0	15.7
3. 住民説明会・公聴会への出席	26.7	31.7	23.0
4. 公募等による各種委員会・検討会への参加	5.2	8.8	2.6
5. その他	2.3	1.0	3.3
無回答	0.8	1.0	0.7

(2) 年齢別集計

40代以下では「アンケート調査による意見の提出」が60%を超えています。

「住民説明会・公聴会への出席」は60代以上で高くなっています。

	全体 N=480	1. 10代 N=4	2. 20代 N=24	3. 30代 N=64	4. 40代 N=61	5. 50代 N=67	6. 60代 N=133	7. 70代 以上 N=126
1. アンケート調査による意見の提出	47.3	50.0	66.7	60.9	60.7	46.3	40.6	38.1
2. パブリックコメントによる意見の提出	17.7	25.0	12.5	18.8	19.7	25.4	18.8	11.1
3. 住民説明会・公聴会への出席	26.7	25.0	16.7	10.9	14.8	14.9	33.1	42.1
4. 公募等による各種委員会・検討会への参加	5.2	-	4.2	4.7	4.9	9.0	4.5	4.8
5. その他	2.3	-	-	4.7	-	3.0	3.0	1.6
無回答	0.8	-	-	-	-	1.5	-	2.4

(3) 居住年数別集計

「住民説明会・公聴会への出席」が5～9年のみ1割にとどまっています。

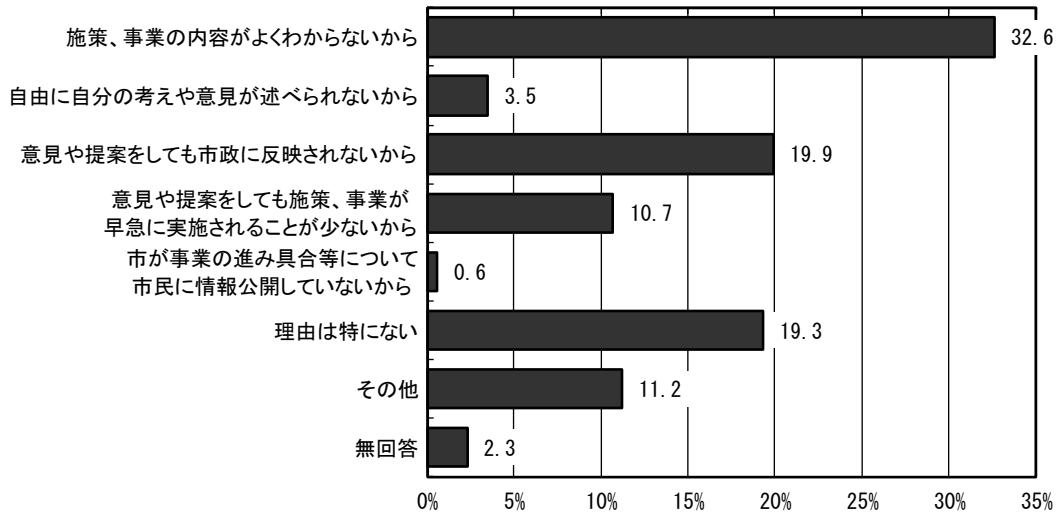
「アンケート調査による意見の提出」では、居住年数が長いほど低くなる傾向が見られます。

	全体 N=480	1. 5年未満 N=36	2. 5～9年 N=20	3. 10～19年 N=59	4. 20年以上 N=365
1. アンケート調査による意見の提出	47.3	63.9	55.0	45.8	45.5
2. パブリックコメントによる意見の提出	17.7	8.3	15.0	22.0	18.1
3. 住民説明会・公聴会への出席	26.7	22.2	10.0	22.0	28.8
4. 公募等による各種委員会・検討会への参加	5.2	5.6	10.0	6.8	4.7
5. その他	2.3	-	10.0	1.7	2.2
無回答	0.8	-	-	1.7	0.8

問17 (市政に不参加) あなたは、どのような理由から参加したくないとお考えですか？ (SA)

「施策、事業の内容がよくわからないから」が 32.6%で最も高くなっています。次いで「意見や提案をしても市政に反映されないから」が 19.9%、「理由は特にない」が 19.3%が続いています。

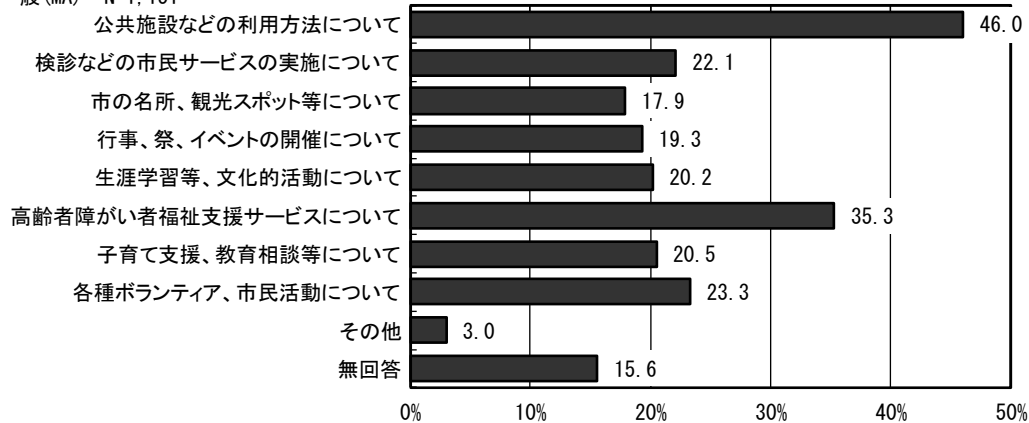
一般(SA) N=347



問18 市からの情報提供について、不足と感ずるものがありますか？ (MA)

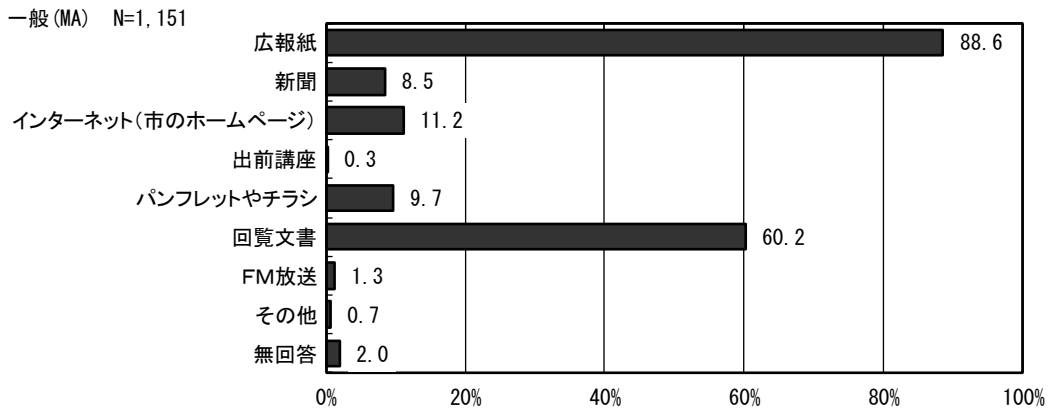
「公共施設などの利用方法について」が 46.0%で最も高くなっています。次いで「高齢者障がい者福祉支援サービスについて」が 35.3%が続いています。

一般(MA) N=1,151



問19 市からの情報は、どのような手段で入手されていますか？ (MA)

「広報紙」が88.6%で最も高く、次いで「回覧文書」が60.2%で、この2つが突出しています。



(1) 年齢別集計

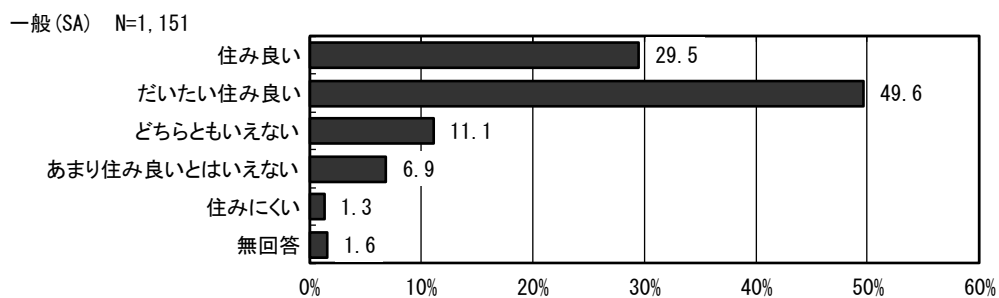
20代、30代では「インターネット」が4分の1前後となっています。一方で「回覧文書」は半数以下となっています。

	全体 N=1,151	1. 10代 N=13	2. 20代 N=51	3. 30代 N=120	4. 40代 N=139	5. 50代 N=173	6. 60代 N=317	7. 70代 以上 N=334
1. 広報紙	88.6	61.5	72.5	85.0	82.7	94.2	91.5	90.7
2. 新聞	8.5	7.7	13.7	7.5	4.3	5.8	8.5	11.4
3. インターネット(市のホームページ)	11.2	15.4	27.5	23.3	18.0	15.0	8.5	2.1
4. 出前講座	0.3	-	-	-	-	-	0.9	0.3
5. パンフレットやチラシ	9.7	15.4	23.5	11.7	13.7	7.5	6.6	9.3
6. 回覧文書	60.2	76.9	31.4	45.0	52.5	56.1	68.1	67.4
7. FM放送	1.3	-	2.0	1.7	2.2	2.3	0.9	0.6
8. その他	0.7	-	-	2.5	0.7	0.6	-	0.9
無回答	2.0	7.7	2.0	0.8	1.4	1.7	1.9	2.1

5 定住促進について

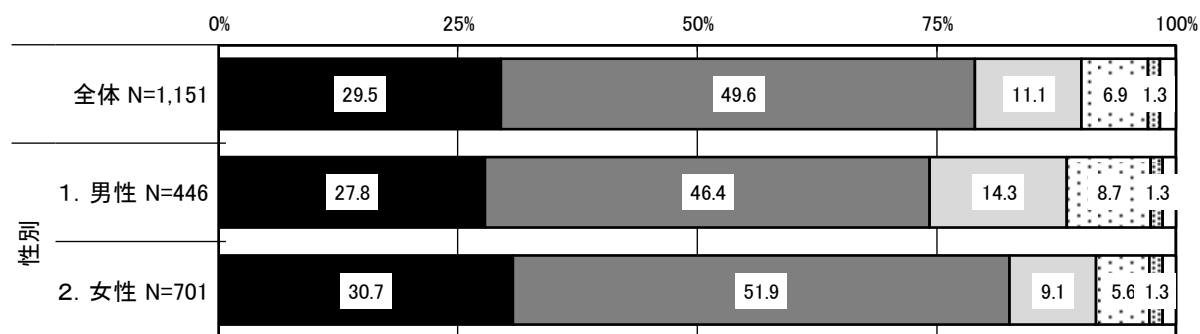
問20 山陽小野田市は住み良いまちですか？ (SA)

「だいたい住み良い」が49.6%で突出しています。「住み良い」が29.5%、「どちらともいえない」が11.1%で続いています。



(1) 性別集計

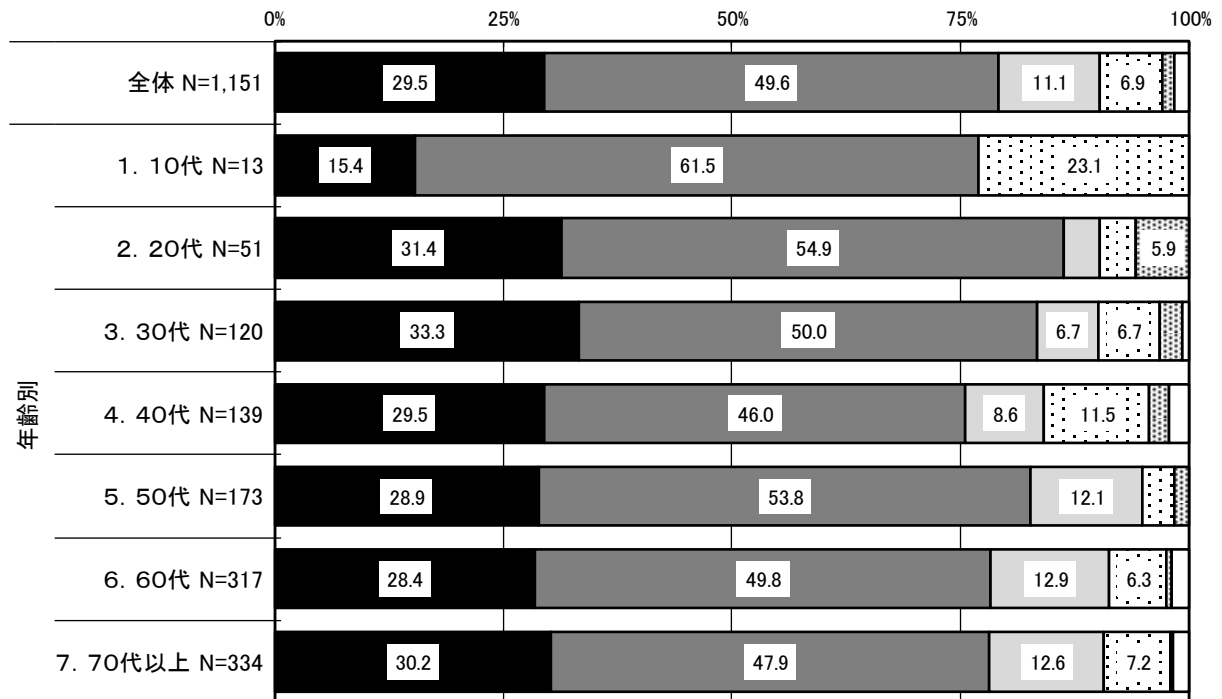
男性の方が住みにくさを感じている割合が高くなっています。



- 1. 住み良い
- 2. だいたい住み良い
- 3. どちらともいえない
- 4. あまり住み良いとはいえない
- 5. 住みにくい
- 無回答

(2) 年齢別集計

40代で「住みにくい」が1割を超えています。

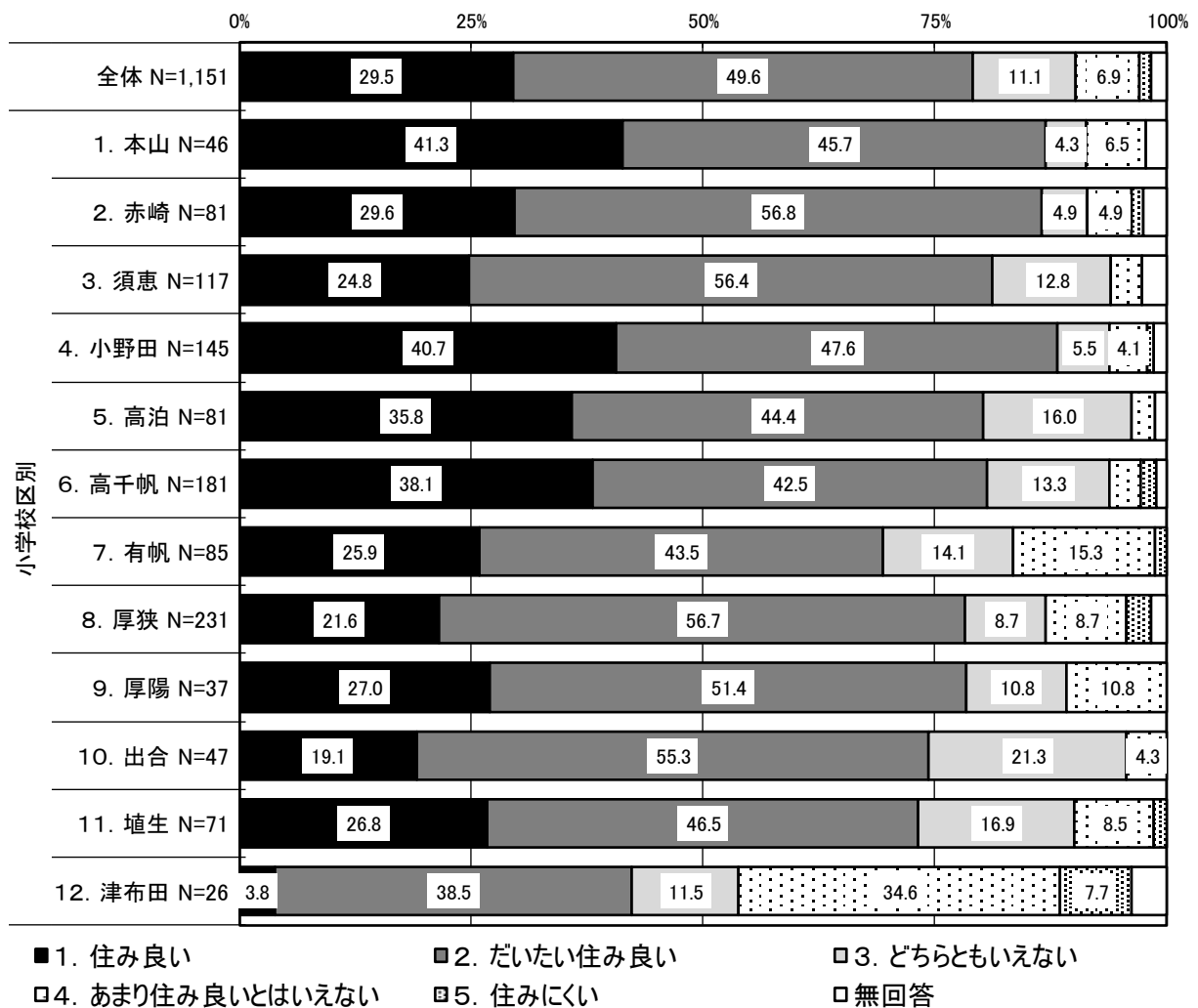


- 1. 住み良い
- 2. だいたい住み良い
- 3. どちらともいえない
- 4. あまり住み良いとはいえない
- ▨ 5. 住みにくい
- 無回答

(3) 小学校区別集計

津布田では住み良さに対する意見が分かれています。

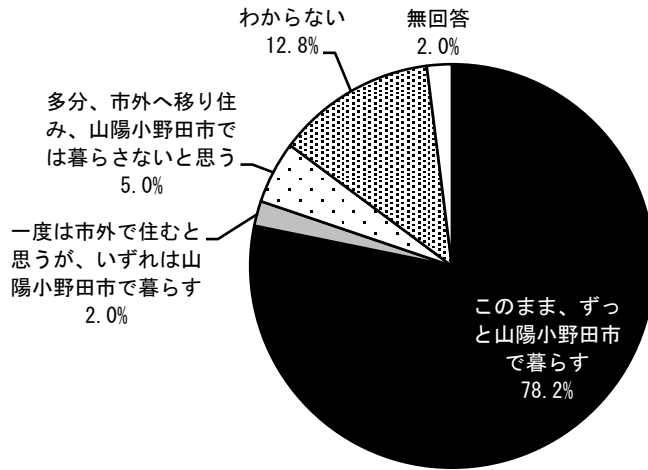
「住み良い」でみると、本山、小野田で40%を超えている一方、出合では19.1%となっています。



問21 今後も、山陽小野田市に住みたいと思いますか？ (SA)

「このまま、ずっと山陽小野田市で暮らす」が78.2%を占めています。

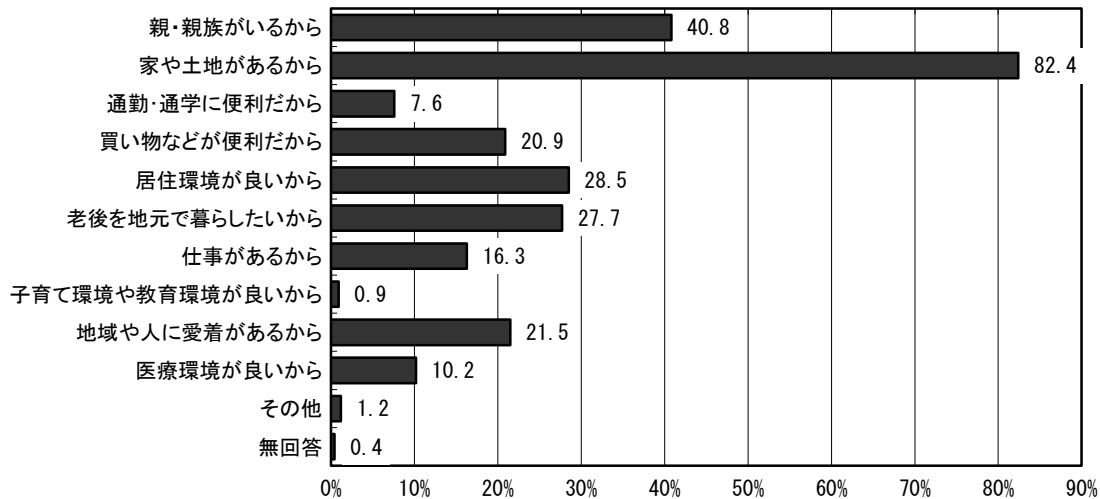
一般(SA) N=1,151



問22 山陽小野田市に住みたいと思う理由は何ですか？ (MA)

「家や土地があるから」が82.4%で突出しています。「親・親族がいるから」が40.8%、「居住環境が良いから」が28.5%で続いています。

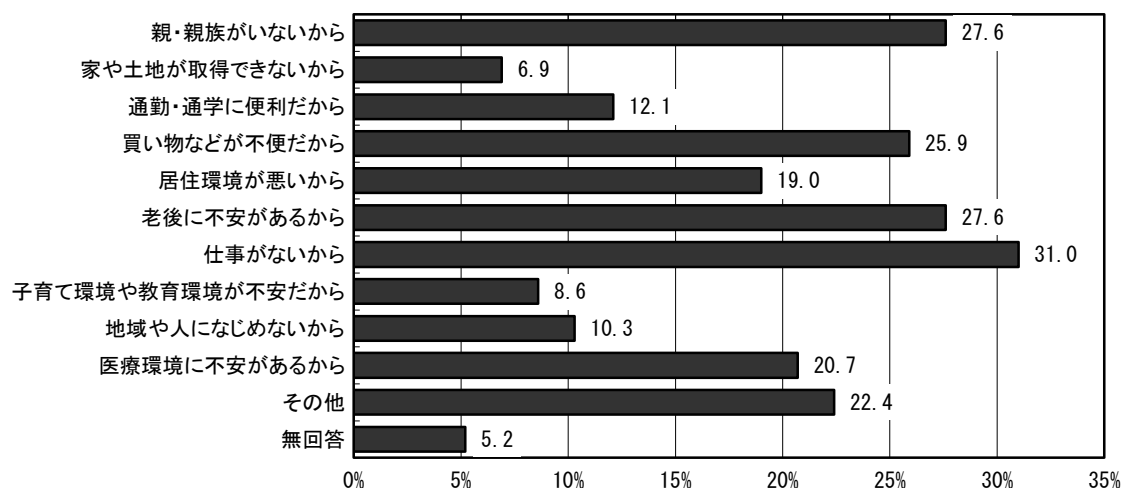
一般(MA) N=923



問23 今後市外に住みたいと思う理由は何ですか？ (MA)

「仕事がないから」が31.0%で最も高くなっています。次いで「親・親族がないから」が27.6%、「老後に不安があるから」が27.6%で続いています。

一般(MA) N=58



(1) 性別集計

男性では「親・親族がないから」「仕事がないから」「医療環境に不安があるから」などで女性より高くなっています。

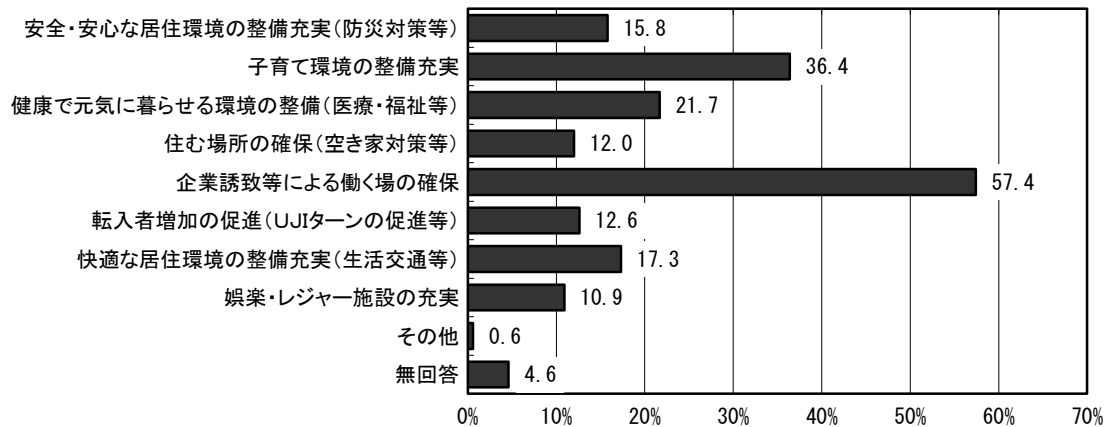
女性では「居住環境が悪いから」「老後に不安があるから」などで男性より高くなっています。

	全体 N=58	1. 男性 N=21	2. 女性 N=37
1. 親・親族がないから	27.6	33.3	24.3
2. 家や土地が取得できないから	6.9	4.8	8.1
3. 通勤・通学に便利だから	12.1	9.5	13.5
4. 買い物などが不便だから	25.9	23.8	27.0
5. 居住環境が悪いから	19.0	9.5	24.3
6. 老後に不安があるから	27.6	23.8	29.7
7. 仕事がないから	31.0	38.1	27.0
8. 子育て環境や教育環境が不安だから	8.6	14.3	5.4
9. 地域や人になじめないから	10.3	14.3	8.1
10. 医療環境に不安があるから	20.7	23.8	18.9
11. その他	22.4	23.8	21.6
無回答	5.2	-	8.1

問24 若者の定住促進策として、特にどのような施策に力をいれるべきだと思いますか？
(MA)

「企業誘致等による働く場の確保」が 57.4%で最も高くなっています。次いで「子育て環境の整備充実」が 36.4%、「健康で元気に暮らせる環境の整備（医療・福祉等）」が 21.7%で続いています。

一般(MA) N=1,151



(1) 年齢別集計

40代以上では「企業誘致等による働く場の確保」が最も高くなっています。

一方で30代以下では「子育て環境の整備充実」が最も高くなっています。

また、「健康で元気に暮らせる環境の整備」では20～30代でも20%を超えています。

	全体 N=1,151	1. 10代 N=13	2. 20代 N=51	3. 30代 N=120	4. 40代 N=139	5. 50代 N=173	6. 60代 N=317	7. 70代 以上 N=334
1. 安全・安心な居住環境の整備充実	15.8	23.1	17.6	19.2	15.8	11.0	12.0	20.4
2. 子育て環境の整備充実	36.4	38.5	41.2	53.3	31.7	36.4	41.6	26.6
3. 健康で元気に暮らせる環境の整備	21.7	15.4	29.4	20.8	17.3	17.9	20.2	26.3
4. 住む場所の確保	12.0	-	13.7	11.7	14.4	11.0	10.7	12.9
5. 企業誘致等による働く場の確保	57.4	38.5	35.3	31.7	56.1	64.2	64.0	62.0
6. 転入者増加の促進	12.6	7.7	7.8	6.7	11.5	12.1	18.0	11.4
7. 快適な居住環境の整備充実	17.3	30.8	17.6	19.2	20.1	18.5	14.5	17.1
8. 娯楽・レジャー施設の充実	10.9	30.8	25.5	18.3	17.3	12.7	7.6	4.8
9. その他	0.6	-	-	0.8	1.4	1.2	0.6	-
無回答	4.6	7.7	2.0	5.8	2.2	4.6	3.8	5.7

中学生調査結果

基本属性

(1) 性別

カテゴリ	件数
1. 男性	288
2. 女性	251
無回答	0
全体	539

(2) 小学校区

カテゴリ	件数
1. 本山	31
2. 赤崎	51
3. 須恵	59
4. 小野田	62
5. 高泊	43
6. 高千帆	102
7. 有帆	32
8. 厚狭	85
9. 厚陽	11
10. 出合	19
11. 埴生	36
12. 津布田	8
無回答	0
全体	539

(3) 定住希望

カテゴリ	件数	集計項目
1. このまま、ずっと山陽小野田市で暮らす	48	定住・ Uターン 希望
2. 一度は市外で住むと思うが、いずれは山陽小野田市で暮らす	70	
3. 多分、市外へ移り住み、山陽小野田市では暮らさないと 思う	125	転出希望
4. わからない	285	対象外 ^{※2}
無回答 [※]	11	
全体	539	

※ 各対象項目の「無回答」は集計対象外とします。

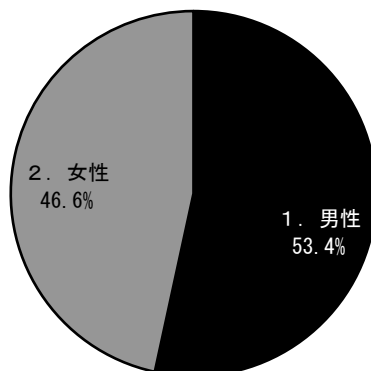
※² 意思表示が曖昧な項目は集計対象外とします。

1 あなた（回答者）自身について

問1 あなたの性別は？ (SA)

「男性」が53.4%を占めています。

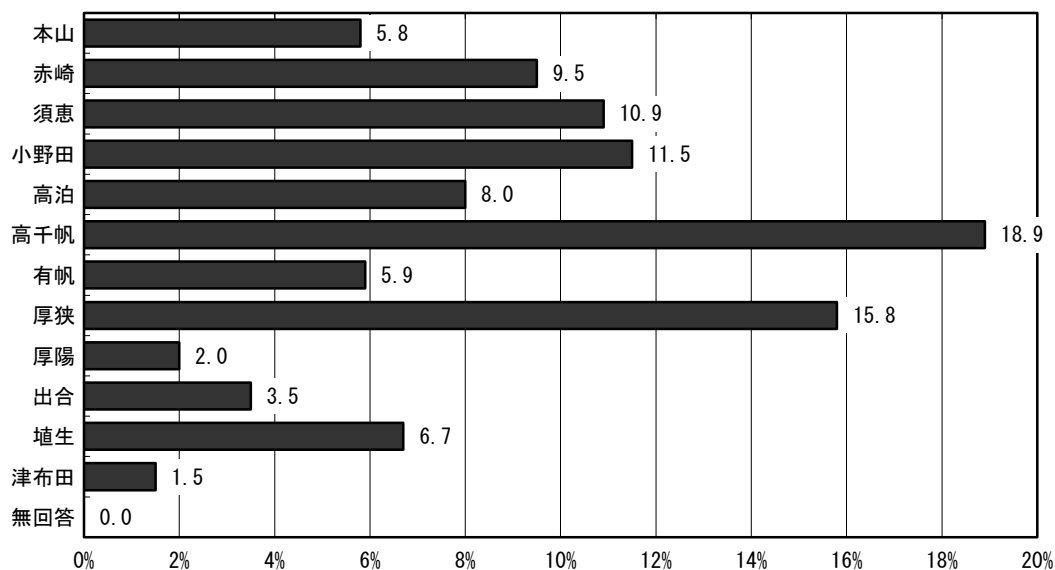
中学生 (SA) N=539



問2 あなたのお住まいの校区は？ (SA)

「高千帆」が18.9%で最も高くなっています。次いで「厚狭」が15.8%、「小野田」が11.5%が続いています。

中学生 (SA) N=539

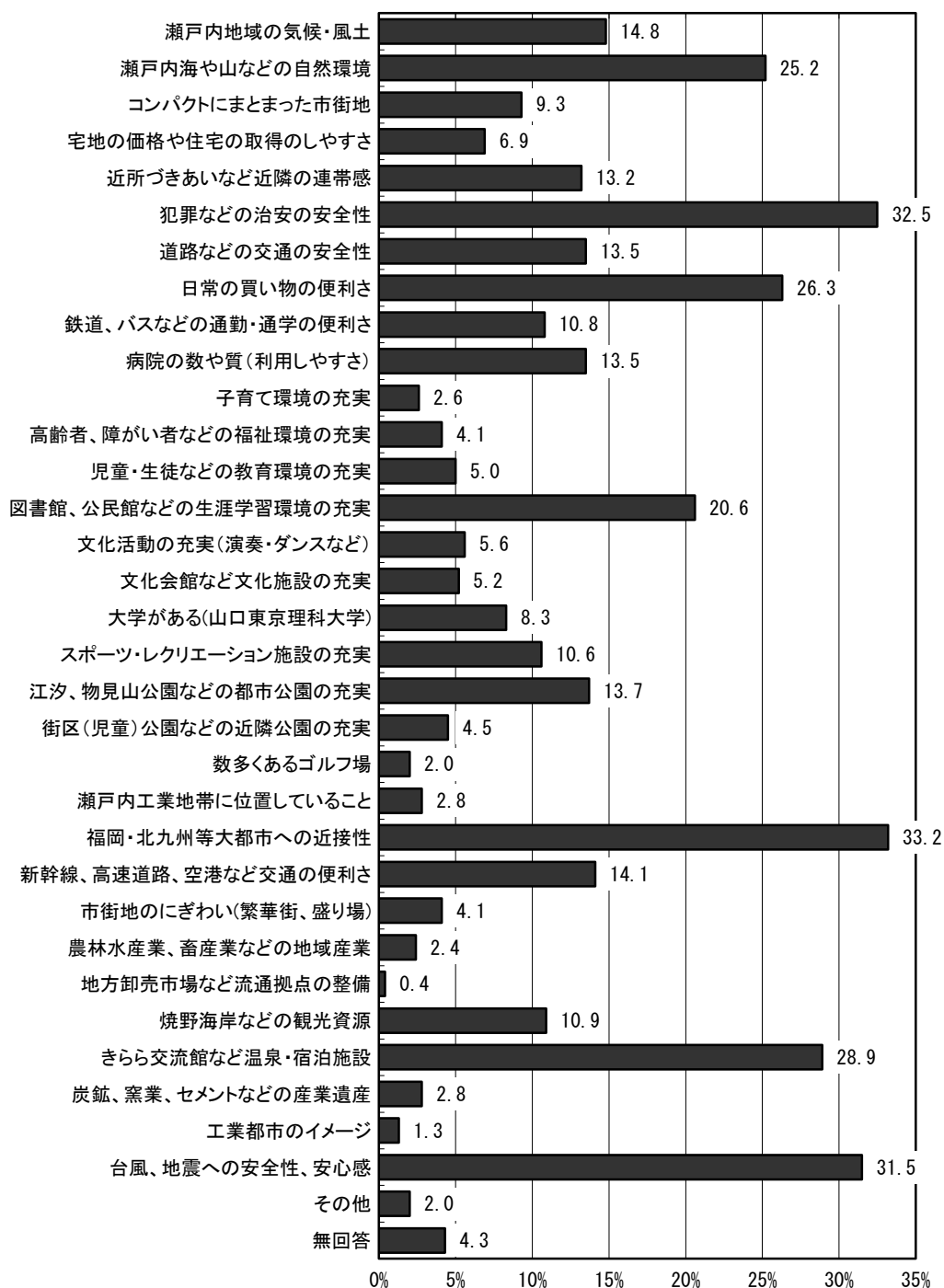


2 山陽小野田市について

問3 山陽小野田市の好きなところは何ですか？ (MA)

「福岡・北九州等大都市への近接性」が 33.2%で最も高くなっています。次いで「犯罪などの治安の安全性」が 32.5%、「台風、地震への安全性、安心感」が 31.5%で続いています。

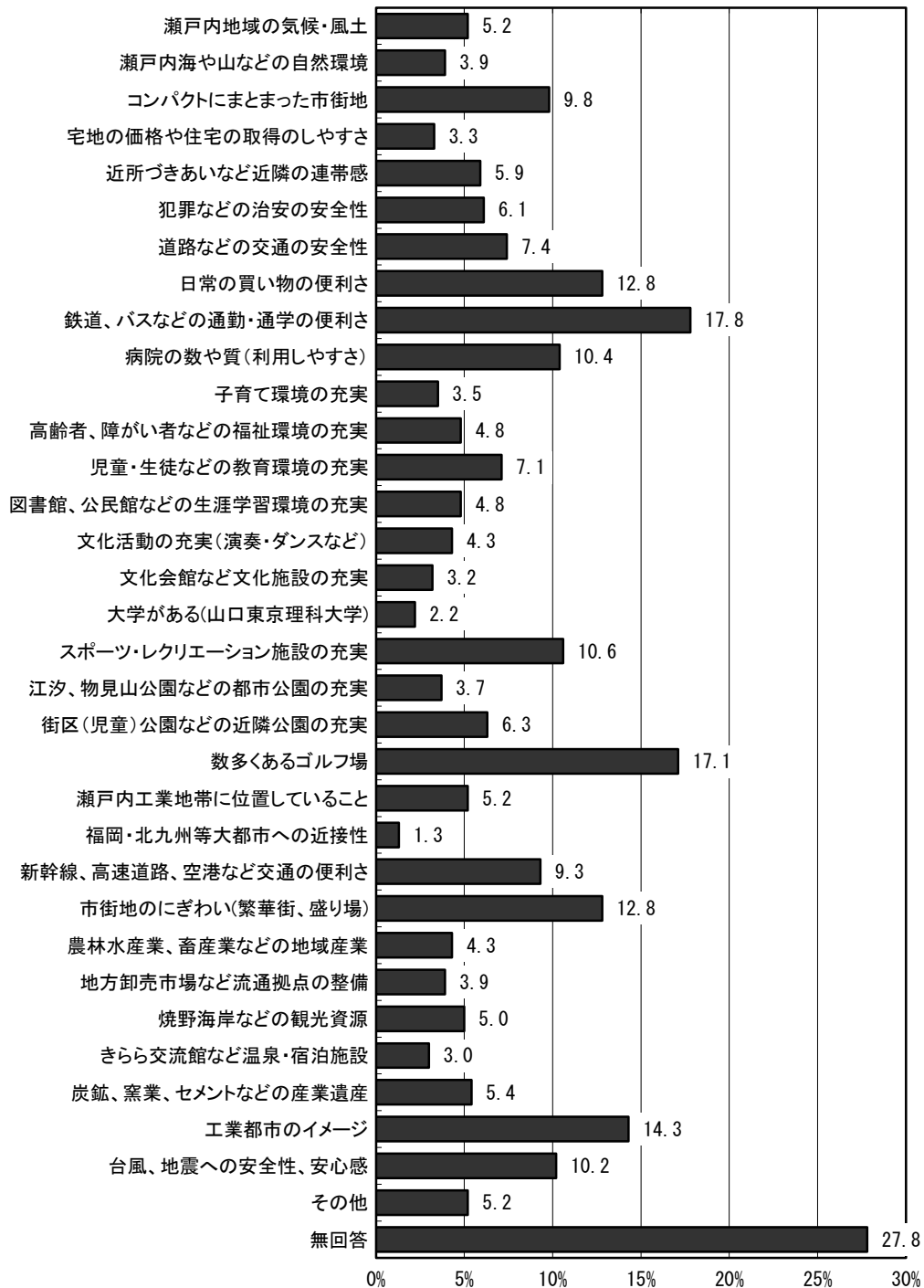
中学生 (MA) N=539



問3 山陽小野田市のきれいなところは何ですか？ (MA)

「鉄道、バスなどの通勤・通学の便利さ」が17.8%で最も高くなっています。次いで「数多くあるゴルフ場」が17.1%、「工業都市のイメージ」が14.3%が続いています。

中学生(MA) N=539



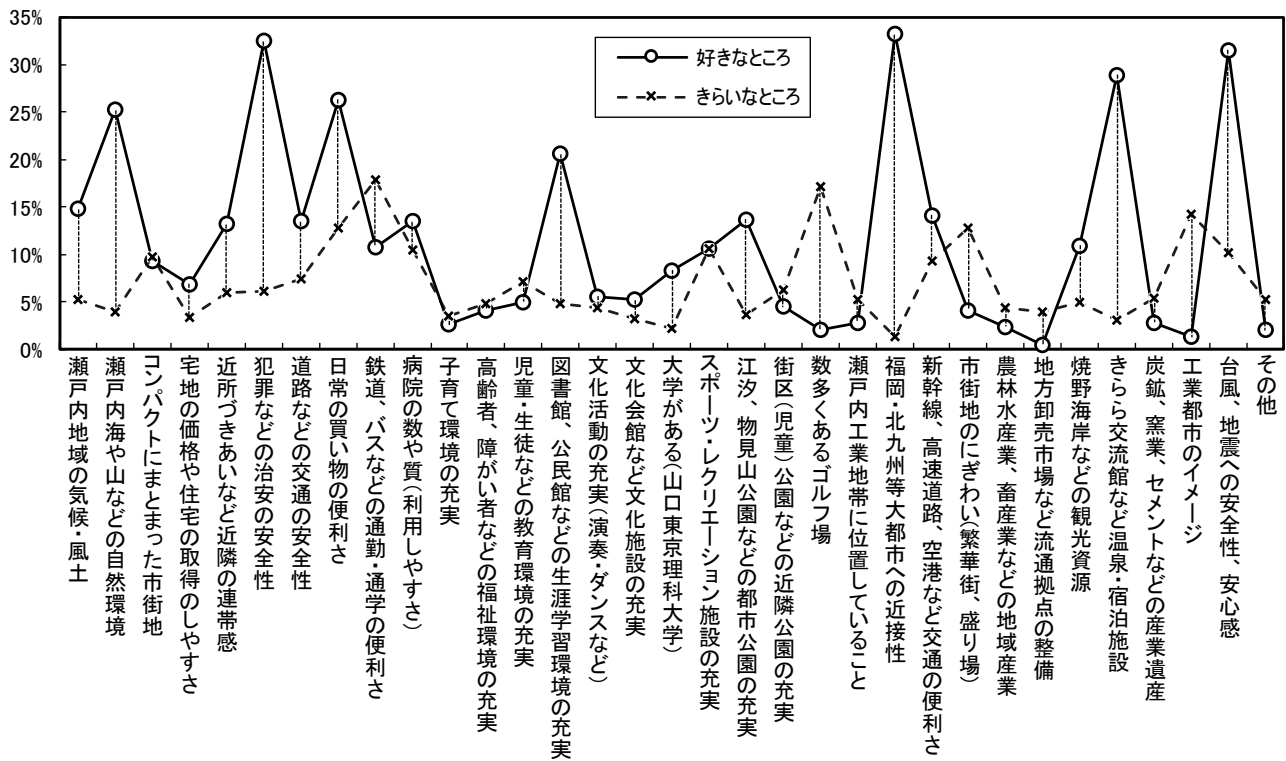
問3 山陽小野田市の好きなところきらいなところの比較

「ゴルフ場」「工業都市のイメージ」「通勤通学の便利さ」で「きらいなところ」が「好きなところ」を大きく上回っています。

また、子育て、福祉分野、産業分野で「きらいなところ」が「好きなところ」を上回る傾向が見られます。

「好きなところ」で回答が低い項目について、「きらいなところ」の回答が高いところは少なく、わからない、または無関心な場合が多いと考えられます。

中学生(SA) N=539



(1) 性別集計

「好きなところ」の女性の回答では、「福岡・北九州等大都市への近接性」「日常の買い物の便利さ」「きらら交流館など温泉・宿泊施設」で、男性を大きく上回っています。一方、男性では、「犯罪などの治安の安全性」「瀬戸内海や山などの自然環境」で、女性を大きく上回っています。

「きれいなところ」では、「鉄道、バスなどの通勤・通学の便利さ」で大きな差が見られ、男性が最も嫌いなところは「数多くあるゴルフ場」となっています。

好きなところ（上位10項目）	全体 N=539	1. 男性 N=288	2. 女性 N=251
2 3. 福岡・北九州等大都市への近接性	33.2	25.7	41.8
6. 犯罪などの治安の安全性	32.5	37.5	26.7
3 2. 台風、地震への安全性、安心感	31.5	31.6	31.5
2 9. きらら交流館など温泉・宿泊施設	28.9	25.3	33.1
8. 日常の買い物の便利さ	26.3	22.6	30.7
2. 瀬戸内海や山などの自然環境	25.2	29.2	20.7
1 4. 図書館、公民館などの生涯学習環境の充実	20.6	20.5	20.7
1. 瀬戸内地域の気候・風土	14.8	17.0	12.4
2 4. 新幹線、高速道路、空港など交通の便利さ	14.1	13.9	14.3
1 9. 江汐、物見山公園などの都市公園の充実	13.7	11.1	16.7

きれいなところ（上位10項目）	全体 N=539	1. 男性 N=288	2. 女性 N=251
9. 鉄道、バスなどの通勤・通学の便利さ	17.8	14.6	21.5
2 1. 数多くあるゴルフ場	17.1	18.1	15.9
3 1. 工業都市のイメージ	14.3	14.9	13.5
8. 日常の買い物の便利さ	12.8	11.1	14.7
2 5. 市街地のにぎわい(繁華街、盛り場)	12.8	12.2	13.5
1 8. スポーツ・レクリエーション施設の充実	10.6	11.1	10.0
1 0. 病院の数や質（利用しやすさ）	10.4	10.4	10.4
3 2. 台風、地震への安全性、安心感	10.2	8.3	12.4
3. コンパクトにまとまった市街地	9.8	9.7	10.0
2 4. 新幹線、高速道路、空港など交通の便利さ	9.3	9.4	9.2

(2) 定住希望別集計

定住・Uターン希望者では、「新幹線、高速道路、空港など交通の便利さ」「江汐、物見山公園などの都市公園の充実」など、都市機能の充実しているところに魅力を感じている傾向があります。

一方、転出希望者では様々な場面できれいなところの回答が高くなっていますが、特に「日常の買い物の便利さ」「鉄道、バスなどの通勤・通学の便利さ」「新幹線、高速道路、空港など交通の便利さ」で目立って高くなっています。

好きなところ（上位10項目）	全体 N=539	定住、U ターン希 望 N=118	転出希望 N=125
23. 福岡・北九州等大都市への近接性	33.2	34.7	40.0
6. 犯罪などの治安の安全性	32.5	28.8	30.4
32. 台風、地震への安全性、安心感	31.5	30.5	28.0
29. きらら交流館など温泉・宿泊施設	28.9	33.9	22.4
8. 日常の買い物の便利さ	26.3	31.4	22.4
2. 瀬戸内海や山などの自然環境	25.2	28.8	21.6
14. 図書館、公民館などの生涯学習環境の充実	20.6	25.4	13.6
1. 瀬戸内地域の気候・風土	14.8	12.7	19.2
24. 新幹線、高速道路、空港など交通の便利さ	14.1	18.6	12.0
19. 江汐、物見山公園などの都市公園の充実	13.7	22.0	9.6

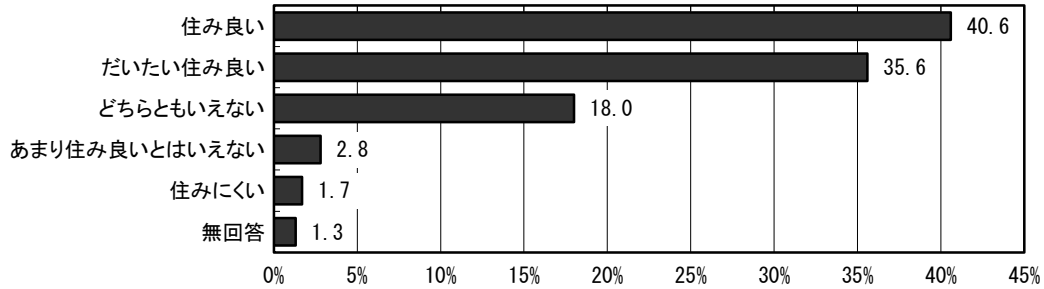
きれいなところ（上位10項目）	全体 N=539	定住、U ターン希 望 N=118	転出希望 N=125
9. 鉄道、バスなどの通勤・通学の便利さ	17.8	13.6	22.4
21. 数多くあるゴルフ場	17.1	21.2	16.8
31. 工業都市のイメージ	14.3	20.3	12.0
8. 日常の買い物の便利さ	12.8	5.9	22.4
25. 市街地のにぎわい(繁華街、盛り場)	12.8	14.4	17.6
18. スポーツ・レクリエーション施設の充実	10.6	9.3	13.6
10. 病院の数や質（利用しやすさ）	10.4	6.8	15.2
32. 台風、地震への安全性、安心感	10.2	11.9	12.8
3. コンパクトにまとまった市街地	9.8	5.9	12.8
24. 新幹線、高速道路、空港など交通の便利さ	9.3	2.5	20.8

3 山陽小野田市での住み心地

問4 山陽小野田市は住み良いまちですか？ (SA)

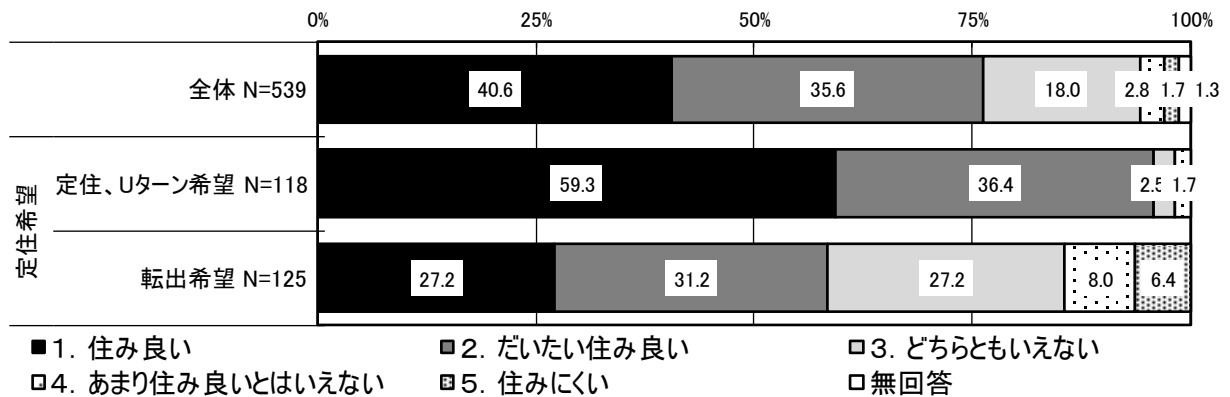
「住み良い」が40.6%で最も高くなっています。次いで「だいたい住み良い」が35.6%、「どちらともいえない」が18.0%が続いています。

中学生 (SA) N=539



(1) 定住希望別集計

「住み良い」と「だいたい住み良い」をあわせると、定住・Uターン希望者では、95%以上を占めており、「住みにくい」への回答はありませんでした。

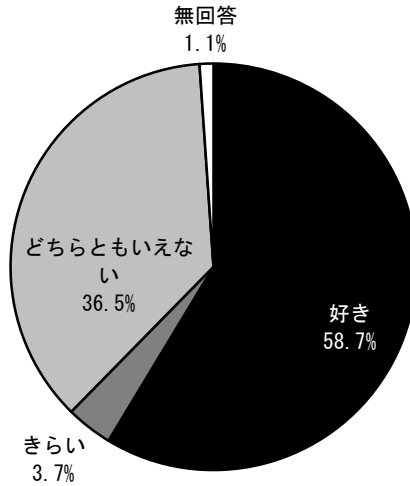


- 1. 住み良い
- 2. だいたい住み良い
- 3. どちらともいえない
- 4. あまり住み良いとはいえない
- 5. 住みにくい
- 無回答

問5 山陽小野田市は、「自分のまち」として好きですか、きれいですか？ (SA)

「好き」が58.7%を占めています。

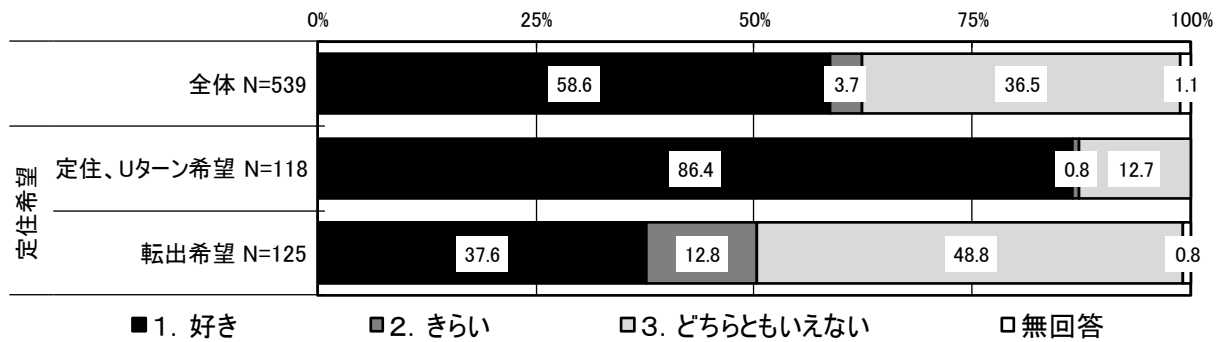
中学生(SA) N=539



(1) 定住希望別集計

定住・Uターン希望者では、86.4%が「好き」と回答しています。

転出希望者であっても「好き」が「きれい」を上回っていますが、約半数が「どちらともいえない」と回答しています。

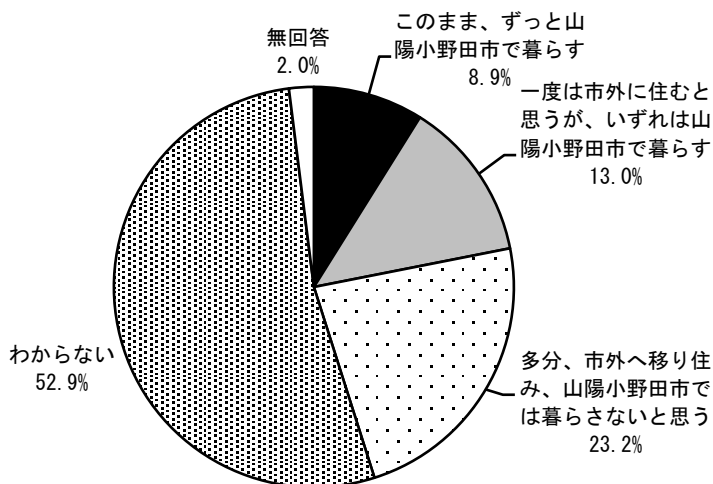


4 あなたの将来について

問6 今後も、山陽小野田市に住みたいと思いますか？ (SA)

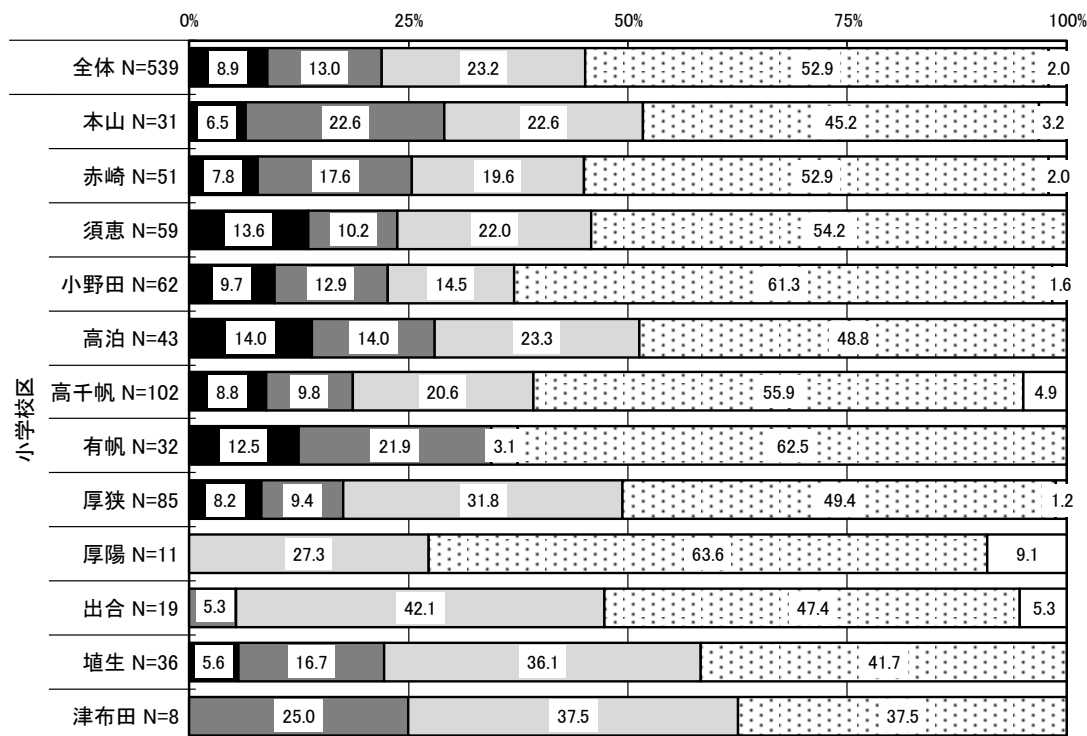
「わからない」が52.9%を占めています。

中学生 (SA) N=539



(1) 小学校区別集計

「このまま、ずっと山陽小野田市で暮らす」への回答が見られない校区もあり、厚陽校区では定住の意向のある回答が見られませんでした。

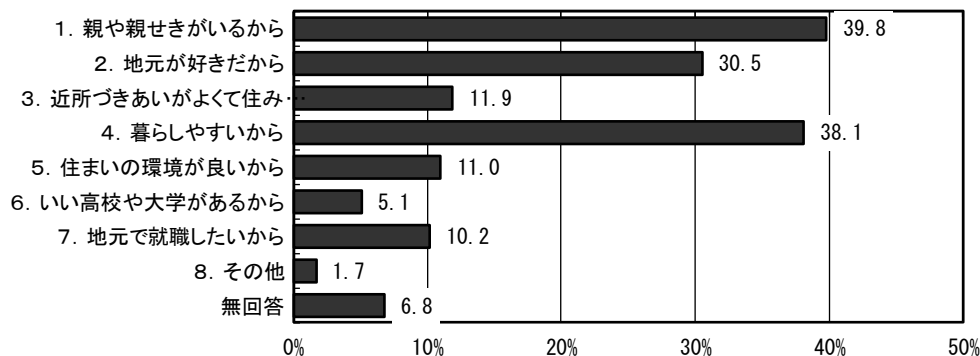


- 1. このまま、ずっと山陽小野田市で暮らす
- ▣ 2. 一度は市外に住むと思うが、いずれは山陽小野田市で暮らす
- 3. 多分、市外へ移り住み、山陽小野田市では暮らさないと思う
- 4. わからない
- 無回答

問7 将来も山陽小野田市で暮らしたいと思う理由は何ですか？ (MA)

「親や親せきがいるから」が39.8%で最も高くなっています。次いで「暮らしやすいから」が38.1%、「地元が好きだから」が30.5%で続いています。

中学生 (MA) N=118



(1) 性別集計

男性では「暮らしやすいから」が37.1%で最も高く、「地元が好きだから」が32.3%で女性よりも高くなっています。

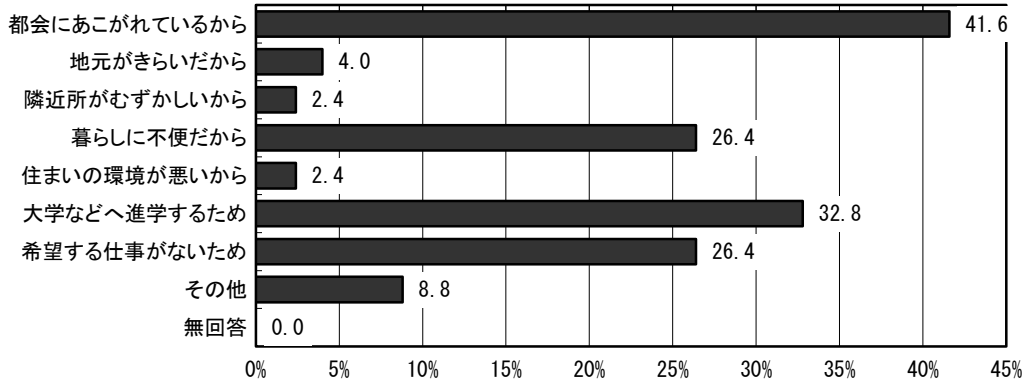
女性では「親や親せきがいるから」が51.8%と半数を超えています。また、「地元で就職したいから」が17.9%で男性を大きく上回っています。

	全体 N=118	1. 男性 N=62	2. 女性 N=56
1. 親や親せきがいるから	39.8	29.0	51.8
2. 地元が好きだから	30.5	32.3	28.6
3. 近所づきあいがよくて住みやすい	11.9	11.3	12.5
4. 暮らしやすいから	38.1	37.1	39.3
5. 住まいの環境が良いから	11.0	12.9	8.9
6. いい高校や大学があるから	5.1	6.5	3.6
7. 地元で就職したいから	10.2	3.2	17.9
8. その他	1.7	3.2	-
無回答	6.8	9.7	3.6

問8 将来、市外で暮らすと思う理由は何ですか？ (MA)

「都会にあこがれているから」が41.6%で最も高くなっています。次いで「大学などへ進学するため」が32.8%、「暮らしに不便だから」が26.4%が続いています。

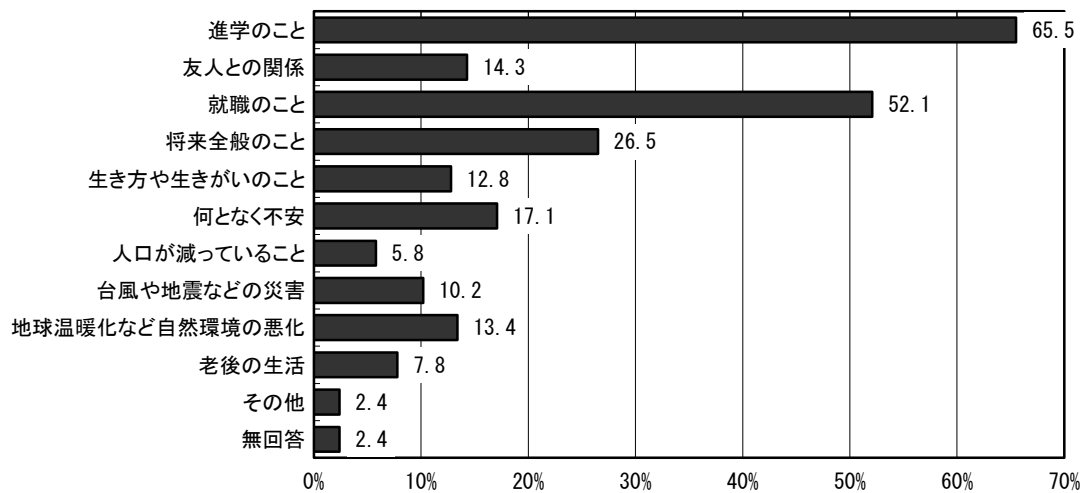
中学生(MA) N=125



問9 あなたは将来に対して、どのようなことに不安を感じていますか？ (MA)

「進学のこと」が65.5%で最も高くなっています。次いで「就職のこと」が52.1%、「将来全般のこと」が26.5%が続いています。

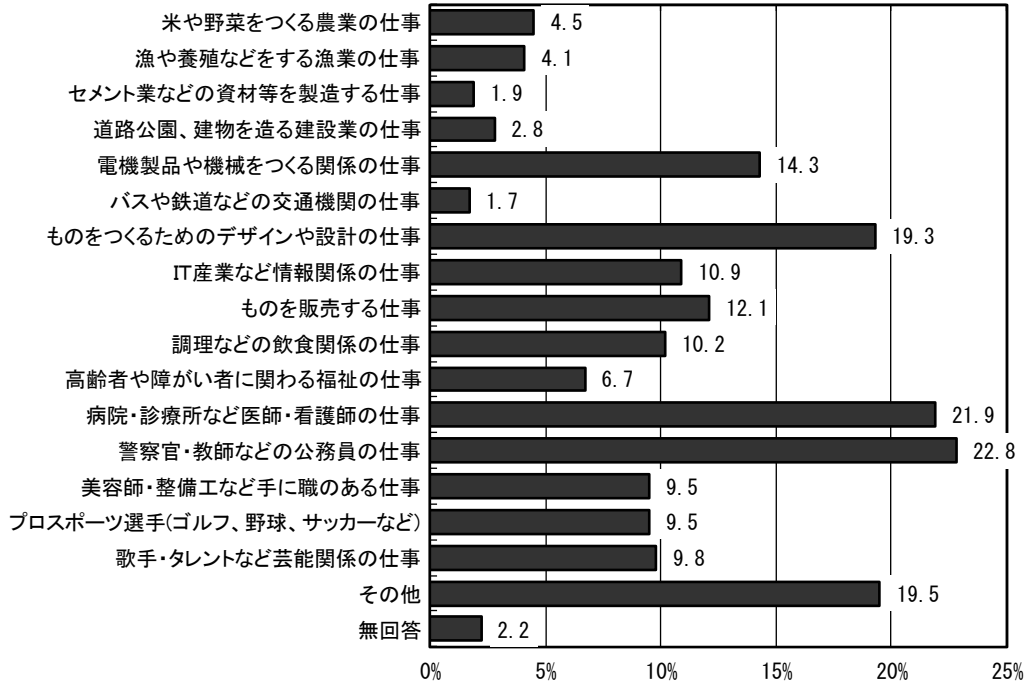
中学生(MA) N=539



問10 将来、あなたは、どんな仕事につきたいですか (MA)

「警察官・教師などの公務員の仕事」が 22.8%で最も高くなっています。次いで「病院・診療所など医師・看護師の仕事」が 21.9%、「その他」が 19.5%で続いています。

中学生 (MA) N=539



(1) 性別集計

男性は製造業や公務員、IT、プロスポーツ選手などへの意向が高くなっています。

女性では医療・福祉、飲食関係、芸能関係などへの意向が高くなっています。

	全体 N=539	1. 男性 N=288	2. 女性 N=251
1. 米や野菜をつくる農業の仕事	4.5	6.3	2.4
2. 漁や養殖などをする漁業の仕事	4.1	6.9	0.8
3. セメント業などの資材等を製造する仕事	1.9	3.5	-
4. 道路公園、建物を造る建設業の仕事	2.8	4.9	0.4
5. 電機製品や機械をつくる関係の仕事	14.3	26.0	0.8
6. バスや鉄道などの交通機関の仕事	1.7	3.1	-
7. ものをつくるためのデザインや設計の仕事	19.3	17.7	21.1
8. IT産業など情報関係の仕事	10.9	16.0	5.2
9. ものを販売する仕事	12.1	11.1	13.1
10. 調理などの飲食関係の仕事	10.2	4.5	16.7
11. 高齢者や障がい者に関わる福祉の仕事	6.7	3.5	10.4
12. 病院・診療所など医師・看護師の仕事	21.9	8.0	37.8
13. 警察官・教師などの公務員の仕事	22.8	27.4	17.5
14. 美容師・整備工など手に職のある仕事	9.5	3.8	15.9
15. プロスポーツ選手(ゴルフ、野球、サッカーなど)	9.5	16.0	2.0
16. 歌手・タレントなど芸能関係の仕事	9.8	6.3	13.9
17. その他	19.5	17.4	21.9
無回答	2.2	2.8	1.6

(2) 定住希望別集計

定住・Uターン希望者では、第一次産業への回答が比較的高くなっています。

一方で、転出希望者ではプロスポーツ選手や芸能関係への意向が高くなっています。

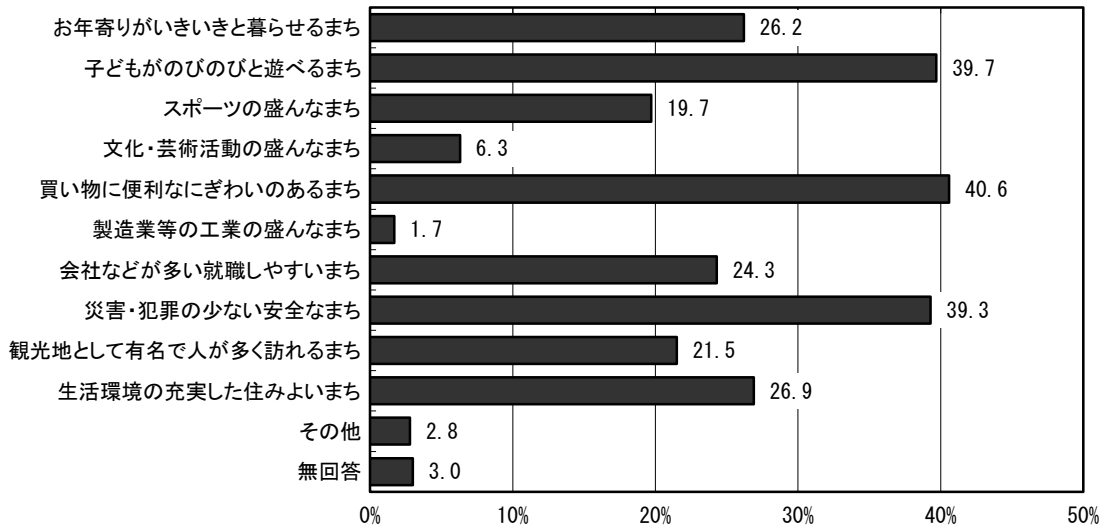
	全体 N=539	定住、U ターン希 望 N=118	転出希望 N=125
1. 米や野菜をつくる農業の仕事	4.5	11.0	1.6
2. 漁や養殖などをする漁業の仕事	4.1	7.6	3.2
3. セメント業などの資材等を製造する仕事	1.9	-	4.0
4. 道路公園、建物を造る建設業の仕事	2.8	1.7	1.6
5. 電機製品や機械をつくる関係の仕事	14.3	11.9	15.2
6. バスや鉄道などの交通機関の仕事	1.7	-	1.6
7. ものをつくるためのデザインや設計の仕事	19.3	21.2	20.0
8. IT産業など情報関係の仕事	10.9	10.2	12.0
9. ものを販売する仕事	12.1	15.3	8.0
10. 調理などの飲食関係の仕事	10.2	13.6	7.2
11. 高齢者や障がい者に関わる福祉の仕事	6.7	8.5	4.8
12. 病院・診療所など医師・看護師の仕事	21.9	23.7	19.2
13. 警察官・教師などの公務員の仕事	22.8	24.6	24.0
14. 美容師・整備工など手に職のある仕事	9.5	7.6	9.6
15. プロスポーツ選手(ゴルフ、野球、サッカーなど)	9.5	8.5	15.2
16. 歌手・タレントなど芸能関係の仕事	9.8	5.9	18.4
17. その他	19.5	17.8	22.4
無回答	2.2	-	0.8

5 今後のまちづくりについて

問11 将来の山陽小野田市は、どんなまちになって欲しいですか？ (MA)

「買い物に便利なにぎわいのあるまち」が 40.6%で最も高くなっています。次いで「子どもがのびのびと遊べるまち」が 39.7%、「災害・犯罪の少ない安全なまち」が 39.3%で続いています。

中学生 (MA) N=539



(1) 性別集計

「買い物に便利なにぎわいのあるまち」「災害・犯罪の少ない安全なまち」で女性が男性を大きく上回っています。一方で、「スポーツの盛んなまち」は男性の方が高くなっています。

	全体 N=539	1. 男性 N=288	2. 女性 N=251
1. お年寄りがいきいきと暮らせるまち	26.2	25.0	27.5
2. 子どもがのびのびと遊べるまち	39.7	38.2	41.4
3. スポーツの盛んなまち	19.7	26.7	11.6
4. 文化・芸術活動の盛んなまち	6.3	6.3	6.4
5. 買い物に便利なにぎわいのあるまち	40.6	31.9	50.6
6. 製造業等の工業の盛んなまち	1.7	2.4	0.8
7. 会社などが多い就職しやすいまち	24.3	23.6	25.1
8. 災害・犯罪の少ない安全なまち	39.3	34.7	44.6
9. 観光地として有名で人が多く訪れるまち	21.5	21.5	21.5
10. 生活環境の充実した住みよいまち	26.9	26.0	27.9
11. その他	2.8	3.5	2.0
無回答	3.0	4.2	1.6

(2) 定住希望別集計

「買い物に便利なにぎわいのあるまち」「会社などが多い就職しやすいまち」で転出希望者が比較的高くなっています。

一方で、定住・Uターン希望者では福祉、子育て、防犯防災で高くなっています。

	全体 N=539	定住、U ターン希 望 N=118	転出希望 N=125
1. お年寄りがいきいきと暮らせるまち	26.2	37.3	18.4
2. 子どもがのびのびと遊べるまち	39.7	42.4	37.6
3. スポーツの盛んなまち	19.7	21.2	22.4
4. 文化・芸術活動の盛んなまち	6.3	5.1	7.2
5. 買い物に便利なにぎわいのあるまち	40.6	34.7	48.8
6. 製造業等の工業の盛んなまち	1.7	-	2.4
7. 会社などが多い就職しやすいまち	24.3	25.4	30.4
8. 災害・犯罪の少ない安全なまち	39.3	50.0	26.4
9. 観光地として有名で人が多く訪れるまち	21.5	27.1	23.2
10. 生活環境の充実した住みよいまち	26.9	22.9	19.2
11. その他	2.8	0.8	7.2
無回答	3.0	0.8	2.4

職員アンケート調査

基本属性

(1) 年代別

カテゴリ	件数	集計項目
10代	4	20歳代以下
20代	88	
30代	139	30歳代
40代	226	40歳代
50代	156	50歳代以上
60代	8	
無回答	1	対象外*
全体	622	

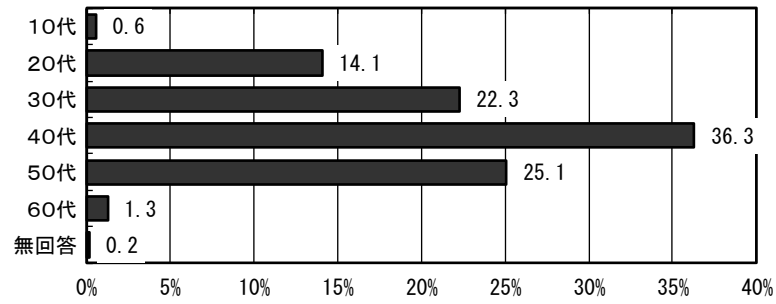
* 「無回答」は集計対象外とします。

1 あなた（回答者）自身について

問1 あなたの年齢は？ (SA)

「40代」が36.3%で最も高くなっています。次いで「50代」が25.1%、「30代」が22.3%が続いています。

職員 (SA) N=622

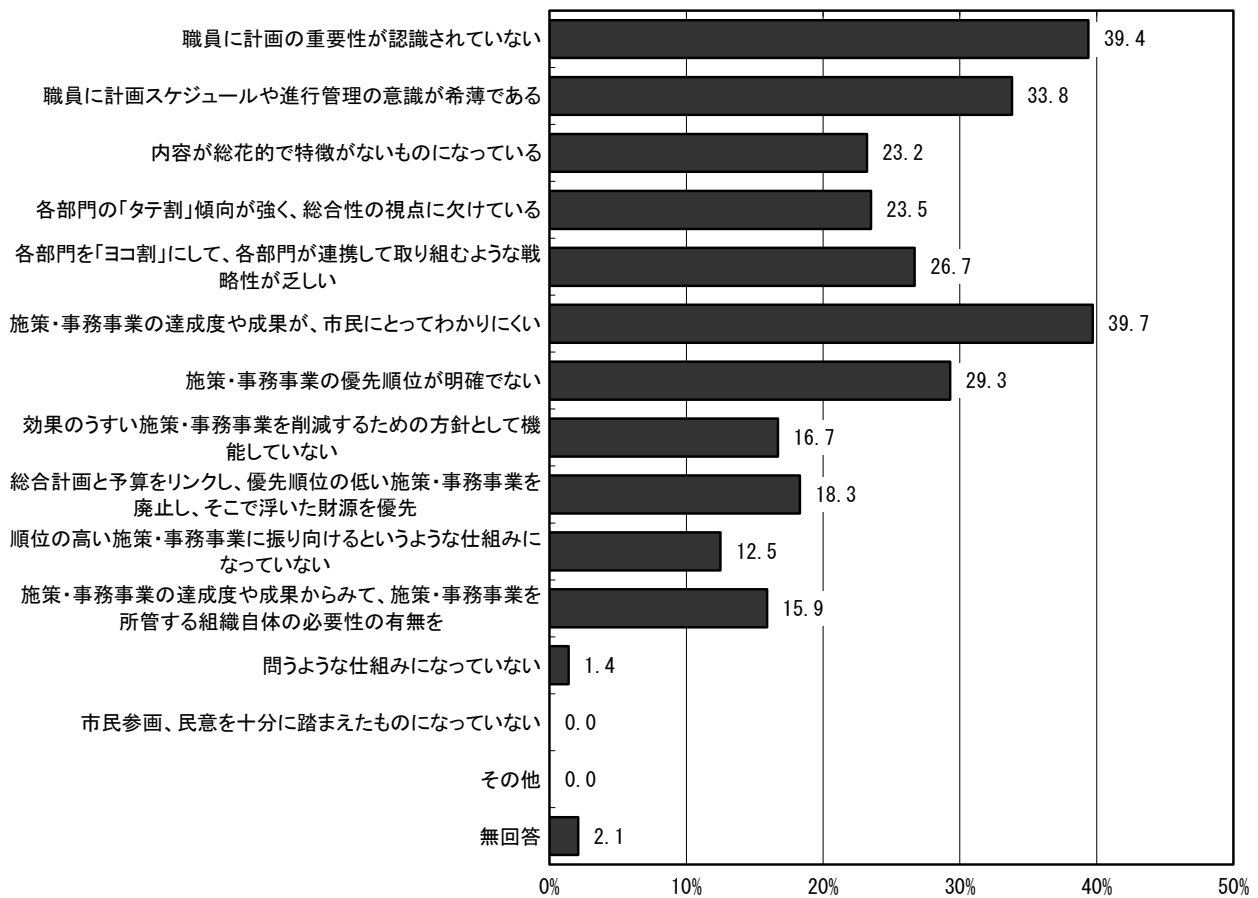


2 総合計画に対する考え方について

問2 あなたは、今後のまちづくりの課題や市民ニーズを考えると、これまでの総合計画や行財政運営には、どのような課題・問題点があると認識されていますか。(MA)

「施策・事務事業の達成度や成果が、市民にとってわかりにくい」が39.7%で最も高くなっています。次いで「職員に計画の重要性が認識されていない」が39.4%、「職員に計画スケジュールや進行管理の意識が希薄である」が33.8%で続いています。

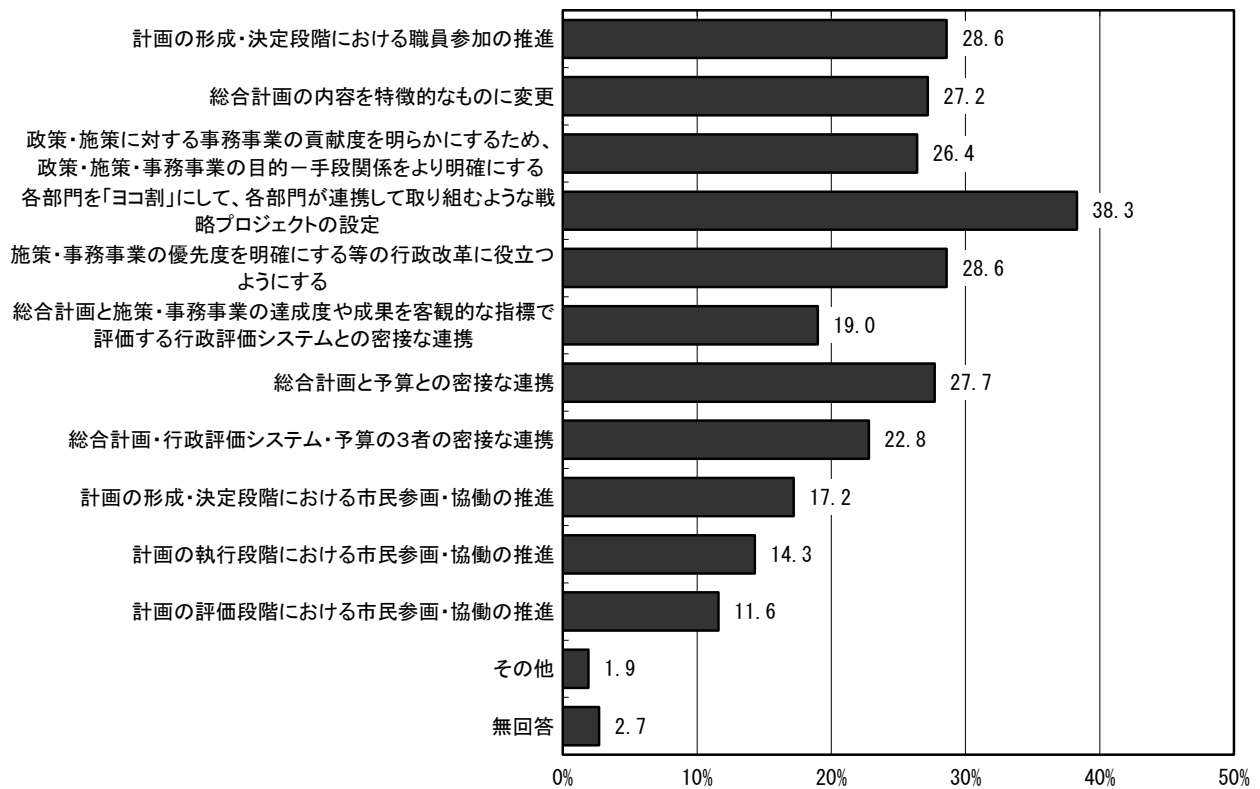
職員(MA) N=622



問3 あなたは、「総合計画」の実効性を高めるため、今後、どのように改善することが望ましいとお考えですか。(MA)

「各部門を「ヨコ割」にして、各部門が連携して取り組むような戦略プロジェクトの設定」が38.3%で最も高くなっています。次いで「計画の形成・決定段階における職員参加の推進」が28.6%、「施策・事務事業の優先度を明確にする等の行政改革に役立つようにする」が28.6%で続いています。

職員(MA) N=622

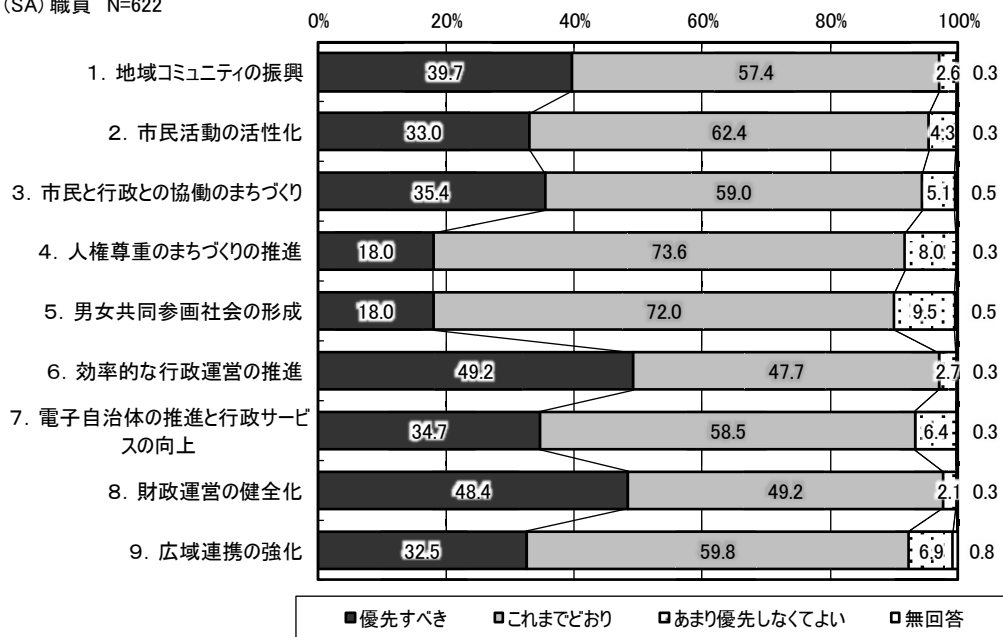


3 市政に対する今後の方向について

問4 それぞれの項目（施策や状況）について、「今後力を入れるべき事項」としての『優先度』をお答えください。（それぞれSA）

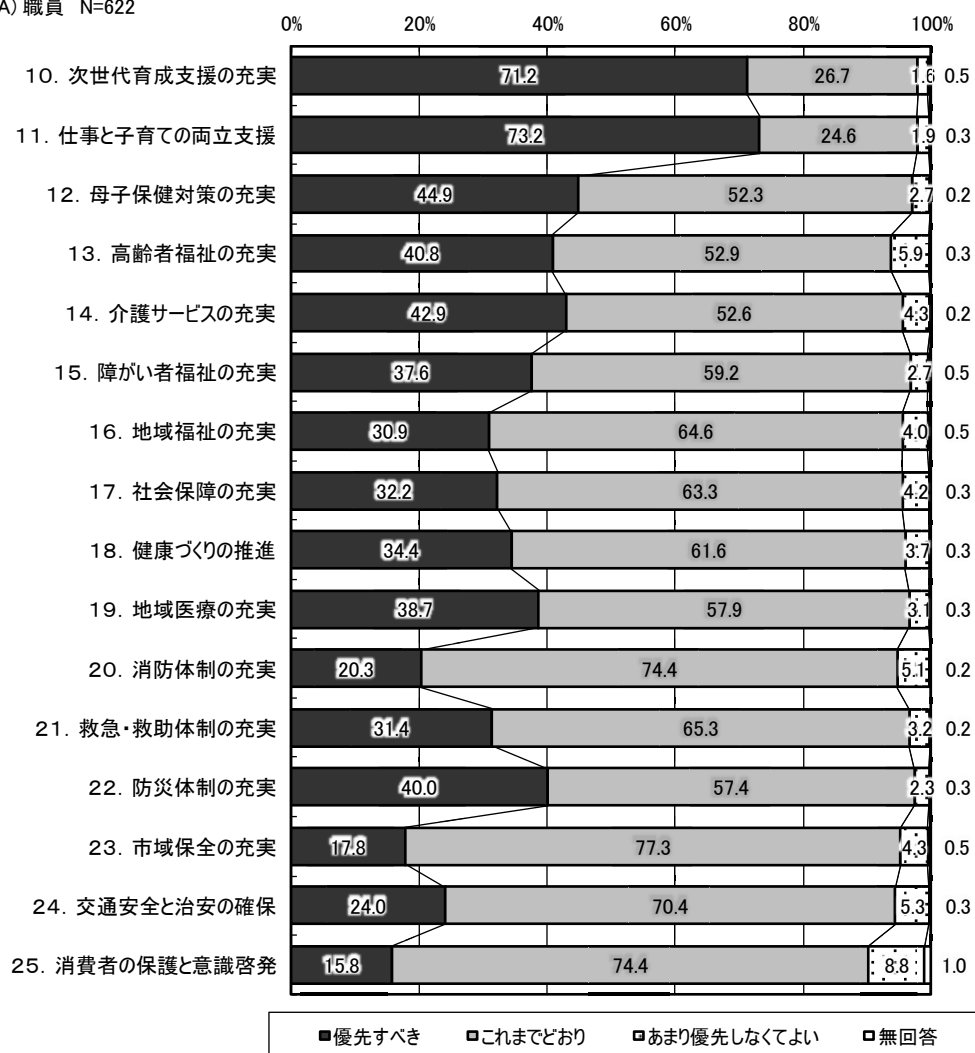
①市民が主役のまちづくり

(SA) 職員 N=622



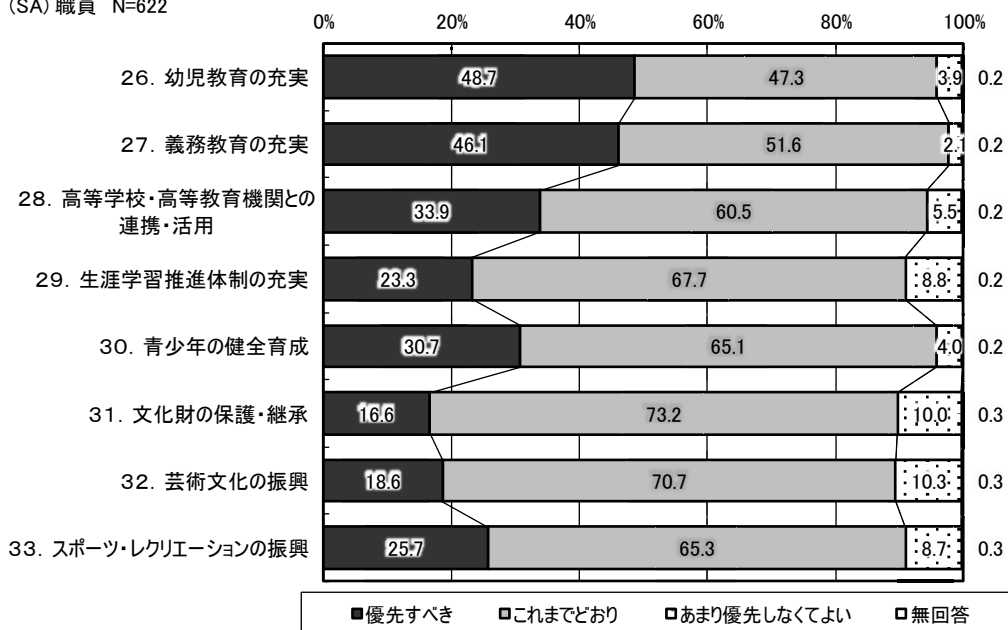
② 暮らしの安心・安全を守るまちづくり

(SA) 職員 N=622



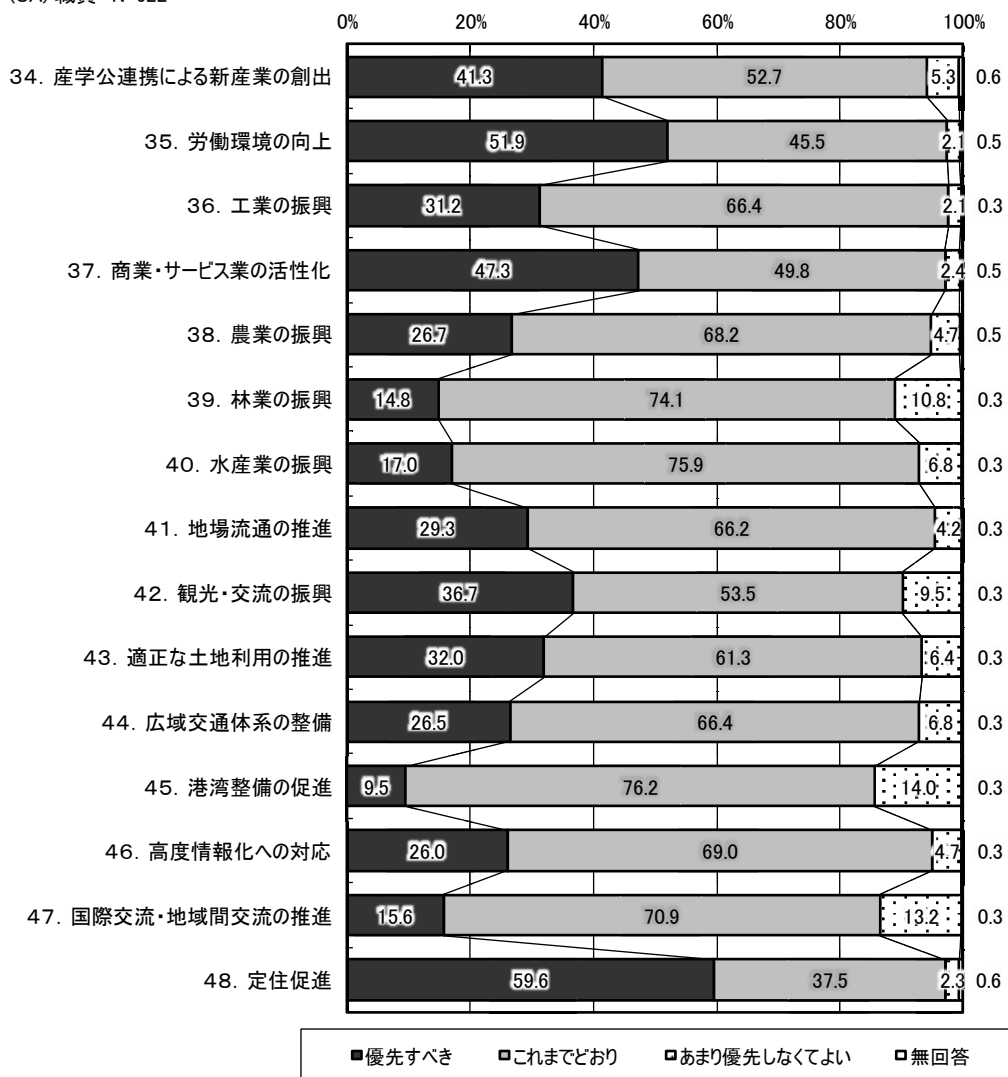
③ 人が輝く心豊かなまちづくり

(SA) 職員 N=622



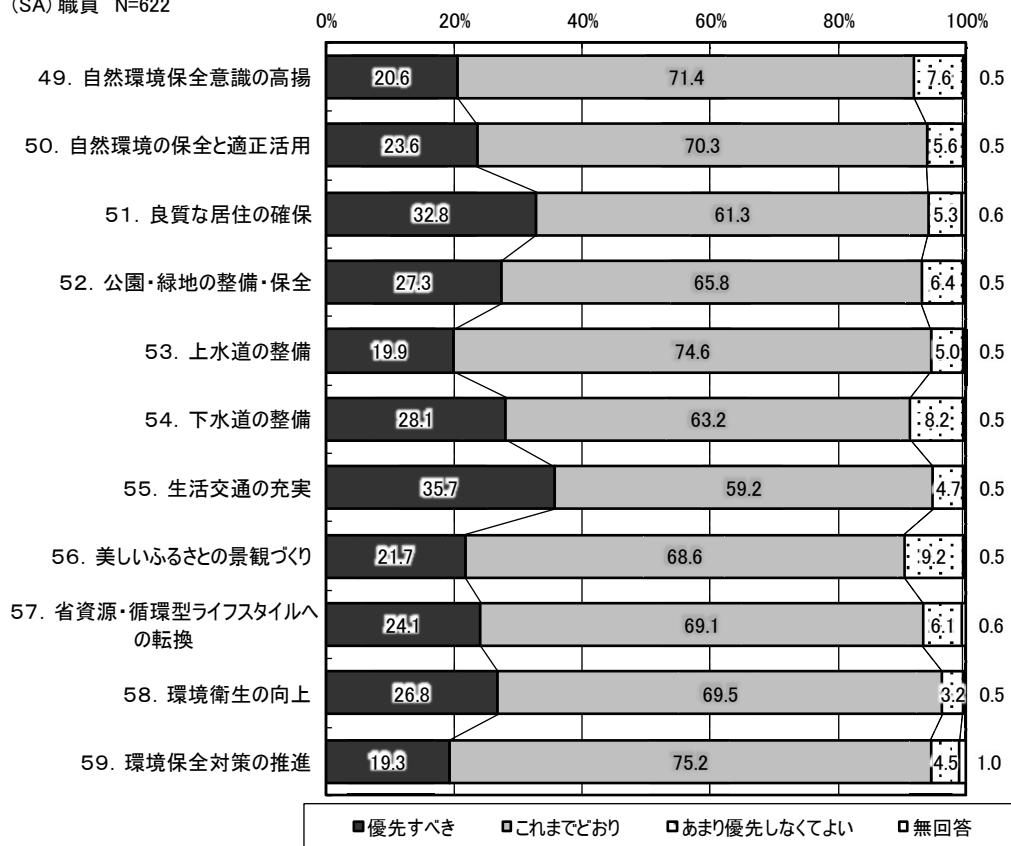
④ にぎわいと活力にみちたまちづくり

(SA) 職員 N=622



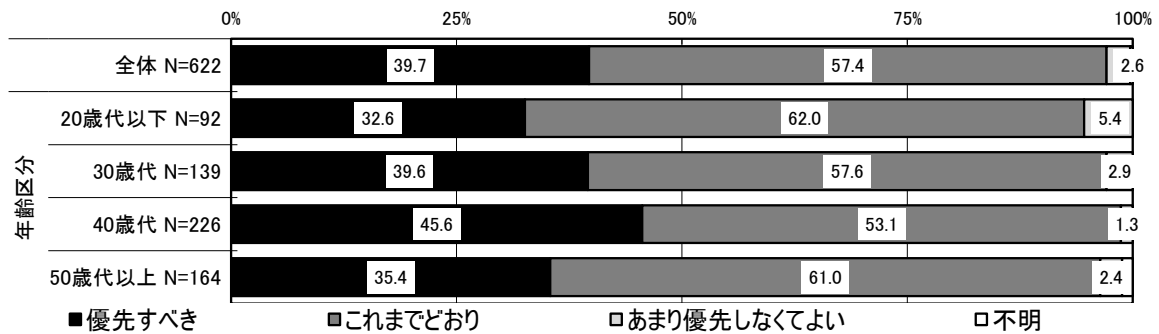
⑤ うるおいのある快適なまちづくり

(SA) 職員 N=622

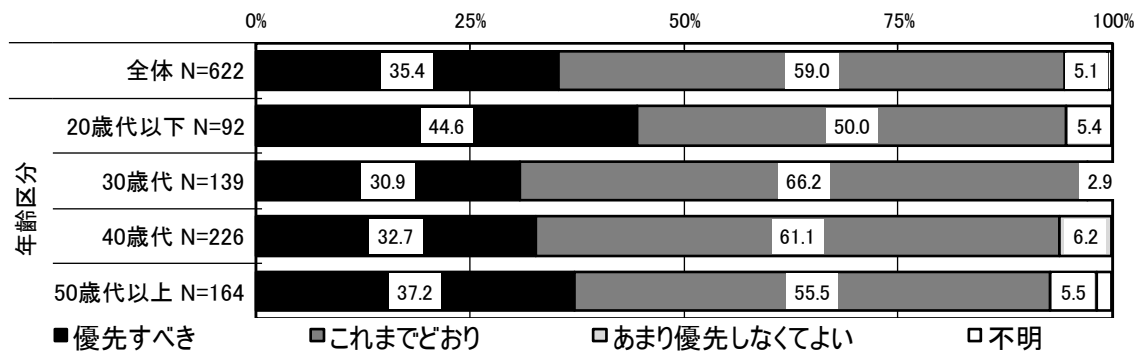


問4 年代別の優先度（差の見られるもの）

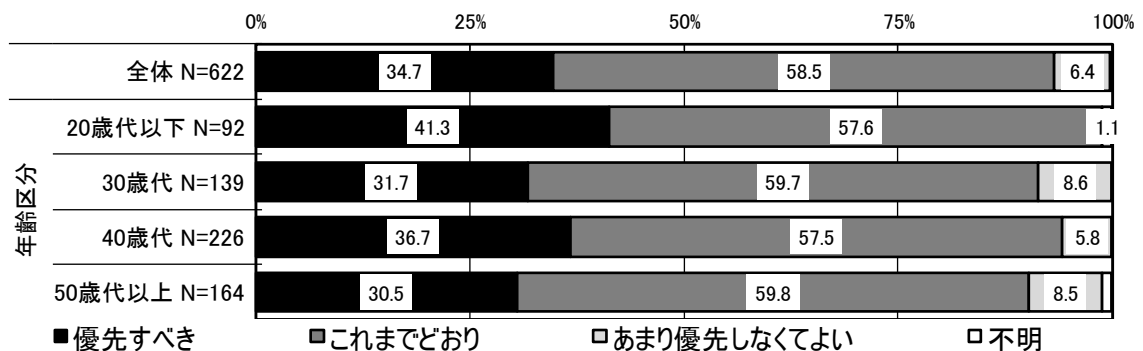
1. 地域コミュニティの振興



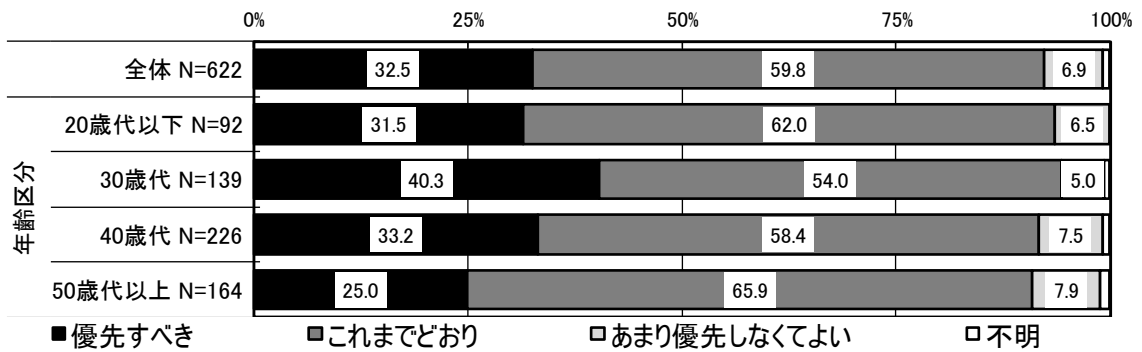
3. 市民と行政との協働のまちづくり



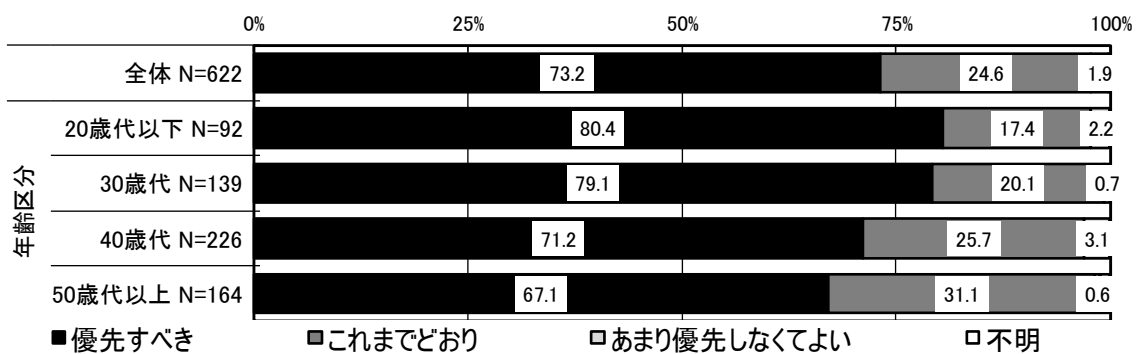
7. 電子自治体の推進と行政サービスの向上



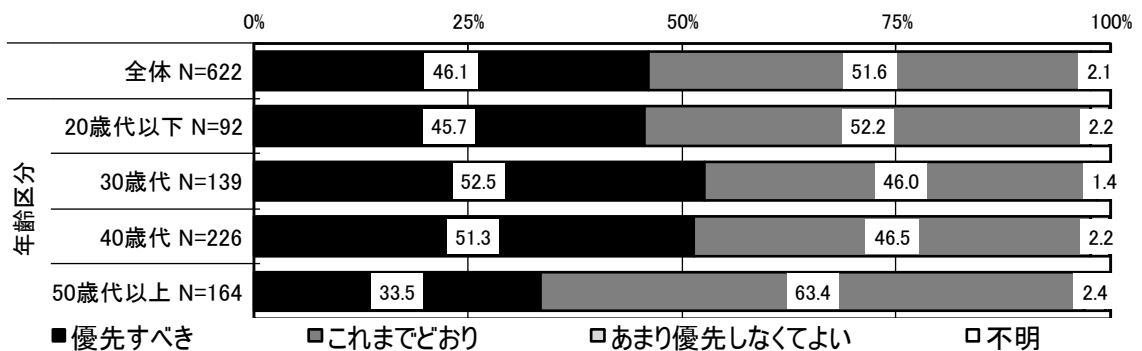
9. 広域連携の強化



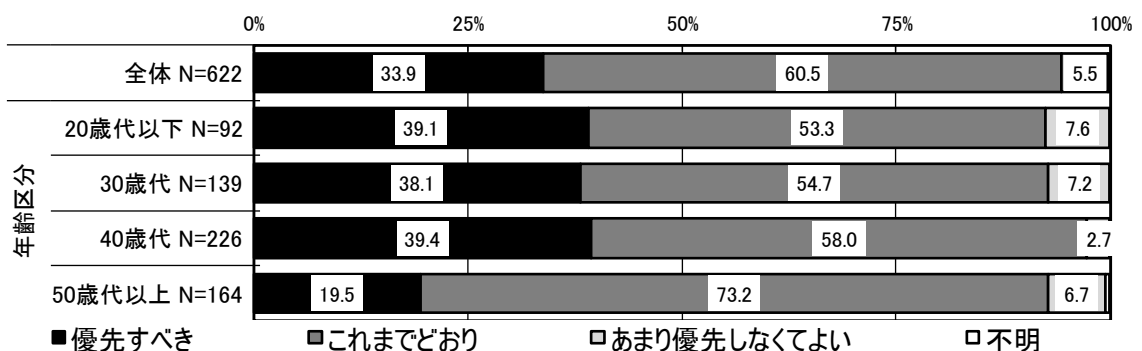
1 1. 仕事と子育ての両立支援



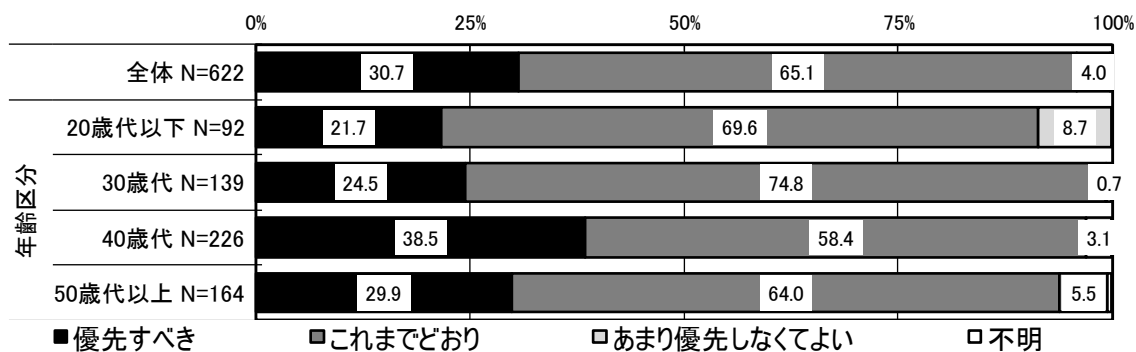
2 7. 義務教育の充実



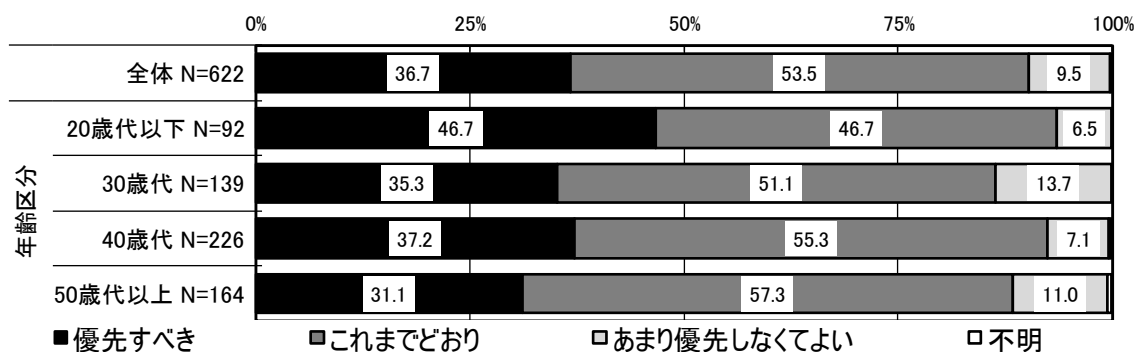
2 8. 高等学校・高等教育機関との連携・活用



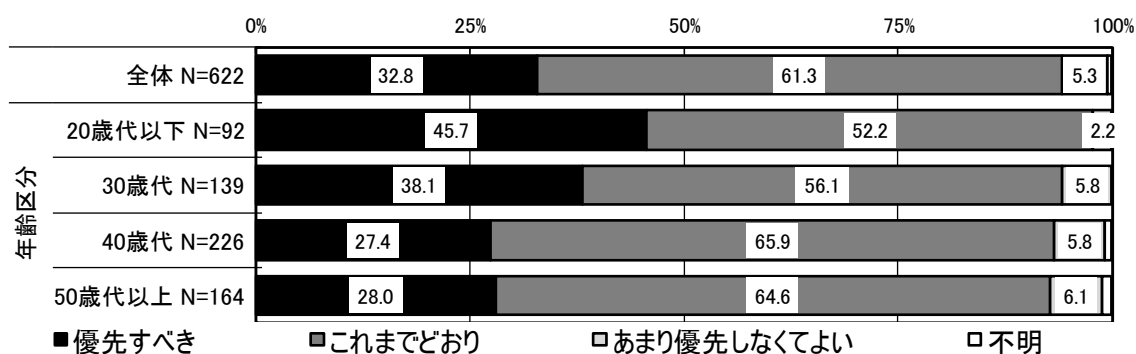
3 0. 青少年の健全育成



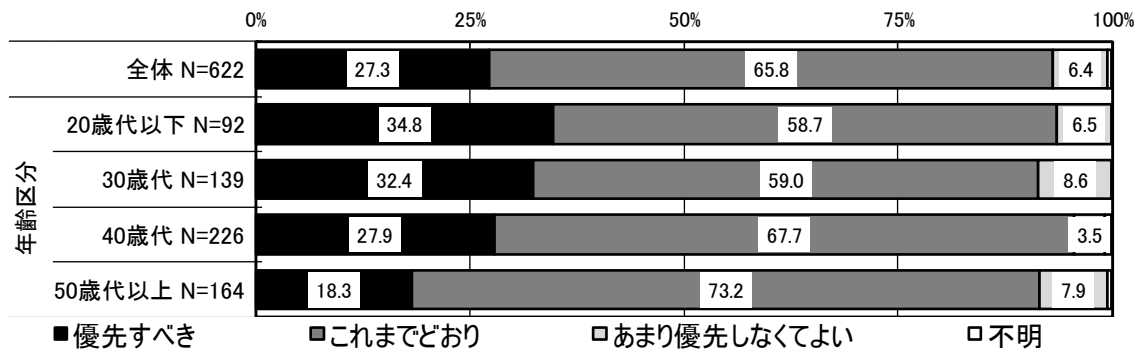
4 2. 観光・交流の振興



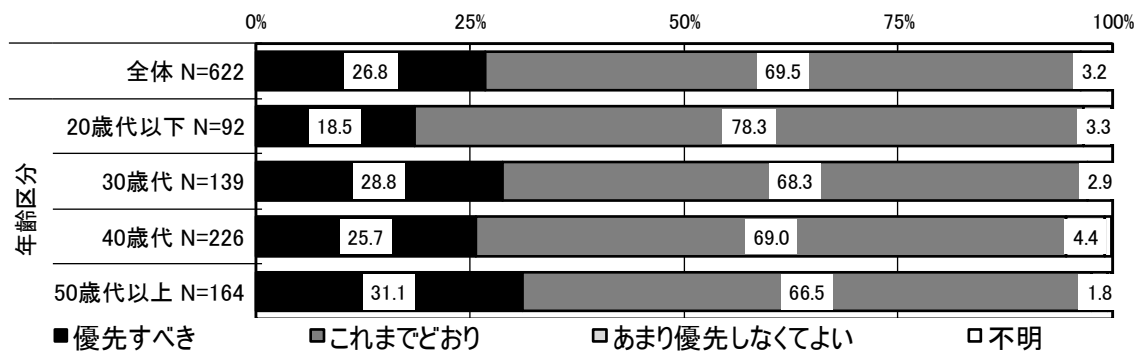
5 1. 良質な居住の確保



5 2. 公園・緑地の整備・保全



5 8. 環境衛生の向上

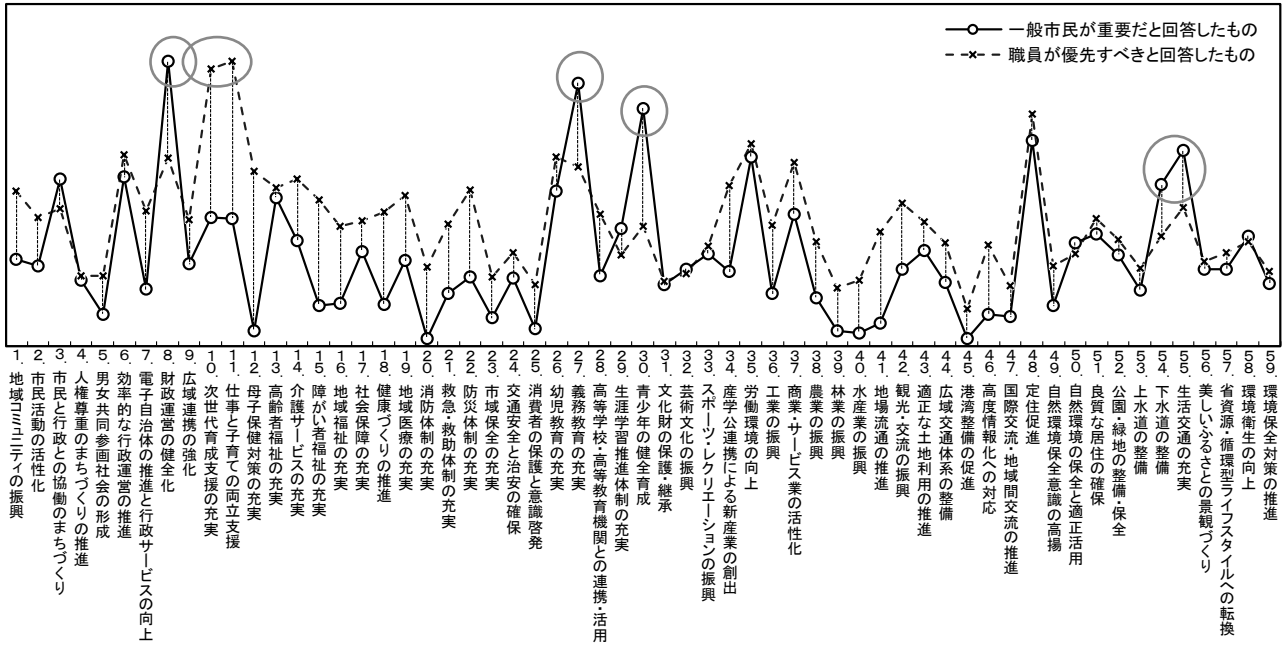


問4 一般市民アンケートとの比較

問4の項目について「優先すべきもの」の回答と、一般市民アンケートの「重要と思うもの」の回答の傾向を比較したものです。

職員意識と市民意識に大きな乖離は見られないものの、近年の地方創生にかかる項目で市民意識を上回る傾向が見られます。

一方で、「財政運営の健全化」「幼児教育の充実」「青少年育成」などのように市民意識より職員意識が低いものも見られます。



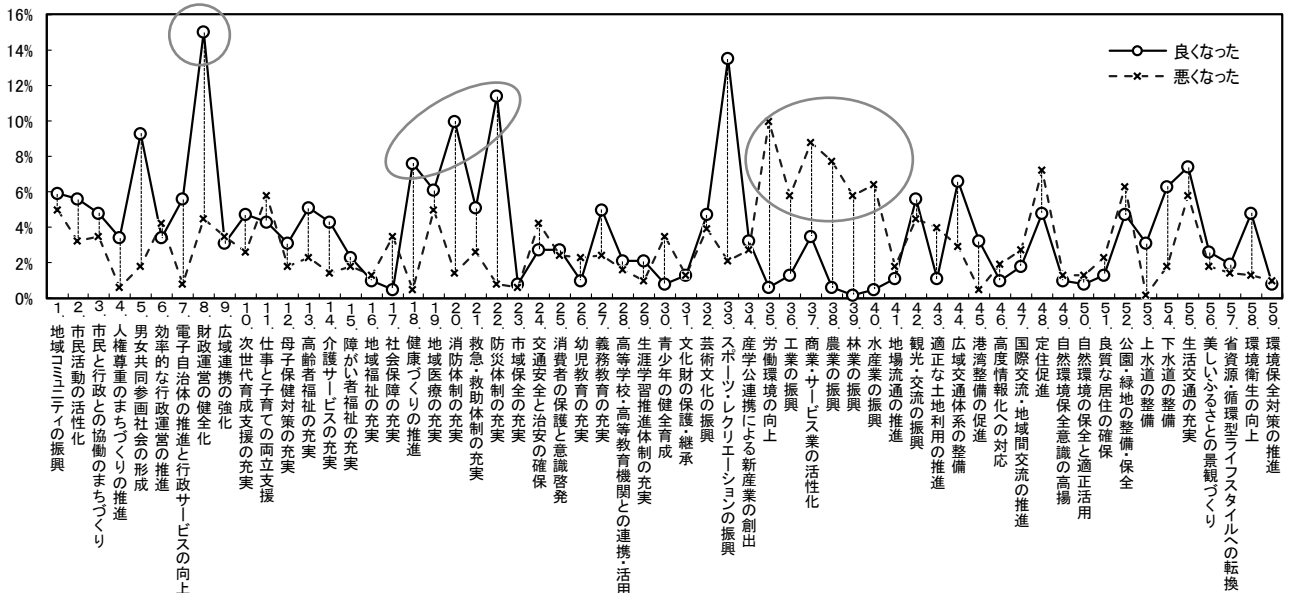
問5 問4の59施策のうち、第一次山陽小野田市総合計画ができた後、良くなったと思うところと悪くなったと思うところはどこですか。(MA)

良くなったでは、「財政運営の健全化」が15.0%で最も高くなっています。次いで「スポーツ・レクリエーションの振興」が13.5%、「防災体制の充実」が11.4%が続いています。

悪くなったでは、「労働環境の向上」が10.0%で最も高くなっています。次いで「商業・サービス業の活性化」が8.8%、「農業の振興」が7.7%が続いています。

	良くなった	悪くなった
1. 地域コミュニティの振興	5.9	5.0
2. 市民活動の活性化	5.6	3.2
3. 市民と行政との協働のまちづくり	4.8	3.5
4. 人権尊重のまちづくりの推進	3.4	0.6
5. 男女共同参画社会の形成	9.3	1.8
6. 効率的な行政運営の推進	3.4	4.2
7. 電子自治体の推進と行政サービスの向上	5.6	0.8
8. 財政運営の健全化	15.0	4.5
9. 広域連携の強化	3.1	3.5
10. 次世代育成支援の充実	4.7	2.6
11. 仕事と子育ての両立支援	4.3	5.8
12. 母子保健対策の充実	3.1	1.8
13. 高齢者福祉の充実	5.1	2.3
14. 介護サービスの充実	4.3	1.4
15. 障がい者福祉の充実	2.3	1.8
16. 地域福祉の充実	1.0	1.3
17. 社会保障の充実	0.5	3.5
18. 健康づくりの推進	7.6	0.5
19. 地域医療の充実	6.1	5.0
20. 消防体制の充実	10.0	1.4
21. 救急・救助体制の充実	5.1	2.6
22. 防災体制の充実	11.4	0.8
23. 市域保全の充実	0.8	0.6
24. 交通安全と治安の確保	2.7	4.2
25. 消費者の保護と意識啓発	2.7	2.4
26. 幼児教育の充実	1.0	2.3
27. 義務教育の充実	5.0	2.4
28. 高等学校・高等教育機関との連携・活用	2.1	1.6
29. 生涯学習推進体制の充実	2.1	1.0
30. 青少年の健全育成	0.8	3.5

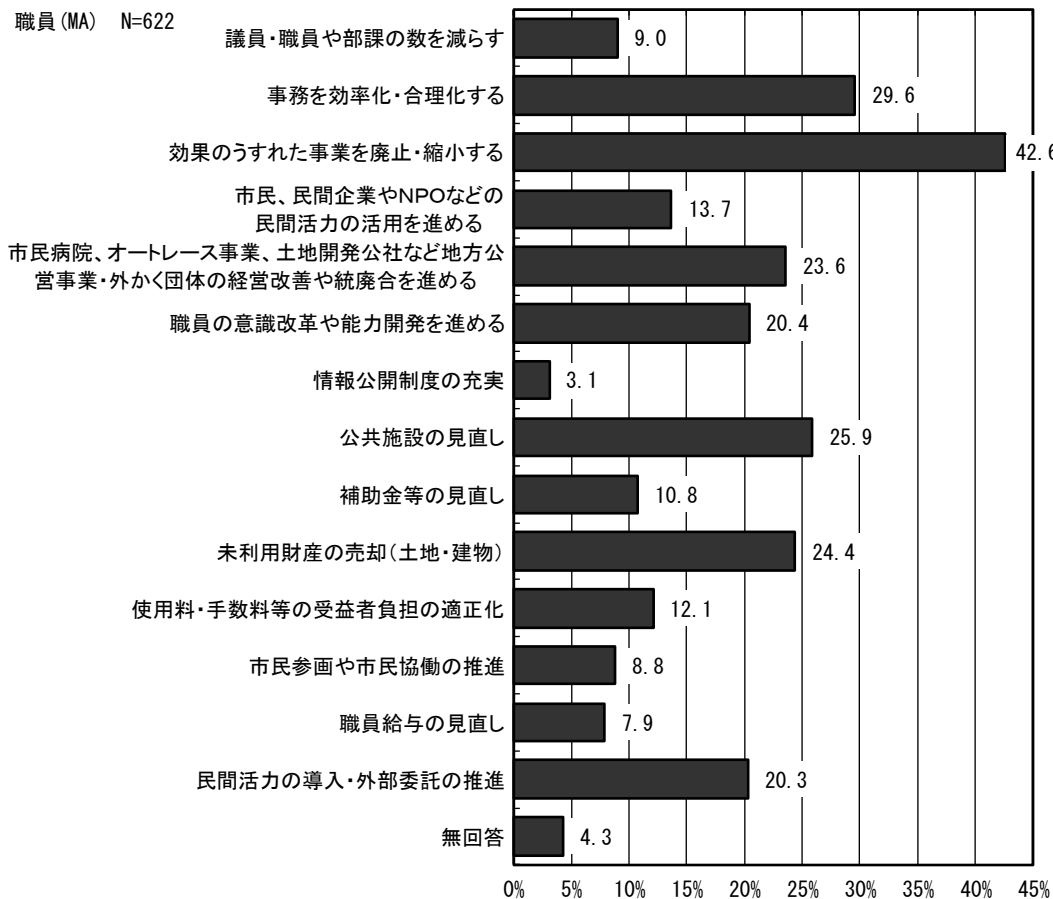
	良くなった	悪くなった
31. 文化財の保護・継承	1.3	1.3
32. 芸術文化の振興	4.7	3.9
33. スポーツ・レクリエーションの振興	13.5	2.1
34. 産学公連携による新産業の創出	3.2	2.7
35. 労働環境の向上	0.6	10.0
36. 工業の振興	1.3	5.8
37. 商業・サービス業の活性化	3.5	8.8
38. 農業の振興	0.6	7.7
39. 林業の振興	0.2	5.8
40. 水産業の振興	0.5	6.4
41. 地場流通の推進	1.1	1.8
42. 観光・交流の振興	5.6	4.5
43. 適正な土地利用の推進	1.1	4.0
44. 広域交通体系の整備	6.6	2.9
45. 港湾整備の促進	3.2	0.5
46. 高度情報化への対応	1.0	1.9
47. 国際交流・地域間交流の推進	1.8	2.7
48. 定住促進	4.8	7.2
49. 自然環境保全意識の高揚	1.0	1.3
50. 自然環境の保全と適正活用	0.8	1.3
51. 良質な居住の確保	1.3	2.3
52. 公園・緑地の整備・保全	4.7	6.3
53. 上水道の整備	3.1	0.2
54. 下水道の整備	6.3	1.8
55. 生活交通の充実	7.4	5.8
56. 美しいふるさとの景観づくり	2.6	1.8
57. 省資源・循環型ライフスタイルへの転換	1.9	1.4
58. 環境衛生の向上	4.8	1.3
59. 環境保全対策の推進	0.8	1.0



4 財政等について

問6 山陽小野田市の行財政改革として、何に重点的に取り組むべきだと思いますか？
(MA)

「効果のうすれた事業を廃止・縮小する」が42.6%で最も高くなっています。次いで「事務を効率化・合理化する」が29.6%、「公共施設の見直し」が25.9%で続いています。



自由記入欄の結果

1. 一般市民アンケートの自由記入欄の結果

一般市民アンケート

今後の山陽小野田市のまちづくりについての自由意見

(1) 山陽小野田市の将来のまちの姿

① 主な意見の種類

今後の山陽小野田市のまちづくりについて、市民1, 151名から547票の自由意見をいただきました。第一次山陽小野田市総合計画の基本目標によって分類すると、「暮らしの安心・安全を守るまちづくり（101票・18.5%）」、「市民が主役のまちづくり（65票・11.9%）」、「うるおいのある快適なまちづくり（97票17.7%）」、「にぎわいと活力にみちたまちづくり（141票・25.8%）」、「人が輝く心豊かなまちづくり（24票・4.4%）」、「地域について（48票・8.8%）」、「その他（54票・9.9%）」、「アンケートについて（17票・3.1%）」となっています。

■今後の山陽小野田市のまちづくり（自由意見）

主な意見類型	票・%
暮らしの安心・安全を守るまちづくり／健康・福祉、防災・防犯	101票（18.5%）
市民が主役のまちづくり／自治、行財政改革	65票（11.9%）
うるおいのある快適なまちづくり／生活環境、都市基盤、公共交通	97票（17.7%）
にぎわいと活力にみちたまちづくり／産業振興、農林水産、観光	141票（25.8%）
人が輝く心豊かなまちづくり／教育・文化	24票（4.4%）
地域について	48票（8.8%）
その他	54票（9.9%）
アンケートについて	17票（3.1%）
合計	547票

※小数点以下第1位を四捨五入しているため、合計が100%にならないことがあります。

(2) 具体的な意見

主な意見は以下のとおりです。

■「暮らしの安心・安全を守るまちづくり」について（101票・18.5%）

子育て支援に関すること
<ul style="list-style-type: none">○子育て環境が悪い。公園に行っても遊具はないし、サンパークに行っても小さな子どもを遊ばせるスペースがない。小さな子どもを連れたママさん達が集まる場所、回数を増やしてほしい。ママ同士が交流して情報交換したり、友達になったりする機会がない。○小さな公園の整備（遊具の設置）○子育て費用の軽減策○女性の子育てと仕事の両立が可能なまちづくり○若者があふれ、健康で元気に暮らせて安心して子育てができる環境の良い町にしてほしい。
高齢・福祉に関すること
<ul style="list-style-type: none">○障がい者等の施設がもっとあってほしい/宇部市などに比べるとNPOの活動が少ない○個人経営のデイサービス事業が多い/市民のための福祉サービスを充実すべき/老人ホームほか、年金だけではサービスを受けるのは難しい○車がないと不便な地域に住んでおり、老後が不安だらけである。住み良いまちづくりをしてほしい。○高齢者の占める割合が増えており、これから先もその傾向が急に変わることはない。高齢者がもっと外に出て、いきいきと笑っていられる「何か」を探してほしい。○高齢者などの買い物弱者対策にぜひ取り組んでほしい。
防犯・防災に関すること
<ul style="list-style-type: none">○安心・安全なまちづくり（高齢者が住みやすいまち、外灯の設置など）○河川、海岸高潮氾濫の水害防止○古びた空き家や空き店舗が多く、災害が起きたときに危険を感じるし、見た目も良くない。○すべての年代の市民が安心・安全に生活できる環境の整備○空き家対策
医療に関すること
<ul style="list-style-type: none">○市全体でもう少し予防医療を充実してほしい。○厚狭地区・埴生地区への病院建設。

■「市民が主役のまちづくり」について（65票・11.9%）

<ul style="list-style-type: none">○自治会に入会しないと広報紙等が配付されていないので、ほとんど情報が得られない。パソコンが全世帯にあるわけではないので考えてほしい。○広報紙の市長の文章はいつも具体的で市のことがよく分かる。○市政の情報をもっと流してほしい。○まだまだ市民の声（苦情等）を取り上げ、公表してほしい。○いろいろなアイデアをもっと市民から聞くべきである。○使用料等の負担について、講演会の入場料は無料にしない（資料のコピー代、講師への謝金等の一部は受講者が負担すれば良い）。その他、市・学校の体育館で私的使用の場合等も同様である。講習料・指導料を徴収しているものは、内容にこだわらず使用料を取って良いと思う。○市財政の健全化○市役所の開庁時間を延ばしてほしい。○市役所の時間延長を厚狭でもやってほしいです。○市職員の教育、質の向上○市の職員の資質向上/議員定数の見直し

- 多くのサービスは求めないので、税金を高くしたり、破綻したりしない政策をとってください。
- 市民に市政の報告を十分にしてほしい。
- 公共施設の建設は将来をもっと考えて実行してほしい。

■「うるおいのある快適なまちづくり」について（97票・17.7%）

生活環境について
<ul style="list-style-type: none"> ○結婚してもすぐに安価で住めるアパートなどが少ない。もう少し市営のアパートなどがほしい。 ○JR厚狭駅を自由に通行できる南北通路の設置 ○小野田駅周辺の開発促進 ○早急な下水道整備 ○厚狭川の上水道のカルシウム成分を濾過できる設備を作してほしい。
公園整備、環境について
<ul style="list-style-type: none"> ○江汐公園の美化 ○公園はたくさんあるのにあまり利用されていない様に思う。昔に比べて公園がしなびている。親子、友達とで行こうと思わない。 ○一部の人しか利用しない公園を（せっかくたくさんあるのに）もっと整備して利用しやすくするべき。木や草が茂って子どもだけの利用は怖すぎる。またスケートボードなど禁止の公園ばかりで、専用の場所を作してほしい。 ○ごみ収集日を増やしてほしい。 ○ゴミのポイ捨てが多い。ゴミ拾い活動を増やしたほうが良いと思う。 ○環境が良ければ満足感を持って住み続けたいと思う。
道路の整備について
<ul style="list-style-type: none"> ○全般的に道路（舗装等）の状況がよくない。また歩道に覆いかぶさる雑草の駆除ができてない。 ○有帆地区の田んぼの中に広い道路ができるかと思えば、くし山のイオン前の道路はいつも渋滞している。必要な箇所を整備してほしい。 ○歩道が狭くて、アスファルトもがたがたで危険
公共交通について
<ul style="list-style-type: none"> ○公共交通機関（主にバス）又は小野田線の交通の便を図ってほしい。高齢者は車に乗れないため、生活できなくなる。 ○公共交通利用料金が高いので、もう少し安くしてほしい。 ○高齢者の交通手段はバス。本数の増加や病院に停車するようにしてほしい。

■「にぎわいと活力にみちたまちづくり」について（141票・25.8%）

企業誘致、農林水産に関すること
<ul style="list-style-type: none"> ○企業誘致などによる若者定住のための働く場所の確保 ○企業誘致の推進によるまちの活性化 ○年齢、性別を問わず、雇用なくして発展はないと思います。企業誘致も大切だが、既存の会社の働き方を見直して多くの雇用を希望する。特に今後は、まだ働ける中高年の雇用の拡大を願う。 ○農業の大規模化の推進（農業法人化）
観光に関すること
<ul style="list-style-type: none"> ○山陽小野田市として誇れる特産物がほしい（土産として持参するものが乏しい）。 ○道の駅の建設 ○市の名所、観光スポットをもっとアピールする。 ○誰でも（子どもからお年寄りまで）参加可能なイベント等の実施 ○山陽小野田市を全国に向けてどういう特徴を持ったところかをアピールしていけるようにまちづくりを

する必要がある。

雇用・定住促進に関すること

- 若者が定住できる環境づくり
- 若者、学生が卒業して、ふるさと山陽小野田市で就職したい、ここで結婚して子育てをしたいという明るいまち（希望のある企業）、活気のある市になることを希望する。若者が市内に根付くような環境をつくってほしい。
- 若者の定住促進で、若い世代が移住してくるようなまちづくり
- U J I ターンの促進

駅周辺・商店街の活性化に関すること

- 厚狭駅周辺、厚狭商店街の活性化
- 小野田駅周辺の活性化
- 地域によって店舗の立地の差が大きい。

■「人が輝く心豊かなまちづくり/教育・文化」について（24票・4.4%）

- 文化会館があまり活用されていない。他の地域からも人が来る様なイベントを考える。
- スポーツ施設の充実
- 子どもたちの学習意欲が出る教育体制を整備してほしい。
- 理科大の公立化をやめるべきである。
- 理科大の公立化など将来を展望できる話もあって市政に楽しみも出てきました。
- 図書館の開館時間を延ばしてほしい（平日の利用ができない）。
- 公民館は、団体によって利用料が違うなど、同じ市民として不自由さを感じることもある。もっと利用しやすくしてほしい。

■地域について（48票・8.8%）

- 有帆は、まちづくりというものから取り残され、買い物、金融機関、病院、高齢者には住みにくい町である。
- 厚狭地区には幼稚園がひとつしかなく、しかも私立なので高い。市立があれば良い。
- 埴生地区は商店、病院がない。
- 山陽小野田市になっても活性化されているのは小野田のみ。厚狭地区はますますさびれてきている。旧山陽のほうに力が入っているように思う。公共施設も、もう少し小野田の老朽化したところに目を向けてほしい。

■その他（54票・9.9%）

- 総合計画の施策をもっと積極的に実現していただきたい。
- 工事の時には住民説明を十分に行ってほしい
- もっとまちに特色を出してほしい。山口東京理科大学、レノファ山口、ゴルフ場、病院などがある
- 他市のまねや追随をするのではなく、現状にあった山陽小野田市のまちづくりをしてほしい。

■アンケートについて（17票・3.1%）

- アンケートの内容が難しすぎる。
- このようにアンケートを行う努力には、市民として大変評価します。
- 市民の意見を真摯に受け入れ、素直に実行及び行動を行ってください。

2. 中学生アンケートの自由記入欄の結果

中学生アンケート

山陽小野田市の将来についての自由意見

(1) 山陽小野田市の将来のまちの姿

① 主な意見の類型

山陽小野田市の将来のまちの姿について、中学生538人から445票の自由意見をいただきました。主な意見の類型は、「買い物に便利な、にぎわいのあるまち（84票・18.9%）」、「自然豊かで、住みよいまち（79票・17.8%）」、「災害・事故・犯罪の少ない、安全なまち（51票・11.5%）」、「交流（観光・イベント）のあるまち（49票・11%）」、「子どもがのびのび遊べるまち（37票・8.3%）」、「病院や公共施設等が充実したまち（10票・2.2%）」、「ビルの立ち並ぶ都会のようなまち（29票・6.5%）」、「ゴミの少ないきれいなまち（21票・4.7%）」、「子どもやお年寄りが生き生きと暮らせるまち（17票・3.8%）」、「スポーツ・文化の盛んなまち（16票・3.8%）」、「お年寄りが多く、人口の少ないまち（10票・2.2%）」、「工業が発達したまち（6票・1.3%）」、「交通が便利なまち（5票・1%）」、「これまでとあまり変わらないまち（4票・0.9%）」、「雇用機会が多く若者が定住するまち（4票・0.9%）」、「その他（23票・5.2%）」となっています。

■今後の山陽小野田市のまちづくり（自由意見）

主な意見類型	票・%
買い物に便利な、にぎわいのあるまち	84票 (18.9%)
自然豊かで、住みよいまち	79票 (17.8%)
災害・事故・犯罪の少ない、安全なまち	51票 (11.5%)
交流（観光・イベント）のあるまち	49票 (11%)
子どもがのびのび遊べるまち	37票 (8.3%)
病院や公共施設等が充実したまち	10票 (2.2%)
ビルの立ち並ぶ都会のようなまち	29票 (6.5%)
ゴミの少ないきれいなまち	21票 (4.7%)
子どもやお年寄りが生き生きと暮らせるまち	17票 (3.8%)
スポーツ・文化の盛んなまち	16票 (3.6%)
お年寄りが多く、人口の少ないまち	10票 (2.2%)
工業が発達したまち	6票 (1.3%)
交通が便利なまち	5票 (1%)
これまでとあまり変わらないまち	4票 (0.9%)
雇用機会が多く若者が定住するまち	4票 (0.9%)
その他	23票 (5.2%)
合計	445票

※小数点以下第1位を四捨五入しているため、合計が100%にならないことがあります。

② 具体的な意見

◇買い物に便利な、にぎわいのあるまち（84票・18.9%）

- ・ 休みの日には市外へ行かなくても市内で何もかも済ますことができる何でもある町
- ・ 買い物ができるところをたくさん作ってにぎやかにしたい。
- ・ いろいろな施設を作り、もっと人を呼びこんで、いきいきとした、楽しくにぎわいのある町
- ・ イオンモール、キャナルシティ、天神コアみたいなみんなが楽しめる町
- ・ たくさんのショッピングセンターであふれるまち
- ・ 市民が便利に暮らせるよう、商業施設や医療機関などが充実したまち
- ・ 商店の多い活気のあるまち
- ・ 自然もまあまあありつつ、サンパークなどの施設もあるまち
- ・ いろいろな店がたくさんあって買い物に便利なまち
- ・ 近くにお店などがあり、近くで買い物ができるまち

◇自然豊かで、住み良いまち（79票・17.8%）

- ・ 自然がたくさんあるまち
- ・ 竜王山があるので空気がきれいで住みやすい町
- ・ 自然が多く、空気が良い。
- ・ きららビーチや竜王山など、自然の恵みを感じられるような美しいまち
- ・ 自然環境が良くて住みやすい町
- ・ 焼野海岸や竜王山などの自然豊かな公共の場があるまち
- ・ 今まで通りのゆったりと暮らせるまち
- ・ 住みやすい環境の町
- ・ 住みやすくて、ゆとりのあるまち

◇災害・事故・犯罪の少ない、安全なまち（51票・11.5%）

- ・ 犯罪が少なく、小さな子どもでも安心して遊べるような町
- ・ 台風や災害に備える。安全性。
- ・ 交通事故が少ない市
- ・ 犯罪がない安全なまち
- ・ 災害、犯罪がなく、安心安全に暮らせる町
- ・ 安全でみんなが楽しく住めるまち
- ・ 事故や事件を少なくして安全に住めるまち
- ・ 交通などのルールを守る町
- ・ 台風などの自然災害が少なく安全な町
- ・ 災害などが起きたら、スムーズに避難ができる町

◇交流（観光・イベント）のあるまち（49票・11%）

- ・ 温泉や宿泊施設をつくってもっと観光客がくるような明るい町
- ・ 景色の良いまち
- ・ 山陽小野田市ならではの特産品を有名にして、全国から注目される都市
- ・ 竜王山の桜とアサギマダラをしっかりとPRして寄って行きたくなる様な市にする。
- ・ お祭りがさかんでがやがやした楽しいまち

- ・ 観光ができ、誰もが楽しめるようなまち
- ・ 焼野海岸などのシーサイドエリアを代表するリゾートシティのようなゆとりある空間のまち
- ・ 自然環境が良い、観光客が増える町
- ・ きららビーチの夕日がとってもきれいな町
- ・ 登り窯や歴史に名を残す人の住宅など、市の歴史をたくさん学べるような場所のあるまち

◇子どもがのびのび遊べるまち（37票・8.3%）

- ・ 中学生でも入れるゲームセンター
- ・ 遊ぶ所がいっぱいあって楽しい町
- ・ ディズニーランドをつくってほしい。
- ・ 遊園地、動物園がほしい。

◇病院や公共施設等が充実したまち（10票・2.2%）

- ・ 近くに医療機関があるまち
- ・ 図書館の利用のしやすさ
- ・ 学校施設の充実

◇ビルの建ち並ぶ都会のようなまち（29票・6.5%）

- ・ 都会にする。
- ・ 都会のように新しいものがたくさんあるような人がにぎわうまち
- ・ 駅周辺が都会化
- ・ ドームができて芸能人などライブができる。
- ・ 東京のようなイベント、アニメ、ゲームイベント、ライブなどがある町

◇ゴミの少ないきれいなまち（21票・4.7%）

- ・ 道路や公園にポイ捨てされたゴミがなく、衛生的にも自然環境にもやさしいまち
- ・ ごみが落ちてないまち
- ・ きららビーチのゴミが気になる。一人一人がゴミをポイ捨てしない、清掃を心がける、美しい町にすること。
- ・ ゴミのポイ捨てやタバコの吸殻がないようなきれいなまち
- ・ ゴミがなくて海がきれいな町

◇子どもやお年寄りが生き生きと暮らせるまち（17票・3.8%）

- ・ 安全で老人や子どもが生き生きする盛んなまち
- ・ お年寄りが安心して暮らせるような施設を作り、高齢化にも対応できるまち
- ・ 高齢者や小さな子どもたちが、安心してゆったり過ごせるように、今ある老人ホームや保育園、幼稚園を過ごしやすい場所にして、たくさんの人が子どもを産みたいと思えるような町にする。
- ・ 生活がしやすく、お年寄りの方や子どもたちが楽しく暮らせる住みやすいまち
- ・ 子どもや老人が安心して暮らせる市民の声が聞けるまち

◇スポーツ・文化の盛んなまち（16票・3.6%）

- ・ スポーツができる場所（サッカー、バレー、テニス、バドミントンなど）
- ・ スポーツが楽しめる町
- ・ スポーツが盛んな町
- ・ 音楽活動（バンド、マーチング、吹奏楽）の盛んな市

◇お年寄りが多く、人口の少ないまち（10票・2.2%）

- ・ 高齢化が進んだまち
- ・ 過疎によって錆びれたまち
- ・ 人口が減り、子どもが少なくなると思う。

◇工業が発達したまち（6票・1.3%）

- ・ 工業がさかんなまち
- ・ 産業が発展したきれいな街並み

◇交通が便利なまち（5票・1%）

- ・ 交通（バスや空港）の便の増加（特にバスだと遅い日で5～10分ほど遅れる）
- ・ 交通の便利さなどで、たくさんの人が住みたいと思えるような町
- ・ 交通が便利なまち

◇これまでとあまり変わらないまち（4票・0.9%）

- ・ 今とあまり変わらない安全で安心して遊べるまち
- ・ 今とあまり変わらない町
- ・ 今のままの姿

◇雇用機会が多く若者が定住するまち（4票・0.9%）

- ・ 市内の学校を卒業した人が、市内の企業に就職できるまち
- ・ 就職しやすい町

◇その他（23票・5.2%）

- ・ みんなが温かくて、地域のつながりが深いまちづくり
- ・ コンパクトにまとまった、ゆとりのあるまち
- ・ 人が笑顔でいられる町
- ・ みんなが仲良しな町
- ・ テーマパークがあって、就職がすごくしやすく、将来安心できるまち

(2) まちづくりの主なアイデア・意見

① 主な意見の類型

山陽小野田市の将来についてのアイデアや意見としては、中学生538名から409票の自由意見をいただきました。

山陽小野田市の将来のまちの姿に即してアイデアや意見をとりとまとめると、「買い物に便利な、にぎわいのあるまちづくりのアイデア・意見(105票・25.7%)」、「交流(観光・イベント)のあるまちづくりのアイデア・意見(63票・15.4%)」、「子どもやお年寄りが生き生きと暮らせるまちづくりのアイデア・意見(35票・8.6%)」、「ビルの建ち並ぶ都会のようなまちづくりのアイデア・意見(34票・8.3%)」、「きれいな町にするまちづくりのアイデア・意見(33票・8.1%)」、「病院や公共施設等が充実しているまちづくりのアイデア・意見(31票7.6%)」、「スポーツ・文化の盛んなまちづくりのアイデア・意見(28票6.8%)」、「交通が便利なまちづくりのアイデア・意見(23票5.6%)」、「災害・事故・犯罪の少ない、安全なまちづくりのアイデア・意見(22票5.4%)」、「雇用機会が多く若者が定住するまちづくりのアイデア・意見(10票2.4%)」、「自然豊かで、住み良いまちづくりのアイデア・意見(4票1.0%)」、「これまでと変わらないまちづくりのアイデア・意見(4票1.0%)」、「子どもがのびのび遊べるまちづくりのアイデア・意見(3票0.7%)」、「その他(14票3.4%)」となっています。

■今後の山陽小野田市のまちづくり(自由意見)

主な意見類型	票・%
買い物に便利な、にぎわいのあるまちづくりのアイデア・意見	105票(25.7%)
交流(観光・イベント)のあるまちづくりのアイデア・意見	63票(15.4%)
子どもやお年寄りが生き生きと暮らせるまちづくりのアイデア・意見	35票(8.6%)
ビルの建ち並ぶ都会のようなまちづくりのアイデア・意見	34票(8.3%)
きれいな町にするまちづくりのアイデア・意見	33票(8.1%)
病院や公共施設等が充実しているまちづくりのアイデア・意見	31票(7.6%)
スポーツ・文化の盛んなまちづくりのアイデア・意見	28票(6.8%)
交通が便利なまちづくりのアイデア・意見	23票(5.6%)
災害・事故・犯罪の少ない、安全なまちづくりのアイデア・意見	22票(5.4%)
雇用機会が多く若者が定住するまちづくりのアイデア・意見	10票(2.4%)
自然豊かで、住み良いまちづくりのアイデア・意見	4票(1.0%)
これまでと変わらないまちづくりのアイデア・意見	4票(1.0%)
子どもがのびのび遊べるまちづくりのアイデア・意見	3票(0.7%)
その他	14票(3.4%)
合計	409票

※小数点以下第1位を四捨五入しているため、合計が100%にならないことがあります。

② 具体的な意見

◇買い物に便利な、にぎわいのあるまちづくりのアイデア・意見（105票・25.7%）

- ・ 本屋を増やしてほしい。
- ・ もっと人気になりそうな大きな店を建てる。コンビニも増やし、サンパークみたいなどころをいろいろな場所につくった方が良い。
- ・ アニメイトやテーマパークなどの人気の所を増やし観光客を増やす。
- ・ 映画館がほしい。
- ・ 若い人向けのアパレルショップ専門店を多くしてほしい。
- ・ 市街地の店も多く開くともっとにぎわうと思います。
- ・ カフェや飲食店を増やす。
- ・ はやりのお店などをつくったら人が増える。
- ・ ショッピングセンターなどの大型のお店を増やす。⇒若い人がたくさん集まる町にする。
- ・ 駅周辺や山陽地区は活気がなく、さびれている感じがあるのでもっと店があつたりとたくさんの人たちが集まる場所にしてほしい。

◇交流（観光・イベント）のあるまちづくりのアイデア・意見（63票・15.4%）

- ・ ねぎ三味のような山陽小野田の特産品をブランド化し、全国の特産品に肩を並べることができるようにする。
- ・ 竜王山の頂上からの夜景や桜を宣伝する。
- ・ 山陽小野田市特有のゆるキャラを作り、それを広める。
- ・ 桜を見にきた人を泊まらせるために近くにホテルを建てる。
- ・ きららビーチをきれいにしたら、もっと市の観光業が活性化すると思う。夏の観光客アップにつながると思う。1番は交通の便を良くしたら良いと思う。
- ・ 温泉をもっと増やしてほしい。
- ・ お祭りを増やしてほしいです。
（例）12月25日 「～駅クリスマスまつり！」など
- ・ 小野田ならではの行事を毎年したら良いと思います。
- ・ みんなが触れ合う場をつくり、そこで行事をやる。
- ・ 山陽小野田市といえばコレ!というシンボルとかをつくる。

◇子どもやお年寄りが生き生きと暮らせるまちづくりのアイデア・意見（35票・8.6%）

- ・ 少子化を減らすために、保育施設などを増やす。
- ・ 小さな子どもから大人まで幅広い年代の人々が楽しめる施設を増やしてほしい。
- ・ 老人ホームに幼稚園児など、子どもたちが訪問したりして、老人が楽しめて、子どももいろいろな体験をする。また夜間などでも対応できるような病院がほしい。
- ・ 子どもが遊べる公園を増やしてほしい。
- ・ 外でみんなが遊べるバスケットボールのコートや図書館以外に勉強のできるスペースがたくさんほしい。
- ・ 市によって、勉強の仕方が違うので一緒にしてほしい（インターネットとか山口市とかしかない。）
- ・ テーマパークをつくってほしい。

◇ビルの建ち並ぶ都会のようなまちづくりのアイデア・意見（34票・8.3%）

- ・ もう少し都会化してほしい。
- ・ 車のない学生にとってはサンパークが遠い人もいるし、ショッピングセンターはサンパークしかないので、もっとデパートなどを増やせば、市外からもたくさんの人たちが来てくれ、山陽小野田に住み移る人も増えると思う。未来の山陽小野田を都会にしたい。
都会になったら市外に行く人も少なくなると思う。それかサンパークをもっとでかくしたら良いと思う。それと映画館を作ったら良いと思う。見るときは市外に行かないといけないので不便。
- ・ 都会をつくってほしい（もっと都会っぽくしてほしい）。
- ・ 有名人がいっぱいくる町
- ・ ライブハウス

◇きれいな町にするまちづくりのアイデア・意見（33票・8.1%）

- ・ 道などに落ちていたゴミをなくす。
- ・ 道路がでこぼこしているので、きれいにしてほしい。
- ・ きららビーチや竜王山のゴミを減らす。
- ・ 工業がさかんであるのは良いが、空気が汚れるのは良くないので、空気を良くするために、木を植えたり、ゴミ拾いをするイベントをする。
- ・ 海をもっときれいにする。

◇病院や公共施設等が充実しているまちづくりのアイデア・意見（31票・7.6%）

- ・ 教室にエアコンをつけてほしい。もっと勉強がはかどる。
- ・ もっといろんなところに病院を増やす。
- ・ 公共の設備が古いから嫌だ。
- ・ 中央図書館や学校図書館を充実させ、読書を盛んにしたら良いと思う。本は人生の先生だと思うから。
- ・ 専門学校を作ってほしい。

◇スポーツ・文化の盛んなまちづくりのアイデア・意見（28票・6.8%）

- ・ 運動などができるところを増やしてほしい。
- ・ サッカーをもっとさかんにし、レノファ山口をJ1で活躍できるようにすると、県外から観戦する人が増え、観光業もさかんになる。
- ・ 大きな文化会館があるから、もっとたくさん演奏会や発表会を増やして、活動している所をたくさんの方々に見てもらう。
- ・ スポーツが色々できるような町で選択の幅を広げてほしい。
- ・ ダンス教室を作ってほしい。

◇交通が便利なまちづくりのアイデア・意見（23票・5.6%）

- ・ 電車やバスの本数をもっと多くしてほしい。
- ・ 電車やバスなどがもっと充実すると交通が便利になる。
- ・ 電車やバスなどについての通勤・通学の便利さをもっと向上させてほしい。
- ・ 電車の本数が少ない。
- ・ バスで行ける場所を増やしてほしい。

◇災害・事故・犯罪の少ない、安全なまちづくりのアイデア・意見（22票・5.4%）

- ・ 夜中のバイクの走行音をどうにかしたら良いと思う。
- ・ 大きな災害がきたときに大丈夫なような物（建物）などがあったら良いと思う。
- ・ 外灯を増やして明るくする。
- ・ 防犯カメラをもっと増やす。
- ・ 今、いじめが話題となっている。なので、みんなが仲良くなれるように人との交流ができるイベントをもっとすれば良いと思う。防犯カメラを強化した方が良いと思う。
- ・ あいさつをしてくださる人を増やしたら、犯罪も減るのではないかな。

◇雇用機会が多く若者が定住するまちづくりのアイデア・意見（10票・2.4%）

- ・ もっと就職しやすく、将来に安心できるまちにしてほしい。
- ・ 若い世代の人口流出を防ぐことが大切だと思う。あと、水族館か動物園を作って職場の確保と観光もよくしていくと良いと思う。
- ・ 就職や進学がしやすいようにしてほしい。

◇自然豊かで、住み良いまちづくりのアイデア・意見（4票・1.0%）

- ・ 人が住みやすいところにする。
- ・ もう少し森林環境があると良い。

◇これまでと変わらないまちづくりのアイデア・意見（4票・1.0%）

- ・ ない。今のままでいいと思う。
- ・ 今のままだが良い。

◇子どもがのびのび遊べるまちづくりのアイデア・意見（3票・0.7%）

- ・ 遊べる公園や小さなテーマパークみたいなもの
- ・ 身近な所に遊べる場所（ユーズボールみたいな感じ）

◇その他（14票・3.4%）

- ・ 明るいあいさつをしっかりと。 (先手で)
- ・ 工事が遅いので早くしてほしい。通行整備
- ・ 宇部市に負けないくらいの活気あふれる市。

3. 職員アンケートの自由記入欄の結果

職員アンケート

今後の山陽小野田市のまちづくりについての自由意見

(1) 山陽小野田市の将来のまちの姿

① 主な意見の類型

今後の山陽小野田市のまちづくりについて、職員622名から416票の自由意見をいただきました。第一次山陽小野田市総合計画の基本目標によって分類すると、「暮らしの安心・安全を守るまちづくり（95票・22.8%）」、「市民が主役のまちづくり（61票・14.7%）」、「うるおいのある快適なまちづくり（28票・6.7%）」、「にぎわいと活力にみちたまちづくり（186票・44.7%）」、「人が輝く心豊かなまちづくり（46票・11.1%）」となっています。特に子ども・子育て、定住促進、観光に意見が多く、人口減少対策に取り組む必要があります。

■今後の山陽小野田市のまちづくり（自由意見）

主な意見類型	票・%
暮らしの安心・安全を守るまちづくり／健康・福祉、防災・防犯	95票 (22.8%)
市民が主役のまちづくり／自治、行財政改革	61票 (14.7%)
うるおいのある快適なまちづくり／生活環境、都市基盤、公共交通	28票 (6.7%)
にぎわいと活力にみちたまちづくり／産業振興、農林水産、観光	186票 (44.7%)
人が輝く心豊かなまちづくり／教育・文化	46票 (11.1%)
合計	416票

※小数点以下第1位を四捨五入しているため、合計が100%にならないことがあります。

② アイデア・提案など

重点課題に対応した主なアイデア・意見を取りまとめると以下のとおりです。

■「暮らしの安心・安全を守るまちづくり」について（95票・22.8%）

◇次世代育成支援の充実、仕事と子育てとの両立支援、母子保健対策の充実

- ・ 乳幼児医療費助成は所得制限があるため第2子以降のファミリープランニングは考えられない。このため所得制限を撤廃する。
- ・ 商店街等の空き店舗等を活用し、年配の方と子育て世代が集まる場所を提供しNPOや地域の方との協力により地元食材を使った食事の提供や学生による学習支援を行うなど、カフェ感覚で立ち寄れるような居場所づくりによる地域のコミュニティ力のアップを図る。
- ・ 児童クラブに入れない人がいる（特に厚狭、高千帆）。このため教室や自治会館を活用する（中学校とか借りるなど）。
- ・ 児童クラブは充実しているが、親が土日祝の仕事が多い人のために休日も開ける。また長期休業期間の始業時間を早くする。
- ・ 待機児童の解消や延長保育はもちろんのこと、対象児童の拡大や休日の保育、18時以降の延長保育、保育の開始時間の前倒しなどを行っていく。
- ・ シングル家庭の負担を減らすために、各小中学校の制服、ランドセル、体操服をリユースできる機会（場）の提供をする。
- ・ 待機児童が増えているため、旧小野田市に一つ園をつくり、旧山陽の園を縮小し統合する。（下津、出合で一つ、津布田、厚陽、埴生で1つの園にする。）
- ・ マタニティ・ブックスタートの広報強化と充実。絵本は配れなくとも、マタニティ・カフェや赤ちゃんを連れた読み聞かせ会の招待状を送ったり、送迎バスを出すなど、より利用しやすい環境づくりを進める。

◇高齢者福祉の充実、介護サービスの充実、社会保障の充実

- ・ 自治会と協力し、地域で高齢者を支えていく仕組みをつくる。
- ・ 高齢化していくうえで予防に力を入れる。健康状態をわかりやすく表現できる方法を考えたり、健康状態を改善できる方法について具体的に提供できるようにする。
- ・ 高齢者住宅や施設、老人ホーム専用の団地を造成し、福祉施設を誘致する。商業や工業だけでなく福祉の分野の企業誘致もあっていいのではないかと考える。
- ・ 介護保険の申請の流れやサービス内容などを分かりやすくポスターや冊子にて、病院、公民館などに置いておく。
- ・ 適正な生活保護の支給がなされているか見直しが必要である。他自治体での受給率などと比較し、問題点を明らかにする。雇用のあっせんや医療受給も適正か見直しを行う。

◇健康づくりの推進

- ・ 健康寿命延伸に向けた取組の強化
- ・ 働く女性（子供を持つ）をターゲットに、月1回程度、市内を何ブロックかに分けて親子で散歩を楽しむ。またヨガをしたり体操をしたり体を動かす講座や農業収穫体験コースの開催。
- ・ スポーツ振興部署と健康増進課等で企画の段階から一緒に考えてイベント等を開催できると良いと思う。市民体操、SOS健康体操をご当地体操ということで全市的に広めていきたい。
- ・ 江汐公園は、好みに合わせたウォーキングコースの設定ができ、近くに入浴施設もあるなど、健康づくりを考える人にとって魅力のあるスポットである。この魅力をさらにPRする。
- ・ 予防医療に力を入れる。健康のために努力しにくい人を何らかの報酬（ポイント、使用料減など）で誘導する仕組みがあると長続きすると思う。

◇地域医療の充実、消防体制の充実、救急・救助体制、防災体制の充実

- ・ 小児科への保護者のニーズは大きい。市民病院での小児科診療の日、時間帯の拡充また救急の受け入れ体制を充実する。
- ・ 市内には大きな病院があるが、市立として市民目線で中心的な存在になってほしい。
- ・ 休日夜間診療所の対象年齢が中学生以上になっている。小児は受診できない。
- ・ 消防車の入れない道（主に自治会管理の生活道路）がまだ多くある。最低限の消防車両通行可能幅員を確保するまでの拡幅工事を市が行う。
- ・ 現市役所本庁舎では震度6を超える地震に耐えることができず、崩壊する可能性がある。新庁舎を建設する。

◇交通安全と治安の確保、消費者の保護と意識啓発、地域福祉の充実

- ・ 道路の外灯が少なく、夜道が危険である。
- ・ 消費者相談の体制を手厚くして、相談先があること自体を広報やホームページでPRする。また悪質な消費者トラブルに対しては積極的に情報発信する。
- ・ 高齢者が多いので交通の便を良くしてほしい。買い物難民になりかねないと思う。
- ・ 子育て、高齢者支援に地域のコミュニティを活用できる仕組みが必要。信頼、安心できる仕組みづくりには、市民だけでなく市民と行政が協働で取り組むことが必要だと思います。
- ・ 子供の頃から福祉教育や、福祉に対する理解と実践を促進するための取組みを家庭、学校、地域と連携しながら進めていく。

■「市民が主役のまちづくり」について（61票・14.7%）

◇地域コミュニティの振興、市民と行政との協働のまちづくり

- ・ 自治会対抗での運動会や競技大会を行うことで、地域への帰属意識を高めコミュニティのつながりを強める。また地域のまつりや行事を広くPRし、地域行事への注目度を上げることで、自分が帰属する地域への自信や誇りを持てる環境をつくる。
- ・ 地域を支えるコミュニティ団体が活動拠点としている公民館や福祉会館では、一応の補修はされているが、利用勝手の悪い点も多く見受けられる。このような団体が活動しやすい施設環境の整備を計画的に行う。
- ・ 若い人たちが山陽小野田市に興味を持ってくれるようなホームページを作成する。
- ・ 市民から発信の町おこしができるよう、各地でのワークショップを開催する。
- ・ 審議会等の会議の中に公募委員を入れるだけでなく、公民館に職員を配置し、地域の中に溶け込ませて職員が地域とともに働く姿を市民にアピールする事が必要だと思う。

◇効率的な行政運営の推進、電子自治体の推進と行政サービスの向上、財政の健全化、広域連携の強化

- ・ 各施策の推進において民間活力の導入はかかせない。
- ・ 公共施設の統廃合。財政悪化や人口減により、公共施設の統廃合を急いで進めるべき。市民には早めに方向性（廃止、統合）を打ち出すべきである。
- ・ 出産から青少年育成の年代まで、現在は窓口がバラバラなので、横で連携しやすい窓口（1つの課）が必要であると思う。
- ・ 平日の閉庁時間を長くするか土日にも書類を発行できるようにする。
- ・ コンビニエンスストア等における証明書等の交付を本市でも導入する。
- ・ 現在のやり方だけでなく、全ての分野において広域的な取組を検討する必要があると考える。

■「うるおいのある快適なまちづくり」について（28票・6.7%）

◇公園・緑地の整備・保全、上水道の整備、下水道の整備、生活交通の充実

- ・ 子供がのびのび遊べるような公園がほしい。（遊具、乗り物付）
- ・ 緑地公園等が点在しているが、木で囲われすぎていて怖くて暗いイメージがある。近寄れない雰囲気があるため、明るく開放的に整備し、立ち寄りやすくする。
- ・ 最近の寒波の影響で水道管は破裂し、管が老朽化しているのに改善されていないという状況が今まで以上に明確になった。この問題について少しずつでも行っていくべきだと考える。
- ・ 人口減少時代にこのまま整備面積の拡大を進める必要があるか。下水道の認可区域を拡大せずに浄化槽の設置補助を推進することも検討する。
- ・ デマンドを更に、全ての世代の人が利用しやすいようにする。
- ・ 高齢者が占める割合が高くなり、バスなどの交通の便を増やさないと、高齢者の事故がつながってしまう。バスの時間帯を増やすことやボランティアなどで買い物や病院の送迎などできるシステムを作る。
- ・ 道路に水が溜まり運転しにくい。側溝など、道路の整備をする。
- ・ 通勤通学の時間帯は交通量が多く、慢性的な渋滞が発生している。また歩道の有無があり、特に交通量の多い場所は危険。市全体を俯瞰し、交通量の多い場所の原因を探り対処する。
- ・ 山口東京理科大の公立化で、若者層が増えると思うので、バスや電車の本数を多くする。

■「にぎわいと活力にみちたまちづくり」について（186票・44.7%）

◇産学公連携による新産業の創出、労働環境の向上

- ・ 山口東京理科大学の公立化に伴い、連携が強化できるので、新産業の創出を実現させる。
- ・ 地域ブランドの創出など、地域に愛着を持ってもらえるような特色ある取組が必要である。
- ・ 長時間労働の抑制。仕事と家庭の両立支援制度の見直し
- ・ 山口東京理科大学を持続させるためには就職先の創出が不可欠。定住を求めるなら市内の働き場が必要であることから企業誘致を推進する。
- ・ 距離があっても宇部、下関方面へ安定した職を求めて市外へ行ってしまいう傾向がある。若い人が安定した収入を得られる職場、正社員として勤務できる職場、子供を持った女性が安心して働ける職場を増やす。

◇工業の振興、商業・サービス業の活性化、農業の振興、水産業の振興

- ・ 小野田・楠企業団地への企業誘致。立地条件、交通アクセスなどPRをさらに強化する。
- ・ 個人の商店がどんどんなくなっているので、地元の商品を利用したカフェ等、若い人が気軽に入れる店をつくる。今、空き家になっている店などを安く or 無償（補助）で貸し出して、予算が少なくてもお店が出せるようにする。
- ・ 小野田地区には、大型商業施設があるが山陽地区にはないので、県外や市外に行くことが多い。子供を連れて行けるような施設が必要と思う。厚狭駅（新幹線）周辺の土地を利用して大型商業施設をつくり、新幹線を利用して集客に努めるようにする。
- ・ 本市には、パチンコ店やドラッグストア等の偏った業種の店が多い。反対に食事を提供する店が非常に少なく感じるので、万人が利用する店を増やす必要があると思います。
- ・ JR駅周辺に各種イベントを開催できる施設（スペース）を設け、集客力をつけることにより、商店街の活性化を図るとともに空き店舗等を積極的にテナント等として活用する。
- ・ 農家の多くは高齢者が多数を占め、赤字経営であり、若者が就農できる状況に至っていないため農業の大規模化（法人化）も一つの方策であると考えます。
- ・ 山陽小野田市の特産品として、のりの生産に力を入れ、のりを利用したのり巻きづくりやおにぎらずづくりなどイベントを企画して盛り上げる。

- ・ 地場流通として規模が小さいため、もっと大きく市全体で支える必要がある。主にオートレース場を商業施設に変更し、アクセスの良さを活かして流通の拠点に置く。

◇観光・交流の振興

- ・ 市内にある名所と言われるところを全て知っている市民は少ないように思う。まず市民に市内のことをよく知ってもらえるようなツアー（機会）を企画する。市民（若者も含む、特に理大生）に発見（認識）してもらい、口コミ（SNSの利活用含む）で、市内の人はもちろん、他市の人へも広めてもらう。それと同時に、市民ボランティアの育成にも力を入れていく。
- ・ 道の駅など、市内外問わず経済が動くような観光地を整備する。
- ・ 歴史的な観光名所等は、いくら頑張っても他市、他県には負けてしまう。山陽小野田市といえば「○○」と誰もが口にするようなイベントを定着させる。会場は全国でも名前が通用する山陽オートレース場（交通アクセスの良さ、充実した駐車場）。例：「○○食の祭典」など
- ・ 市の特産品のブランド化の推進を図る。全国的にも特産品といえば「○○」というのが周知されれば観光促進につながると思う。
- ・ 観光に力を入れているのであれば、案内（説明）板や周辺の環境の整備は最低限でも行った方がよい（先日、何箇所か回ったが放置されているととられても仕方ないようなものを見かけた）。
- ・ 全国に名が通る観光名所を設立する。10年前まで走行していたクモハ42の復活。JRの駅が11もあるのでそれを活用しての駅ツアー等。鉄道通に有名な西の聖地「オノアサ」の整備など
- ・ 観光資源が少ない都市なので、観光には力を入れず福祉関係に重点を置くべき。
- ・ きららビーチ周辺におしゃれなカフェ、雑貨市を開く。

◇適正な土地利用促進、広域交通体系の整備

- ・ 小野田駅、厚狭駅の駅周辺の整備が重要である。自由通路がなく、南北を分断していることが大きな障害となっている。
- ・ 効率的で持続可能な都市とするためのコンパクトシティ化を推進する。
- ・ 駅南地区の開発。コストコ等の大手企業を誘致する。
- ・ コンパクトシティを推進し、生活インフラ（道路、上下水、交通）の低コスト化を目指す。供給過多となっている民間アパートを借り上げ、市営住宅や高齢者住宅として利用し、市中心部への人口集約を促す。
- ・ 厚狭駅前に専門学校、予備校を誘致する⇒若い人がいないと街は活性化しない。
- ・ 県道小野田山陽線の渋滞（小野田ICを使う気がなくなる）。4車線化が無理なら3車線でも良いので、南方向への渋滞をなくす。
- ・ 山陽自動車道宇部下関線は、東の終点が山口宇部道路であることが問題である。山口南インターへの直結により、高速道路利用者の流れも変わる。企業誘致には高速交通体系の整備が必要。

◇定住促進

- ・ 定住促進として農業体験や若者の起業支援として空き家は無償で貸し（1～3年間）、体験後、そのまま定住するなら安価で貸す。
- ・ 転入促進、定住促進のための総合的なパンフレット、チラシを作成し、近隣大都市（下関・北九州など）でのPR活動を強化する。
- ・ 本市に住む住民が定住に向けて市内に家を建てようとする場合の補助事業などを考える。
- ・ 結婚する世代や結婚してすぐの転居を考えている人を山陽小野田へ呼び込める制度があれば良いのではないかと。結婚祝い金制度、引っ越し費用の補助など
- ・ 子育て世代への支援を手厚くすることが必要と思う。公園は各所にあるが駐車場、遊具が少ないと思う。室内で子供を遊ばせることができる施設もあると良いのではないかとと思う。

- ・ 移住・定住を促進するためには、雇用の確保も大切だが、それ以前に住環境の整備や自然環境の保護が必要だと思う。
- ・ 本市には「空き家バンク」がなく、周辺他市に大きく遅れをとっている。今後とも増え続ける空き家を放置してはイメージダウンになるので、どうにかこれを活用すべきである。

■「人が輝く心豊かなまちづくり/教育・文化」について（46票・11.1%）

◇幼児教育の充実、義務教育の充実

- ・ 習い事をさせたいが、親が日中仕事で送迎できず、土日を習い事の日に行っている家庭も多い。日中、短時間でも親が選択した習い事を保育園で行うなど通常の保育+αがあると魅力を感じる。（児童クラブでも同様）
- ・ 家庭環境に応じて教育費用は増減するため教育の機会均等は保たれていないのではないかと。「市による塾の運営」夏・冬休みだけでも短期集中講座として開放しても良いと思う。
- ・ ケアが必要な児童・生徒が増えているのに教職員の人数が足りていない。
- ・ 家庭では洋式トイレが一般的であるので、学校施設のトイレも洋式トイレに改修していく必要があると思う。
- ・ 子育て世代の経済的負担を軽減し、本市のすべての子どもが平等に学力や学習意欲、個性や才能を伸ばす機会を受けることができるよう民間教育機関の費用の助成を行う。

◇高等学校・高等教育機関との連携・活用、生涯学習推進体制の充実、文化財の保護、継承

- ・ 大学生の行動、意向調査を行い、なるべく市内で活動できるような交通体系等の整備やネットワークづくりができれば良いと思う。またスポーツ・レクリエーションの振興に関して大学部の部活やサークルと協力してできることがあると思う。
- ・ 図書館の利用時間の延長
- ・ 図書館の本を充実させ、採用してほしい本を投書して決める。人気のある本（例えば旅行雑誌）は、いつも貸し出し中なので数冊置くようにする。
- ・ 自分たちが学んだこと、身につけたことを発表する場、役に立つ場を多くつくる。
- ・ 本市には多くの文化財等があるが、知名度の低いものもある。その存在や背景を知ることにより、山陽小野田市の理解が深まる。見学可能な文化財を訪ねる教室・ツアーの企画、訪ねた文化財の数により、記念品や証書を送る（設置したスタンプや記念写真で確認）、年代に合わせたガイドマップの作成など）

◇芸術文化の振興

- ・ コンサートを開催する。ピアノやバイオリンなどアマチュアの方に依頼してコンサートを開催する。（なかなか生演奏を聴く機会はないと思う。）
- ・ 人が集まるようなイベントがない。
- ・ 文化会館という立派な施設があるのだから、もっと魅力あるイベントを行い、いろいろな年齢の人が集えるようにすれば良いと思う。（ミュージカル、お笑い、歌舞伎等）
- ・ 山陽オートレース場の走路を生かしたコースで「ママチャリレース」を企画し、実際の競輪やオートレースの選手もスペシャルゲストとして参加してもらおう。
- ・ 山陽オートで練習しているパラサイクリング合宿のPR。小中学校の児童・学生が見学できる体制。小中学校での選手による講話、自転車教室。市内高等学校まで拡大したPRの取組。
- ・ レノファ山口は全国標準となるファクターを持てる可能性がある。レノファ山口でまちづくりをしない手はないと思う。
- ・ 市内ゴルフ場、ゴルフ練習場とタイアップして幼・保育園児から理科大生を対象としたジュニアゴルフスクールを開校させて、ゴルフを生かした特色あるまちづくりを展開する。

